


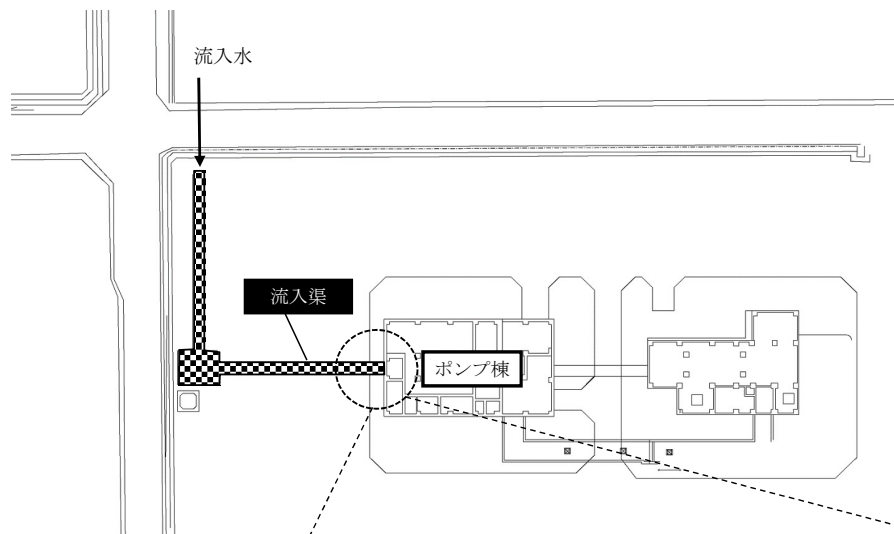


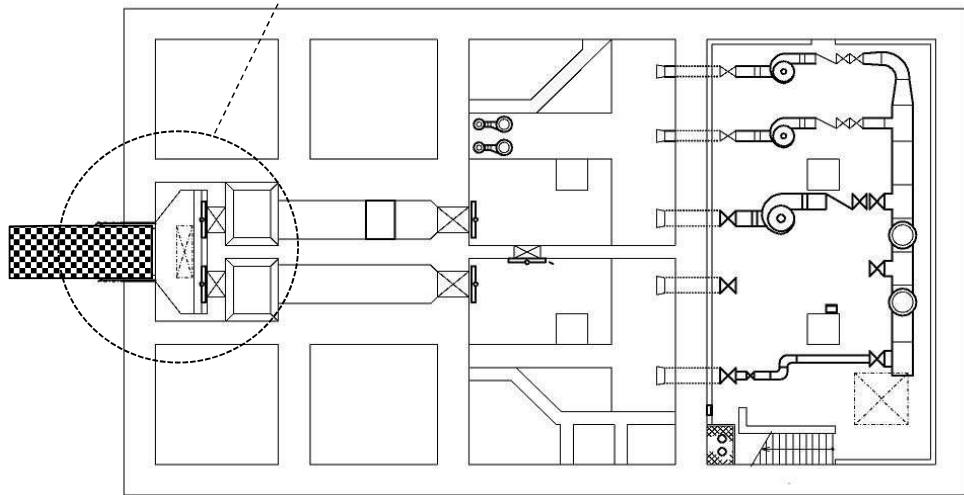
注記：ポンプ棟までの流入渠及び塩素混和池以降の
放流渠は甲の管理とし、詳細な範囲を別紙
1-1及び別紙1-2 に定める。

凡例	
	業務対象外
	主要施設
	業務範囲

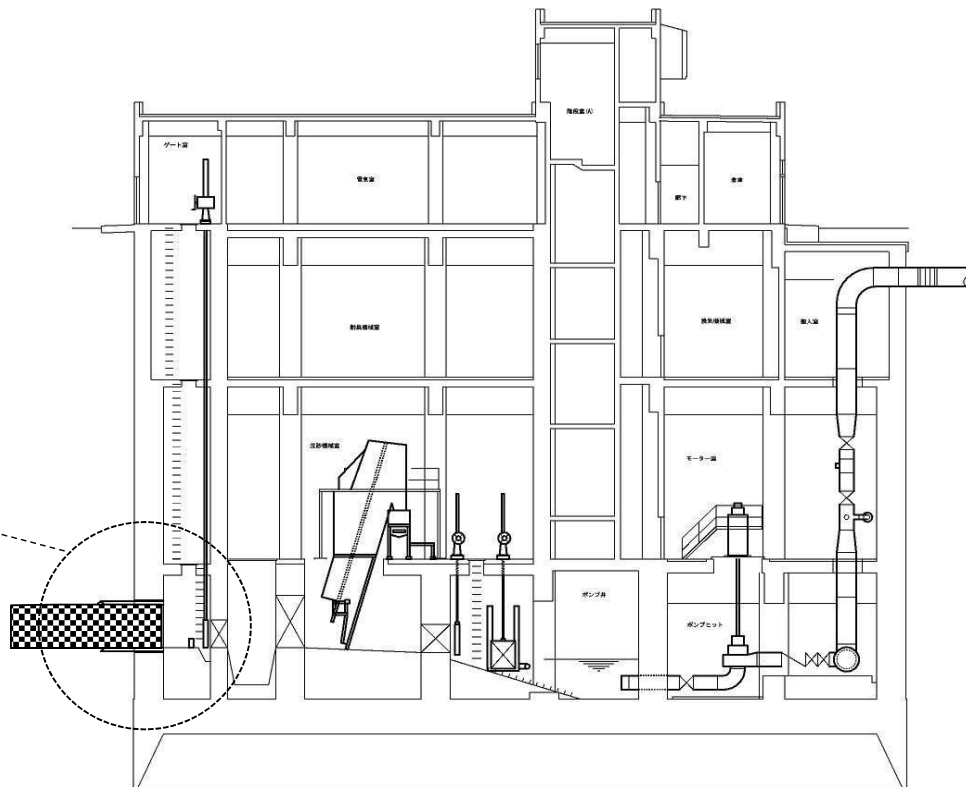
施設名	磐田市公共下水道磐南浄化センター
図面名称	磐南浄化センター全体配置図



場内平面図



ポンプ棟 B3F 平面図

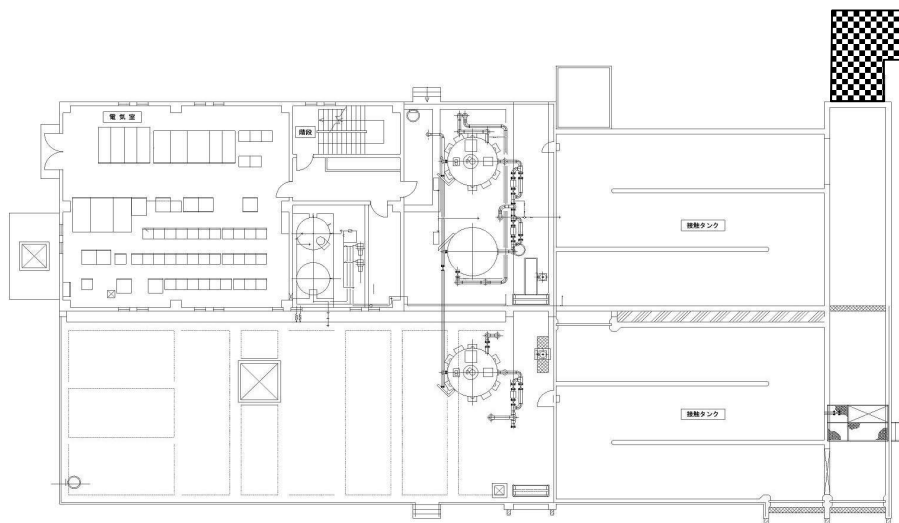


ポンプ棟断面図

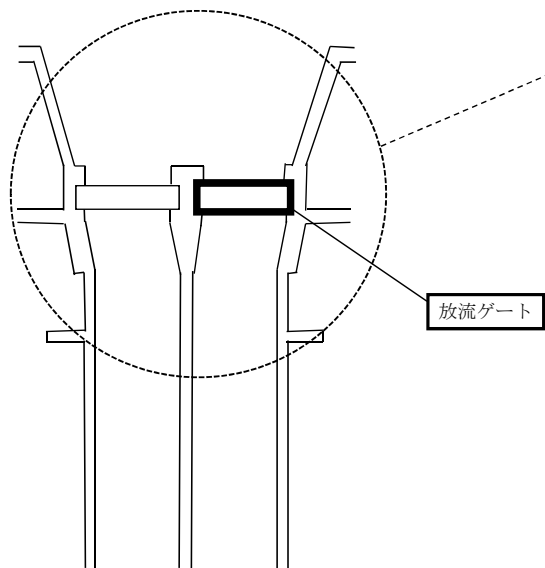
凡例	
	業務対象外

施設名	磐田市公共下水道磐南浄化センター
図面名称	磐南浄化センター詳細図(流入渠流入部)

業務範囲図 (塩素混和池出口・放流渠放流口)



用水棟平面図

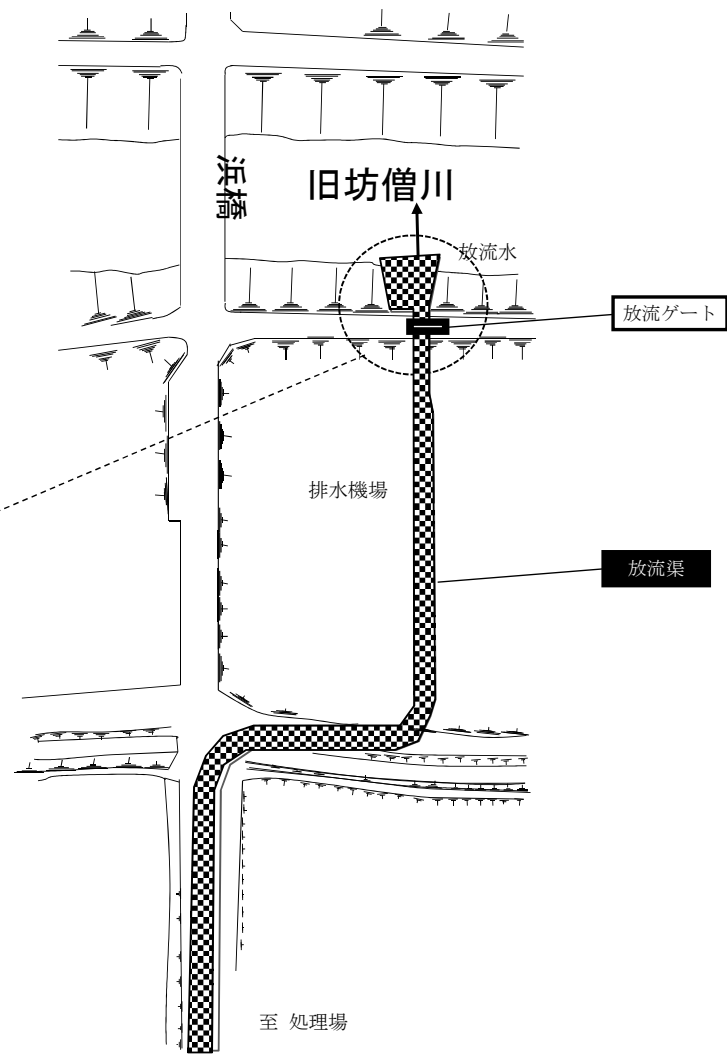


放流口詳細図

凡例	
	業務対象外
	業務範囲

注記：塩素混和池出口以降の放流渠は業務対象外とする。

ただし、放流ゲートは業務範囲とする。



放流口平面図

施設名	磐田市公共下水道磐南浄化センター
図面名称	磐南浄化センター詳細図 (塩素混和池出口・放流渠放流口)

(別紙1 参考) 主要機器一覧表

(1) 水処理施設

項目 設備	構造及び能力	全体計画	事業計画	現有施設
沈砂池	沈砂池 幅 2.5m×長 10m×有効水深 0.6m 揚砂装置(ジェットポンプ方式) 0.3 m ³ /min(揚水量) 沈砂掻寄機(スクリーコンベヤ) 0.4 m ³ /hr(沈砂量)×2.2kW 洗浄水ポンプ φ100×1.2 m ³ /min×55m×22kW 沈砂分離機(スクリーコンベヤ) 0.4 m ³ /hr(沈砂量)×0.75kW 沈砂ホッパー(電動式鋼板製角型) 有効 6.0 m ³ 1.5kW×2 コンテナ(可搬式ステンレス鋼板製) 0.3 m ³ 洗浄水受槽 6 m ³ (FRP製)	3池	3池	2池 2台 2台 2台 1台 ー 1台 1基
主ポンプ	補助ポンプ(水中スクリー型) φ200×6.0 m ³ /min×28m×55kW 汚水ポンプ(立軸渦巻斜流ポンプ) φ400×20 m ³ /min×25m×132kW φ600×40 m ³ /min×25m×250kW 流入ゲート(電動外ネジ式鋳鉄製) 緊急閉鎖機構装置付 1000W×1200H×2.2kW 自動除塵機(間欠式前面掻揚型) 幅 1.5m×目幅 25mm×取付角 70°×2.2kW 幅 1.5m×目幅 25mm×取付角 90°×1.5kW ポンプ井攪拌機(水中モータープロペラ式) 9 m ³ /min×2.4kW φ300×2.8kW し渣搬出機 幅 600×機長 9400×1.5kW 水平ベルトコンベア 機長 3500×0.75kW 傾斜スクイールコンベア 幅 800×機長 28690×3.7kW 垂直ベルトコンベア 沈砂し渣洗浄装置(機械攪拌式) 0.5 m ³ /hr 攪拌 3.7kW 掻揚 0.75kW スクリー 0.75kW し渣脱水機(スクリープレス式) 0.5 m ³ /hr×3.7kW し渣ホッパー(電動式鋼板製角型) 3 m ³ 0.75kW×2 スカム分離機(回転ドラム型) 2.8 m ³ /min×目開 3mm×0.75kW コンテナ搬出用ホイスト(電動ホイスト) 1.0 t 巻上 2.2kW 横行 0.2kW	2台 3台 2台	2台 2台 2台	2台 2台 1台 2門 1台 1台 1台 1台 1基 1基 1基 1基 1台 1台 1基

(別紙1 参考) 主要機器一覧表

項目 設備	構造及び能力	全体計画	事業計画	現有施設
最初沈殿池	最初沈殿池 幅 6.0m×有効長 32.0m×水深 3.0m 幅 6.0m×有効長 31.2m×水深 3.0m 幅 6.0m×有効長 19.0m×水深 3.0m 汚泥掻寄せ機 2池 1 駆動チェーンフライント式 1.5kW(2-1) 1池 1 駆動チェーンフライント式 (1.5kw) (1-4) 2池 1 駆動ノッチチェーン式 0.4kW(2-2) 1池 1 駆動ノッチチェーン式 0.4kW(1-2, 1-3, 3系) スカムスキマー(電動パイプスキマー) 1池 1 駆動φ 300 スカムスキマー(無動力式スキマー) 幅 420×トラフ長 4790mm 沈殿汚泥ポンプ(吸込スクリーン付横軸渦巻型) φ 100×0.8 m ³ /min×6m×2.2kW φ 100×0.8 m ³ /min×7m×2.2kW	6池 2池 8池	6池 2池 4池	5池 2池 4池 1基 1基 1基 6基 1基 4台 2台
反応槽	反応槽 幅 6.0m×有効長 65.0m×水深 5.0m 幅 6.0m×有効長 64.2m×水深 5.0m 散気装置(メンブレン式) 硝化対応型 0.44 m ² : 100枚/池 硝化対応型 0.44 m ² : 99枚/池 散気装置(メンブレンパネル式) 硝化対応型 0.435 m ² : 64枚、0.580 m ² : 28枚/池 硝化対応型 0.435 m ² : 54枚、0.508 m ² : 12枚、 0.580 m ² : 24枚/池 反応槽攪拌機 槽上駆動式 1.5kw 2台/池 攪拌機(水中ミキサー) φ 300mm 2.8kW 4台/池 消泡ノズル 重垂式 φ 10 43個/池 φ 20 84個/池 φ 10 76個/池 φ 10 84個/池	14池 2池	10池 2池	10池 2池 4式 2式 2式 4式 2式 8式 4式 2式 4式 2式
最終沈殿池	最終沈殿池 幅 6.0m×有効長 44.0m×水深 3.0m 幅 6.0m×有効長 46.0m×水深 3.0m 汚泥掻寄せ機 2池 1 駆動チェーンフライント式 1.5kW(2-1) 2池 1 駆動ノッチチェーン式 0.4kW(1-1, 1-2, 2-2) 1池 1 駆動ノッチチェーン式 0.4kW(3系) スカムスキマー(電動パイプスキマー) 1池 1 駆動φ 300 スカムスキマー(無動力式スキマー) 幅 420×トラフ長 4790mm 返送汚泥ポンプ(横軸無閉塞型スクリーン羽根付) φ 150×2.4 m ³ /min×11m×11kW φ 200×3.9 m ³ /min×8m×11kW φ 200×3.9 m ³ /min×8m×15kW 余剰汚泥ポンプ(横軸無閉塞型スクリーン羽根付) φ 100×0.8 m ³ /min×5m×2.2kW φ 100×0.8 m ³ /min×6m×2.2kW	8池 8池	8池 4池	8池 4池 1基 3基 4基 11基 1基 2台 8台 2台 4台 2台

(別紙1 参考) 主要機器一覧表

項目 設備	構造及び能力	全体計画	事業計画	現有施設
消毒設備	消毒槽 幅3.0m×有効長43.5m×水深2.5m 次亜塩素酸ソーダ貯留槽 6 m ³ 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 可変容量形ダイヤフラムポンプ $\phi 25 \times 0.6 \text{L/min} \times 3 \text{kg/cm}^2 \times 0.4 \text{kW}$ 一軸ねじマグネットカップリング式ポンプ $\phi 15 \times 0.488 \sim 53.3 \text{L/h} \times 0.4 \text{kW}$	2池	2池	2池 2槽 1台 2台
送風機設備	ルーツブロワー $\phi 200 \times 30 \text{ m}^3/\text{min} \times 6,000 \text{mmAq} \times 55 \text{kW}$ インレットベーン内蔵多段ターボブロワ $\phi 250/200 \times 60 \text{ m}^3/\text{min} \times 6,000 \text{mmAq} \times 110 \text{kW}$ $\phi 300/250 \times 105 \text{ m}^3/\text{min} \times 6,000 \text{mmAq} \times 160 \text{kW}$ $\phi 400/350 \times 210 \text{ m}^3/\text{min} \times 6,000 \text{mmAq} \times 300 \text{kW}$ 乾式フィルタ 自動巻取式フィルタ 174 m ³ /min×0.2kW 湿式フィルタ 回転油膜式 174 m ³ /min×0.2kW	2台 1台 1台 2台	2台 1台 1台 2台	2台 1台 1台 1台 3台 3台
用水設備	砂ろ過器(移床式上向流連続砂ろ過器) 処理量：870 m ³ /日・基 処理量：900 m ³ /日・基 砂ろ過給水ポンプ(横軸片吸込渦巻ポンプ) $\phi 65 \times 0.4 \text{ m}^3/\text{min} \times 15 \text{m} \times 2.2 \text{kW}$ $\phi 80 \times 0.7 \text{ m}^3/\text{min} \times 15 \text{m} \times 3.7 \text{kW}$ 消泡水ポンプ(横軸片吸込渦巻ポンプ) $\phi 125 \times 2.5 \text{ m}^3/\text{min} \times 30 \text{m} \times 22.0 \text{kW}$ $\phi 200 \times 3.6 \text{ m}^3/\text{min} \times 30 \text{m} \times 30.0 \text{kW}$ 消泡水ストレーナー(自動洗浄ストレーナ) 処理量：4.1 m ³ /min $\phi 200 \times 0.4 \text{kW}$ 処理量：7.2 m ³ /min $\phi 250 \times 0.4 \text{kW}$ ポンプ棟給水ポンプ(小型圧力タンク付給水ユニット) $\phi 50 \times 0.2 \text{ m}^3/\text{min} \times 40 \text{m} \times (3.7 \text{kW} \times 2)$ 水処理棟給水ポンプ(小型圧力タンク付給水ユニット) $\phi 50 \times 0.4 \text{ m}^3/\text{min} \times 40 \text{m} \times (3.7 \text{kW} \times 2)$ 汚泥処理棟給水ポンプ(横軸片吸込渦巻ポンプ) $\phi 80 \times 0.6 \text{ m}^3/\text{min} \times 11 \text{m} \times 2.2 \text{kW}$ $\phi 80 \times 1.0 \text{ m}^3/\text{min} \times 11 \text{m} \times 3.7 \text{kW}$ 排水ポンプ(無閉塞型汚泥ポンプ) $\phi 150 \times 2.0 \text{ m}^3/\text{min} \times 10 \text{m} \times 15 \text{kW}$ 砂ろ過用空気圧縮機 $600 \text{L/min} \times 9.5 \text{kg/cm}^2 \times 5.5 \text{kW}$ 砂ろ過原水次亜注入ポンプ(電磁定量ポンプ) $18 \text{mL/min} \times 1.0 \text{MPa} \times 20 \text{W}$			2基 1基 2台 4台 1台 2台 2台 3台 1台 1台 2台 2台 2台 2台 3台
高度処理施設	急速ろ過法(重力式下向流ろ過池：固定床) 幅6.0m×長6.5m	8池	—	—

(別紙1 参考) 主要機器一覧表

(2) 汚泥処理施設

項目 設備	構造及び能力	全体計画	事業計画	現有施設
汚泥濃縮 設 備	重力式汚泥濃縮槽 鉄筋コンクリート造			
	φ8.6m×有効水深4.0m 有効容量 232 m ³	1 槽	1 槽	1 槽
	φ5.4m×有効水深4.0m 有効容量 92 m ³	1 槽	1 槽	1 槽
	汚泥掻寄機(中央駆動懸垂形)			
	周速 2.3m/min×0.75kW			2 台
	濃縮汚泥ポンプ(横軸無閉塞形渦巻ポンプ)			
	φ100×0.6 m ³ /min×2m×0.75kW			2 台
	余剰汚泥貯留槽攪拌機(立型ミキサー)			
	φ1500×3.7kW			1 台
	余剰汚泥供給ポンプ(一軸ネジ式汚泥ポンプ)			
	φ100×6~12 m ³ /hr×11m×3.7kW			1 台
	φ100×12~25 m ³ /hr×15m×5.5kW			1 台
	φ125×15~45 m ³ /hr×20m×11kW			1 台
	機械濃縮設備			
	ベルト型ろ過濃縮機			
	30 m ³ /hr×3.4kW			2 台
	濃縮汚泥攪拌機(立形ミキサー)			
	φ1850×7.5kW			1 台
	濃縮汚泥移送ポンプ(一軸ネジ式汚泥ポンプ)			
	φ100×18.3 m ³ /hr×8m×5.5kW			2 台
	分離液槽攪拌機(立形ミキサー)			
	φ1500×3.7kW			2 台
	分離液移送ポンプ(横軸無閉塞形渦巻ポンプ)			
φ100×0.8 m ³ /min×14m×7.5kW	3 台	3 台	2 台	
凝集剤溶解槽				
立形攪拌槽:1 m ³ ミキサー:0.4kW			2 槽	
凝集剤定量供給機(可変連続定量供給機)				
100~400mL/min×0.2kW ホッパー30L			2 台	
凝集剤注入ポンプ(1軸ネジ式ポンプ)				
φ20×2~10 L/min×20m×0.4kW			1 台	
空気圧縮機(無給油式スクロール型)				
120 L/min×0.85MPa×1.5kW			2 台	
空気槽				
立型円筒槽:0.3 m ³			1 台	
床排水ポンプ(水中汚水ポンプ)				
φ65×0.3 m ³ /min×10m×1.5kW			4 台	
しき破碎機(一軸回転刃式)				
φ150 3.7kw			1 台	

(別紙1 参考) 主要機器一覧表

項目 設備	構造及び能力	全体計画	事業計画	現有施設		
汚泥脱水 設 備	脱水機 回転加圧型(RP) ろ過面積 4.5 m ² 90kg-DS/m ² ・hr 12.5kW	3 台	2 台	1 台		
	高効率圧入式スクリーンプレス(SP) φ 500 273kg-DS/hr 2.29kW			1 台		
	汚泥貯留槽 □5.6m×水深 4.35m			2 槽		
	汚泥貯留槽攪拌機(立型ミキサー)7.5kW					
	汚泥移送ポンプ(無閉塞型) φ 100×0.4 m ³ /min×5m×2.2kW					2 台
	攪拌ブロウ(ルーツブロウ:貯留タンク用) 0.3 m ³ ×3.5mmAq					1 台
	脱水機汚泥給泥ポンプ(1軸ネジ式ポンプ) φ 100×5~20 m ³ /hr×15m×5.5kW					2 台
	φ 100×6~18.4 m ³ /hr×30m×5.5kW(RP)					2 台
	φ 100×4.13~12.4 m ³ /hr×22m×5.5kW(SP)					2 台
	ケーキ搬送コンベヤ					1 台
	水平ベルトコンベヤ 600mm×32m×1.5kW					1 台
	スパイラルコンベヤ φ 320×10.5m×1.5kW(RP)					1 台
	φ 320×20m×5.5kW(SP)					1 台
	φ 320×8.6m×3.7kW(SP)					1 台
	φ 320×4.15m×1.5kW(SP)					1 台
	φ 320×4.25m×1.5kW					1 台
	ケーキホッパー(角形) 12 m ³					1 基
	パワーシリンダー 1.5kW×2 台					
	薬品溶解槽					2 槽
	立形攪拌槽:7 m ³ ミキサー:3.7kW(SP用)					2 槽
	立形攪拌槽:9 m ³ ミキサー:5.5kW(RP用)					
	薬品定量供給機(可変連続定量供給機)					2 台
	0.25~1.0L/min×0.2kW ホッパー400L(SP)					2 台
	0.68~2.0L/min×0.4kW ホッパー400L(RP)					
	薬品供給ポンプ(1軸ネジ式ポンプ)					2 台
	φ 32×0.15~1.5 m ³ /hr×20m×0.75kW					2 台
	φ 50×1.0~3.04 m ³ /hr×20m×1.5kW(RP)					2 台
	φ 50×0.68~2.05 m ³ /hr×22m×1.5kW(SP)					
	計装用空気圧縮機(圧力スイッチ式) 400L/min×7kg/cm ² ×3.7kW					2 台
	アフタークーラー					1 台
1.65 m ³ /min×9.5kg/cm ² ×0.075kW						
エアードライヤー			1 台			
2.28 m ³ /min×9.5kg/cm ² ×0.46kW						
自動給水装置(並列交互運転式)			1 台			
φ 80×0.6 m ³ /min×30m×(3.7kW×2)						
排水ポンプ(吸込スクリーン付ポンプ)			2 台			
φ 150×1.8 m ³ /min×10m×7.5kW						
攪拌ブロウ(ルーツブロウ:貯留タンク・排水槽) 2.4 m ³ ×44 kPa×3.7kW			2 台			

(別紙1 参考) 主要機器一覧表

項目 設備	構造及び能力	全体計画	事業計画	現有施設
汚泥焼却設備	流動焼却炉			
	35 t/日	1基	1基	1基
	ケーキ移送コンベヤ			
	スパイラルコンベヤ 4.0 m ³ /hr×1.5kW			1台
	フライトコンベヤ 4.0 m ³ /hr×2.2kW 水平 28.7m			1台
	フライトコンベヤ 4.0 m ³ /hr×2.2kW 水平 26.0m			1台
	フライトコンベヤ 4.0 m ³ /hr×2.2kW			
	水平 11.8m、垂直 7.5m			1台
	し渣搬出ホッパ			
	呼称容量 2 m ³			1基
	定量フィーダ			
	有効容量 40 m ³			1基
	ケーキ供給ポンプ			
	1.9 m ³ /hr×1.6MPa×7.5kW, 5.5kW			2台
	し渣受入ホッパ			
	有効容量 5 m ³ ×4.85kW			1基
	焼却炉			
	処理量 1458kg/hr			1基
	砂ホッパ			
	有効容量 8 m ³ ×0.4kW			1基
	流動空気予熱器			
	交換熱量 2043MJ/hr			1基
	流動ブロワ			
	60 m ³ /min×35.0kPa×75kW			1台
	流動空気冷却器			
	交換熱量 473MJ/hr			1基
	流動空気冷却ファン			
	30 m ³ /min×4.0kPa×3.7kW			1台
	白煙防止予熱器			
	交換熱量 528MJ/hr			1基
白煙防止ファン				
20 m ³ /min×6.0kPa×5.5kW			1台	
冷却塔				
処理ガス量 5198 m ³ N/hr×9.25kW			1基	
バグフィルタ				
処理ガス量 5679 m ³ N/hr×19kW			1基	
排煙処理塔				
処理ガス量 5693 m ³ N/hr			1基	
誘引ファン				
85 m ³ /min×12.0kPa×45kW			1台	
煙突				
排ガス量 3871 m ³ N/hr			1基	
空気圧縮機				
6.1 m ³ /min×0.69MPa×37kW			2台	
灰ホッパ				
有効容量 20 m ³ ×7.8kW			1基	
灰加湿器				
処理量 10t/hr×11kW			1基	

(別紙1 参考) 主要機器一覧表

項目 設備	構造及び能力	全体計画	事業計画	現有施設
汚泥焼却 設備	砂ろ過原水ポンプ 0.36 m ³ /min×16m×2.2kW			2台
	簡易ろ過水源水ポンプ 1.1 m ³ /min×36m×15kW			2台
	砂ろ過器 ろ過水量 19.44 m ³ /hr			2基
	砂ろ過水ポンプ 0.43 m ³ /min×42m×5.5kW			2台
	燃料貯油槽 地下タンク 20,000L			1基
	苛性ソーダタンク 15 m ³			1基
	消石灰供給装置 0.4~4.0L/h 0.2kw			1基

(別紙1 参考) 主要機器一覧表

(3) 電気設備

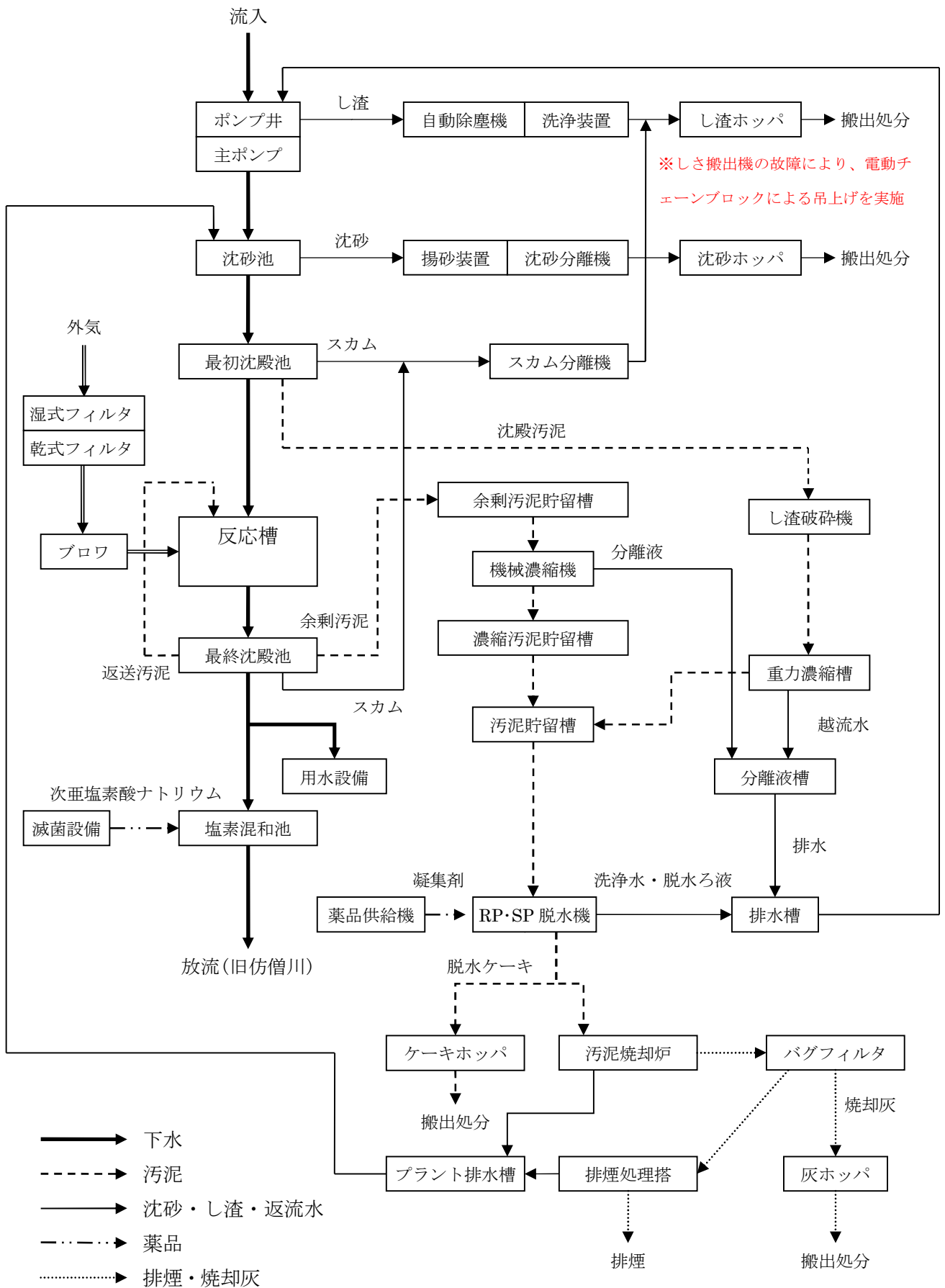
項目 設備	構造及び能力	全体計画	事業計画	現有施設
受変電設備	受電電圧 6.6kV 契約電力 1,100kW 真空遮断器 VCB 7.2kV 600A 12.5kA モールト型乾式変圧器 3φTR 750kVA 6.6kV/420V 3φTR 500kVA 6.6kV/420V 3φTR 400kVA 6.6kV/420V 3φTR 300kVA 6.6kV/420V 3φTR 200kVA 6.6kV/420V 3φTR 200kVA 6.6kV/210V 3φTR 100kVA 6.6kV/210V 1φTR 100kVA 6.6kV/210-105V 1φTR 75kVA 6.6kV/210-105V			26台 1台 1台 1台 2台 1台 1台 2台 1台 2台
自家発電設備	自家発電設備 No.1 自家発電設備 ディーゼル機関 出力：900PS、回転速度：1,200rpm、6気筒 交流発電機 3φ×750kVA×6.6kV×60Hz 力率 0.8 燃料貯油槽 地下タンク 3,000L 燃料小出槽 900L 初期注水槽 500L 冷却塔 515,000kcal/hr×1.5kW No.2 自家発電設備 ディーゼル機関 出力：1020PS、回転速度：1,800rpm、12気筒 交流発電機 3φ×875kVA×6.6kV×60Hz 力率 0.8 燃料貯油槽 地下タンク 3,000L 燃料小出槽 490L 冷却水槽 1000L 冷却水ポンプ 0.70 m ³ /min×18.5m×3.7kW 冷却塔 冷却能力 610.5kW×1.5kW 共通補機 始動用空気圧縮機 19.6 m ³ /hr×30kg/cm ² ×3.7kW 冷却塔揚水ポンプ 0.58 m ³ /min×22m×3.7kW	2台	2台	2台 1台 1台 1基 1基 1基 1基 1台 1台 1基 1基 1基 2台 1基 2台 3台

(別紙1 参考) 主要機器一覧表

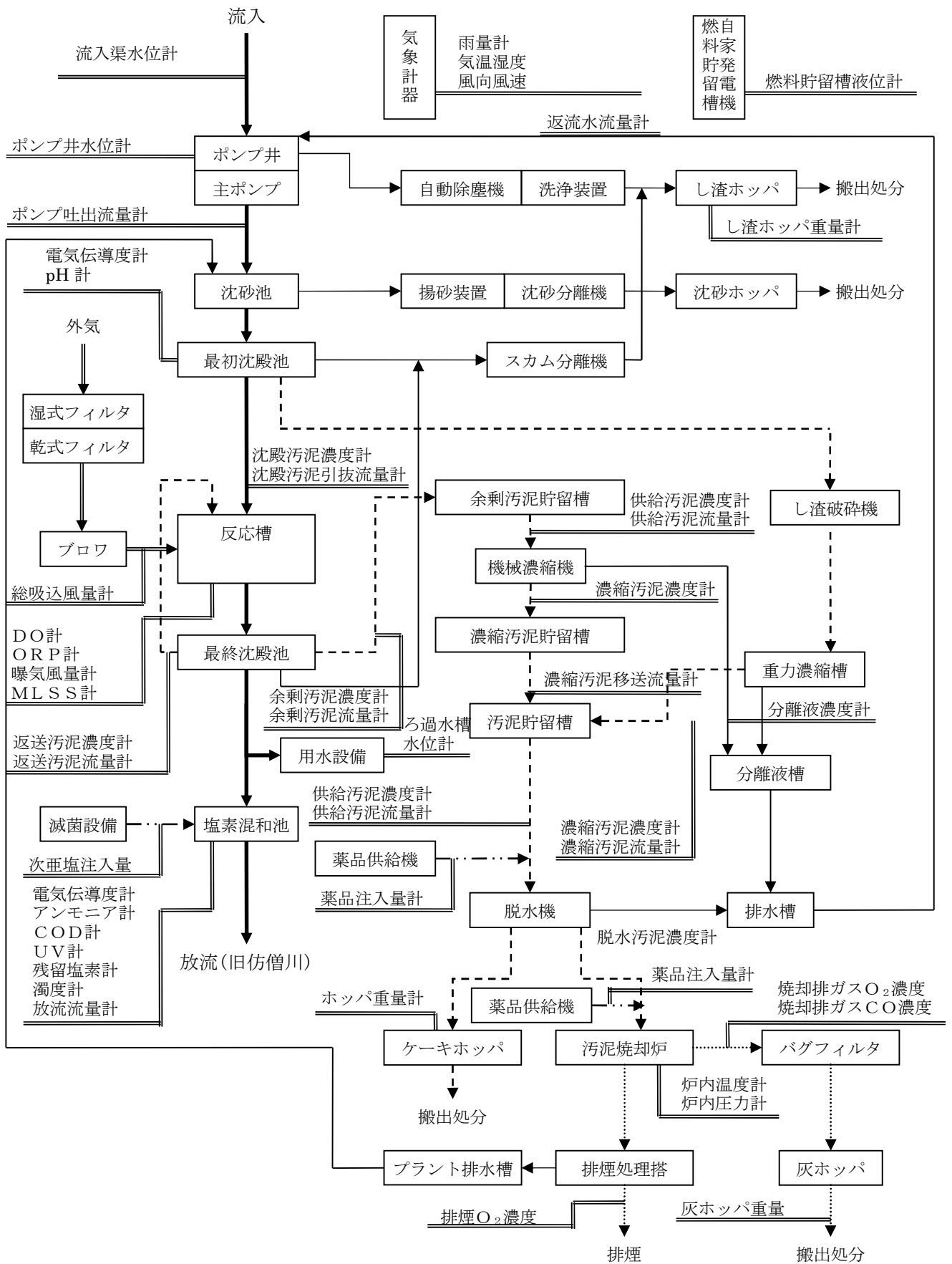
(4) 脱臭設備

項目 設備	構造及び能力	全体計画	事業計画	現有施設
脱臭設備	ポンプ棟・沈砂池棟系脱臭設備 洗浄塔(水) 90 m ³ /min			1基
	脱臭ファン(ターボファン) 90 m ³ /min×1.96kPa×5.5kW			1基
	汚泥濃縮棟・汚泥処理棟系脱臭設備 生物脱臭装置 90 m ³ /min			1基
	活性炭吸着塔(酸性・中性・アルカリ性吸着剤) 立型カートリッジ式 55 m ³ /min			1基
	立型カートリッジ式 30 m ³ /min 脱臭ファン(ターボファン)			1基
	55 m ³ /min×3.5kPa×7.5kW 35 m ³ /min×3.5kPa×5.5Kw			1台 1台
	焼却系脱臭設備 活性炭吸着塔(酸性・中性・アルカリ性吸着剤)			1基
	立型カートリッジ式 20 m ³ /min 脱臭ファン(ターボファン)			1台
	20 m ³ /min×3.94kPa×3.7kW			

別紙 - 2 - 1 磐南浄化センター全体処理フローシート (参考)



別紙 - 2 - 2 磐南浄化センター計装設備フローシート (参考)



別紙ー 3 受託者が負担する物品等（直接経費に含まれる消耗品等）

1 業務の履行に必要とする消耗品等

用途区分	物 品	左 の 具 体 例
潤滑油脂	保守点検業務に必要な補充、交換用油脂類	オイル、グリス類（オーバーホール時等の交換、特殊なオイル、グリス類は除く）
修繕補修用材料	保守点検業務の範囲内で行う簡易な修繕修理に使用する一般汎用品	一般汎用品であるボルト、パッキン、Vベルト、豆電球、端子、蛍光管（建築付帯含む。）、コーキング材、電線、コンセント、アンカー、ゴムキャップ、結束用材、100A以下の配管用品、テープ、ホース、ゴム板、ロープ、ウェス、機器洗浄油類、塗料、塗装用刷毛、薄め液、錆止め材料等（製造業者等への特注品、委託者が別に指示するものを除く。）
計測・分析業務用品 ※	計測に必要な消耗品、分析用試薬、分析に必要な消耗品	計測機器電極、計測器校正試薬、分析用試薬、パックテスト、ろ紙、ゴム手袋等
報告記録用紙	保守点検、運転監視等の受託業務の記録に用いる各種記録報告用紙類	プリンター用紙等
清掃用具	清掃作業に用いる用具	バケツ、ブラシ、モップ、ワイヤブラシ、クレンザー、たわし、洗浄剤等
衛生用品	石鹼、消毒液、殺虫剤、救急薬品等	
その他	暖房・給湯器用燃料	LPガス等
	連絡用自動車、可搬式エンジン等に必要な燃料	ガソリン、軽油
	日用品、事務用品等	

※計測：自動計装設備による計測、分析：水質試験室内での水質分析

2 専ら使用する備品・工具等

(1) 工具及び測定機器類の例

① 機械工具

スパナ類、レンチ類、ペンチ類、プライヤー類、ドライバー類、ハンマー類、ドリル類、ヤスリ類、ノコギリ類、タガネ類、カッター類、ポンチ類、グラインダー類、砥石類、ブラシ類、コンパス類、万力類、カジャ類、トーチランプ、油さし、グリースガン、ショベル類、はしご類、ロープ類、携帯用工具箱、台車、その他

② 電気用具

圧着ペンチ、絶縁ペンチ類、電工ナイフ、電工バンド類、投光器、コードリール、懐中電灯類、トランシーバ、その他

③ 測定器具

絶縁抵抗計、接地抵抗計、検電器、テスター、クランプメータ、回転計、ノギス、スケール類、シクネスゲージ、ダイヤルゲージ、ストップウォッチ、温度計、振動計

④ 分析試験器具

ガラス器具類、試験用器具類、その他

⑤ 安全対策器具等

安全帯、簡易酸素濃度計、安全標識、高圧電気保護具、酸素呼吸器、ガードスタンド、硫化水素測定器、安全用ロープ・ベルト、その他

⑥ 被服・履物

作業服（社名入り）（夏用、冬用、上下）、革手袋、胴付長靴、絶縁ゴム手袋、絶縁ゴム長靴、雨合羽、保護帽、防塵マスク、ライフジャケット、作業靴、防塵メガネ、軍手、長靴、ゴム手袋、安全靴、その他

(2) その他物品の例

連絡用自動車、自転車、電話機、事務用机類、書庫類、黒板類、複写機、写真機、ロッカー類、下足箱、傘立て、清掃具収納庫、食器棚、各種茶器類、寝具類、テレビ、ラジオ、冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機、電気掃除機

3 その他

(1) 委託者が購入し貸与している備(物)品の点検・修繕、校正、定期検査等に係わる費用は委託者の負担とする。

(2) 疑義がある場合は協議により決定する。

1. 受託者が調達する薬品等

想定される薬品等の使用量および仕様を以下に示す。いずれも、維持管理に支障のない範囲において受託者の裁量とし、委託料を変更しない。

(1) 使用実績（参考）

	項目名	令和4年度	令和5年度
①	水道	2,226m ³	2,609m ³

※ 水道については、業務引継ぎ期間内に使用者変更の手続きを行うこと

※ 水道水については、漏水等監視のため、使用量の推移に十分な注意を払うこと

(2) 薬品等の仕様及び提出書類

対象が水道のみのため、特筆する事項なし

2. 委託者の調達業務を補助する薬品等

調達を想定する薬品等の使用実績と補助業務の内容を以下に示す。

処理の状況に応じて薬品等の仕様変更や追加を行う場合がある。使用量、搬入回数とともに、増減等あった場合も委託料を変更しない。

(1) 使用実績（参考）

	項目名	令和4年度		令和5年度	
		数量	搬入回数	数量	搬入回数
①	次亜塩素酸ナトリウム	195,924 ℓ	30回	264,839 ℓ	39回
②	焼却炉用苛性ソーダ	100,277 kg	10回	111,192 kg	11回
③	高分子凝集剤(濃縮用)	3,457 kg	8回	3,872 kg	12回
④	高分子凝集剤(脱水用)	13,752 kg		16,876 kg	
⑤	ポリ硫酸第二鉄	30,312 kg	7回	159,479 kg	24回
⑥	脱臭用活性炭	-	0回	891m ³	1回
⑦	消石灰	3,557 kg	2回	2,045 kg	1回
⑧	液状消石灰	-	0回	13m ³	10回
⑨	流動砂	4,000kg	2回	2,770kg	3回

(2) 補助業務の内容

主に下記事項を想定する。詳細は委託者の指示に従うものとする。

- ・ 委託者が薬品等を調達するために必要となる内部決裁文書等の作成
- ・ 在庫管理（特記仕様書第５３条）
- ・ 調達先との連絡調整（搬入量、受入日時等）
- ・ 薬品等の受入れ
- ・ 納品書その他関連資料の收受および管理
- ・ 委託者に対する調達状況の報告

別紙－5 業務委託費の見直し

契約書第18条に定める業務委託費の見直しの基本的な考え方については、以下のとおりとする。

- ① 変動要素の見直しは、翌事業年度の業務委託費を設定する時期に行う。
- ② 第1項及び第2項に該当するものについては、残業務の総額が物価の変動により1.5%を超える額が対象となるものとし、1.5%以内は許容範囲として変更しない。
- ③ 第4項に該当するものについては、残業務の総額が物価の変動により1.0%を超える額が対象となるものとし、1.0%以内は許容範囲として変更しない。
- ④ 上記②③の許容範囲については、初回は初期値に対して、以降は直近の見直し後の数値に対して測ることとする。
- ⑤ 変動要素の見直し時点から、実際の業務委託費が支払われる時期までに大幅に乖離が生じた場合、委託者と受託者は協議により変動要素の見直しをすることができるものとする。
- ⑥ 人件費は原則として毎月勤労統計調査の年平均賃金指数（確報値）の年変動率を適用するものとし、その他については原則として消費者物価指数を基に行うものとする。

別紙ー6 引継書作成要領

引継書には、以下の項目を含めるものとする。

ただし、業務報告書の他業務の履行に伴い受託者が作成し委託者に提出した資料については次期受託者に共有することを前提としているため、それら既存資料に記載あるものについては、参照先の明示に代えることができるものとする。

なお、既存資料に特許等により保護されるべき技術情報がある場合は、委託者の承諾を経て、当該技術情報の部分を削除した資料を引継書として用いることを認める。

<引継項目>

- ・ 監視制御装置を用いた運転監視の方法
- ・ 機械・電気設備等の操作方法
- ・ 運転管理に関連するデータの保管状況
- ・ 対象設備の特性及びそれを踏まえた運転管理方法
- ・ 設備の稼働実績及び保全状況
- ・ 大雨等想定されるリスクに対する対処方法
- ・ 運転管理、設備の点検保守における留意点
- ・ その他、維持管理業務の円滑な実施において必要な事項

別紙ー 7 業務計画書作成要領

本要領は、特記仕様書第9条に基づき、各業務を行うにあたって必要な事項をあらかじめ確認するとともに委託者と受託者が円滑な連携を保つために作成する業務計画書の作成要領を定めるものである。

- 1 業務概要
- 2 実施方針
- 3 実施体制

本業務を実施するにあたり仕様書に規定する各責任者の配置及び役職のほか、本業務に関係する受託者の組織体制と業務分担、責任者等

4 工程表

本体業務、付帯業務および各種法定点検等の実施予定等

5 施設運転及び管理計画に関すること

委託者の示す基本的な運転管理方針、運転管理の目標となる法令基準および各種業務指標(KPI)の遵守・達成のための、具体的な業務実施方法と、これに必要な運転管理基準等の設定および自主的な管理の方法等

- (1) 施設運転及び管理の体制（配置人員）
- (2) 有資格者の配置
- (3) 放流水質の管理目標値と管理方法
- (4) ユーティリティ（薬品、電力等）の管理目標値及び管理方法
- (5) 故障等の対応方法
- (6) 大雨時の運転体制や要員配置、故障対応方法
- (7) 地震、津波時の対応方針及び体制
- (8) 緊急事態、事故等の防止対策、対応方針、連絡体制

緊急事態、事故とは、人身事故並びに薬品及び危険物の流出及び火災

- (9) 油、薬品等の異常流入時の対応方針及び連絡体制

6 水質分析・試験業務計画に関すること

- (1) 運転管理に必要な水質・汚泥試験等について、分析の内容、時期、頻度等に関する具体的な内容
- (2) 水質測定装置の精度管理に必要となる水質試験の方法
- (3) 法令基準等への適合確認に関する試験に関する実施方法及びチェック体制、担当者の保有資格等に関する説明

7 保守業務実施計画に関すること

- (1) 保守点検実施方針
点検の頻度・内容と実施方法、および準拠規格等に照らした合理性に関する説明
- (2) 法定点検実施方針
点検対象とその方法、および準拠法令

- (3) 簡易な修繕及び小規模修繕の実施方針
実施方法やその実施体制等
- (4) 緑地管理業務の実施方針
エリア毎の目標と実施方針
- (5) 清掃業務の実施方針
清掃エリア毎の目標と実施方針
- (6) その他技術的業務実施計画
 - ① 機器劣化度評価及びデータ入力作業の実施体制（担当部署等）
委託者の情報セキュリティの規定に基づき、適切に業務を行うための管理体制等
（特記仕様書第31条関係）
 - ② 受託者が外部へ再委託する業務の履行管理業務の実施体制（担当部署等）
- 8 事務処理業務等実施計画
事務処理業務の実施体制（担当部署等）
- 9 廃棄物の処分計画に関すること。
廃棄物の搬出作業及び運搬方法について
- 10 安全管理体制、安全管理計画に関すること。
現場及び会社の安全管理体制及び研修計画等、現場での安全管理計画について具体的な
とりまとめ
- 11 業務品質管理方法について
セルフモニタリングなど受託業務の品質を確保する方法や体制に関する説明
- 12 従事者名簿に関すること。
- 13 その他、施設運転・管理に必要な事項に関すること。

別紙－8 業務の施行に伴う報告書等

報告書等の記載事項は以下の通りとする。また、委託者が求める項目については電子データとしても提出すること。

1 日次報告書

名称	記載事項
業務日報	(1) 運転日報 使用量（電力、水道、薬品、燃料）、流入水量、処理水量、返送汚泥量、余剰汚泥量、汚泥処分量、環境計測項目の結果、主要機器の運転記録 (2) 作業日報 運転操作、故障・異常、点検・修繕作業等の内容 (3) その他必要事項

2 月次報告書

名称	記載事項
業務月報	(1) 運転管理概要 (2) 水処理汚泥処理概要 (3) 設備管理概要 (4) 運転月報（運転日報の総括） (5) 作業月報（作業日報の総括） (6) 保守点検、修繕、調整等の実施記録 (7) 環境計測結果（法定分析等業務） (8) 事故、故障の発生及び対応記録 (9) 施設管理業務の実施状況及び結果 (10) 付帯業務の実施状況及び結果 (11) 提案業務の実施状況及び結果 (12) その他必要事項
調達等報告	(1) 物品等（第35条関連）、薬品等（第45条関連）の調達状況 (2) 小規模修繕（第43条関連）の実施状況

3 年次報告書

名称	記載事項
業務年報	(1) 運転管理概要 (2) 水処理汚泥処理概要 (3) 設備管理概要 (4) 運転年報（運転月報の総括） (5) 環境計測結果の総括 (6) その他必要事項

4 完了報告書

完了報告書は、5か年の業務を総括したものとする。

1 適用

この仕様書は、消防設備点検の委託業務に適用する。

2 業務概要

(1)点検の基準、期間及び結果報告は、別紙-9-3 によるほか、次に定めるところによる。

・「消防法施行規則の規定に基づき、消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法ならびに点検の結果についての報告書の様式を定める件（平成 16 年消防庁告示第 9 号）」

・「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件（昭和 50 年消防庁告示第 14 号）」

・「消防用設備等の点検要領の全部改正について（平成 14 年 6 月 11 日消防予第 172 号）」

・「国家機関の建築物の昇降機以外の建築設備の定期点検における点検の項目、事項、方法及び結果の判定基準を定める件（平成 20 年国土交通省告示第 1351 号）」

(2)点検は、資機材の搬送、足場の固定等の補助的な内容を除き、別紙-9-3 に定める資格を有する者が行うものとする。

(3)点検の実施に当たっては、委託者と十分に協議を行い、利用者等に対する危害防止を図るとともに、当該点検に係る施設及び設備の概要、状態等を十分把握しておくこと。

(4)点検終了後は電源・電圧の確認、スイッチ類の位置、収納状態等を再度確認し、必ず元の状態に復元しておくこと。

3 対象設備

詳細は別紙-9-1～3 による。

- (1)消火設備
- (2)屋内消火栓設備
- (3)ハロゲン化物消火設備
- (4)自動火災報知設備
- (5)誘導灯及び誘導標識
- (6)排煙設備
- (7)配線
- (8)パッケージ型消火設備
- (9)防火ダンパー
- (10)排煙窓
- (11)防火戸

4 履行時期

下記の時期を目安に本業務を履行すること。

- (1) 機器点検：毎年6月頃
- (2) 総合点検：毎年12月頃
- (3) 防火設備、換気設備点検（前項3(9)-(11)）：毎年12月頃

5 その他

(1) ダイオキシン類ばく露防止対策

本業務の実施においては、汚泥焼却設備の運転・点検等作業に携わる労働者のダイオキシン類へのばく露を防止するため、労働安全衛生法（平成13年4月1日施行）に規定された事項を含む対策を講じること。

磐南浄化センターに設置される「ダイオキシン類対策協議会」に参加し、それに基づく対策要綱を遵守すること。また、「ばく露防止計画書」及び「ばく露防止計画 実施報告書」を提出すること。

対象作業を行う者に対し関連法規に基づく特別教育を受講させ、特別教育を受講した旨の証明書を提出させること。

(2) 不良個所の現地確認

委託者が求めた場合は、監督職員による不良個所の現地確認を実施すること。

6 提出書類

業務に関しては毎年度、下記の書類を提出すること。

No.	書 類	数量	提出時期	備 考
1	作業工程表	1部	業務開始前	
2	不良個所報告書	1部	各点検終了後	(1) 不良個所 (2) 不良内容
3	点検報告書	2部	業務完了後	(1) 点検結果 (2) 点検写真
4	電子データ	1部	同 上	全てのデータを格納すること。

※ 点検報告書の2部のうち1部は管轄消防署提出用として作成する。

別紙-9-1 消防設備数量一覧表

設 備		合 計	内 訳														(単位)	
			管理棟	ポンプ棟	送風機棟	沈砂池棟	用水棟	水処理 電気室棟	汚泥 処理棟	汚泥 濃縮棟	汚泥焼却 管理棟	焼却 ヤード	管廊	資材倉庫	油脂貯蔵庫 (管理棟)			
消火設備	消火器	畜圧式	102	17	7	15	3	7	3	13	9	9	16		1	2	本	
	消火栓		1							1							式	
	パッケージ型		2			2											式	
	ハロゲン化物		1							1							式	
自動火災 報知設備	受信機 P型1級	44回線	1	1													台	
		15回線	1									1					台	
	副受信機	15回線	1							1							台	
	表示機	5回線	1			1											台	
	発信機 P型1級		32	3	7	3	2	1	3	6	4	3					台	
	スポット型感知器	差動式	136	44		13	2	4			58	15						台
		定温式	80	6				1	12	17	25	19						台
		煙式	180	11	81	22	4		13	14	20	15						台
	分布型感知器	差動式	12			4				8								台
	電鈴		34	3	7	3	2	1	3	6	6	3						個
表示灯		29	3	7		2	1	3	6	4	3						個	
避難設備	誘導灯		226	21	34	20	7	34	17	22	14	12	18	27			台	
防排煙設備	制御盤		2	1						1							面	
	防火戸		4	2						2							個	
排煙設備	ダンパー		62		42		5			12			3				個	
	自動排煙口		25	11	4		2			2	4		2				組	

別紙-9-2 消火設備数量内訳表

設備	場所	数量 (式)	内 訳	数量	単位
パッケージ型	送風機棟	2	起動部（ガス加圧式）	1	台
			操作装置	1	台
			ボックス	1	台
			ホース類	1	式
			消火剤貯蔵容器	1	基
消火栓	汚泥処理棟	1	加圧送水装置	1	台
			操作盤	1	台
			消火栓	6	基
			起動スイッチ	6	個
			表示灯	6	個
			表示盤	1	面
			音響装置	1	組
			水源	1	面
ハロゲン化物	汚泥処理棟	1	ハロゲンガス容器	7	本
			容器弁開放器（電磁式）	7	個
			起動用小容器	1	本
			起動用操作箱	1	個
			スピーカー	2	個
			連動盤	1	面
			ピストンリレーザー	2	組
			放出表示函	2	個
			ヘッド	4	個
			表示盤	1	個
			電源装置	1	組

消防用設備等の種類別点検資格、点検周期

消防用設備等の種類			点検資格		点検周期	
			消防設備士 (甲種・乙種)	消防設備 点検資格者	機器 点検	総合 点検
消防の用に供する設備	消火設備	消火器具	第6類	第1種	6M ※注2	1Y
		屋内消火栓設備、屋外消火栓設備、スプリンクラー設備、水噴霧消火設備	第1類			
		不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備、粉末消火設備	第3類			
		動力消防ポンプ設備	第1類、第2類			
	警報設備	自動火災報知機設備、ガス漏れ火災警報設備	第4類	第2種	6M	1Y
避難設備	誘導灯及び誘導標識	第4類、第7類 ※注1				
消防用水			第1類、第2類	第1種	6M	
消火な活動上必要		排煙設備	第4類、第7類	第2種	6M	1Y
非常電源等・配線		非常電源専用受電設備、蓄電池設備、自家発電設備、燃料電池設備	当該電源等が付属する各消防用設備等の点検資格を有する者		6M	1Y
		配線				
		総合盤			6M	

※注1 第4種(甲種・乙種)は第7種(乙種)のうち、電気主任技術者の免状の交付を受けている者

※注2 点検周期「6M」とは6月毎に1回、「1Y」とは1年ごとに1回行うことを示す。

別紙-10 クレーン点検業務

1 適用

この仕様書は、クレーン点検の委託業務に適用する。

2 業務概要

クレーン等安全規則第34条、35条に準じた定期点検を行うこと。検査項目及び検査方法、判定基準については天井クレーン定期自主検査指針（厚生労働省告示）によること。

また、下記クレーン設備表1～5については日常的に使用しないため、月例点検は不要とし、下記クレーン設備表1～3については年次点検時の荷重試験も不要とする。

3 対象設備

(1) クレーン設備

	機器名	定格荷重(t)	設置場所	揚程(m)
1	機器搬入用 ホイスト式テルハ (明電舎 H-PN2.8-H24-ML)	2.8	ポンプ棟 B2F	24
2	補助ポンプ吊上用 ポスト形ジブクレーン (象印 DAMS-1W)	1.0	ポンプ棟 B2F	7
3	機器搬入用 ホイスト式テルハ (日立 2.8HM-T65)	2.8	沈砂池棟 2F	12
4	No.1 薬品搬入用 ホイスト式天井クレーン (ニッチ MHE5005)	0.5	汚泥処理棟 2F	10.6
5	No.2 薬品搬入用 ホイスト式壁クレーン (ニッチ MHE5005)	0.5	汚泥処理棟 2F	8
6	No.1 砂補給用 ホイスト式テルハ (キトー SD020HH06)	2.0	汚泥焼却設備 2F	6

設置場所は別紙-10-1による。

4 ダイオキシン類ばく露防止対策

- (1) 本業務の実施においては、汚泥焼却設備の運転・点検等作業に携わる労働者のダイオキシン類へのばく露を防止するため、労働安全衛生法（平成13年4月1日施行）に規定された事項を含む対策を講ずること。
- (2) 磐南浄化センターに設置される「ダイオキシン対策協議会」に参加し、それに基づく対策要綱を遵守すること。また、「ばく露防止計画書」及び「ばく露防止計画 実施報告書」を提出すること。
- (3) 対象作業を行う者に対し関連法規に基づく特別教育を受講させ、特別教育を受講した旨

別紙-10 クレーン点検業務

の証明書を提出させること。

5 その他

- (1) 「天井クレーン定期自主検査者安全教育要領」（厚生労働省通達）に基づいた教育（定期自主検査者安全教育）を受けた者が作業を行うこと。
- (2) 作業日時は監督職員と協議を行うこと。
- (3) 点検中は養生等を行い、他の機器を傷つけないように注意すること。
- (4) 修繕を要する交換用部品等を一覧表にまとめ、その箇所を朱書きで示した図面を添付して提出すること。

(5) その他

特に明記なき場合でも、必要に応じ以下の作業を行う。

- ① 取付け不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整
- ② ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増締め
- ③ 次に示す消耗部品の交換または補充（劣化しているもの）
 - i グリス、充填油等
 - ii ランプ類、ヒューズ類（高価なものは除く）
 - iii パッキン、ガスケット、Oリング類（高価なものは除く）
- ④ 接触部分、回転部分等への注油
- ⑤ 軽微な損傷がある部分の補修
- ⑥ 塗装（タッチペイント）
- ⑦ その他これらに類する軽微な作業

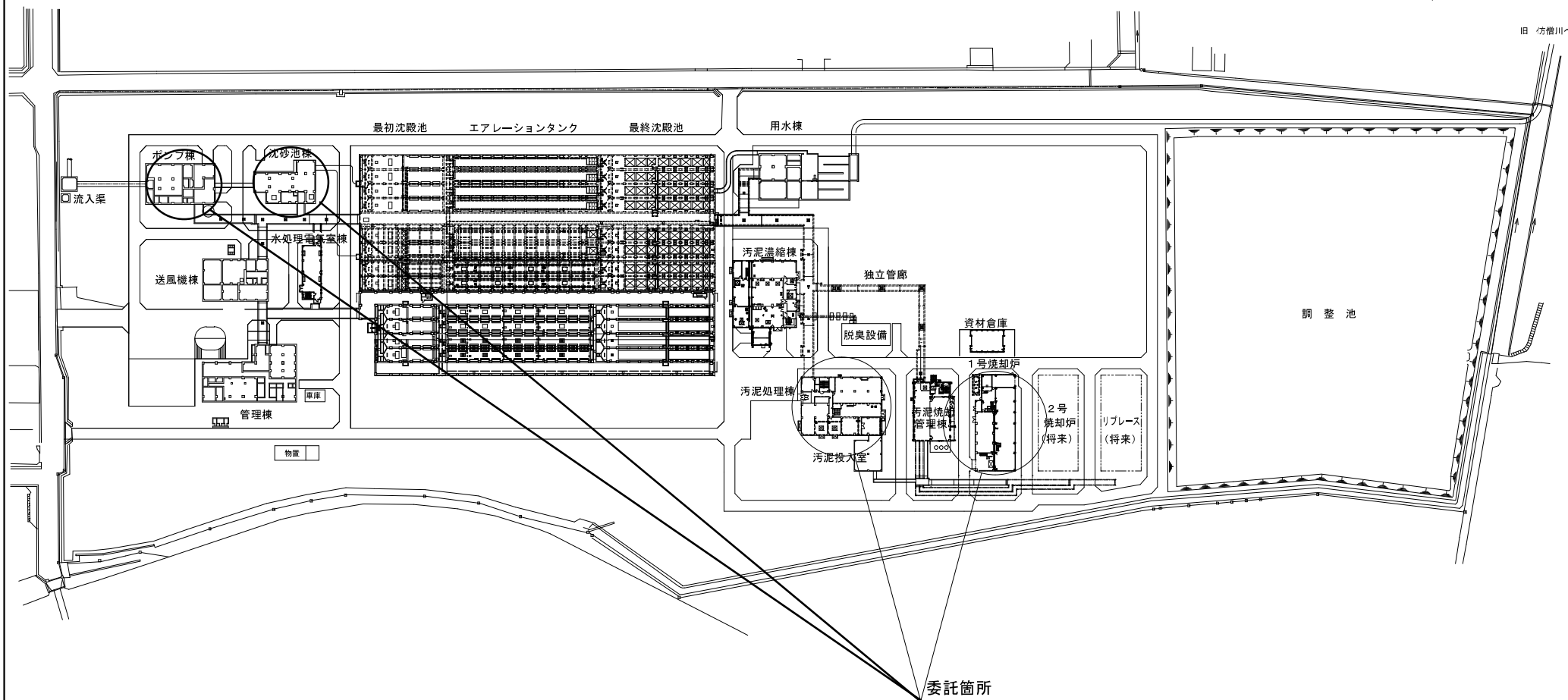
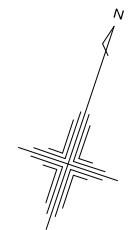
6 提出書類

提出書類は下記のとおりとする。

毎年度、業務完了後に、下記の報告書等を作成の上、提出すること。

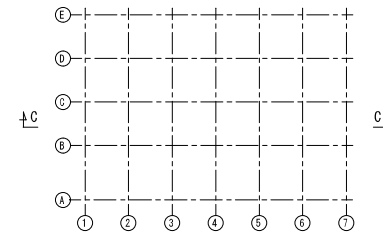
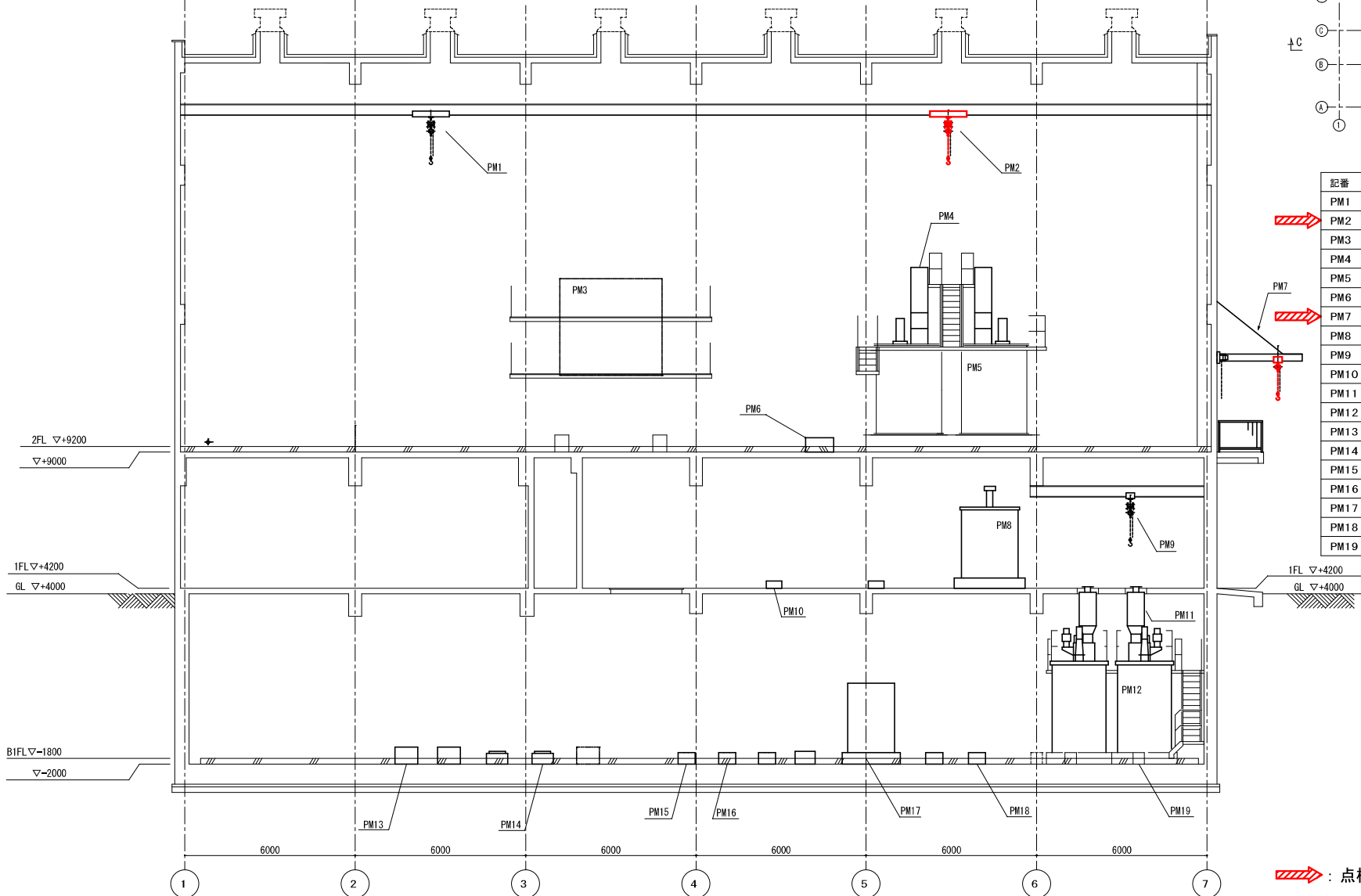
No.	図書名	規格	数量	内容・備考
1	点検報告書	A4 判縦 ファイル製本	1	点検報告、写真帳など。
2	検査記録表	A4 判縦	1	
3	その他			JS 監督員が必要と認めたもの

場内配置図 S=1/2500



委託名	磐南浄化センタークレーン点検業務		
図名	場内配置図		
委託箇所	磐田市小中瀬地内	図面番号	1/3

汚泥処理棟断面図



KEY-PLAN

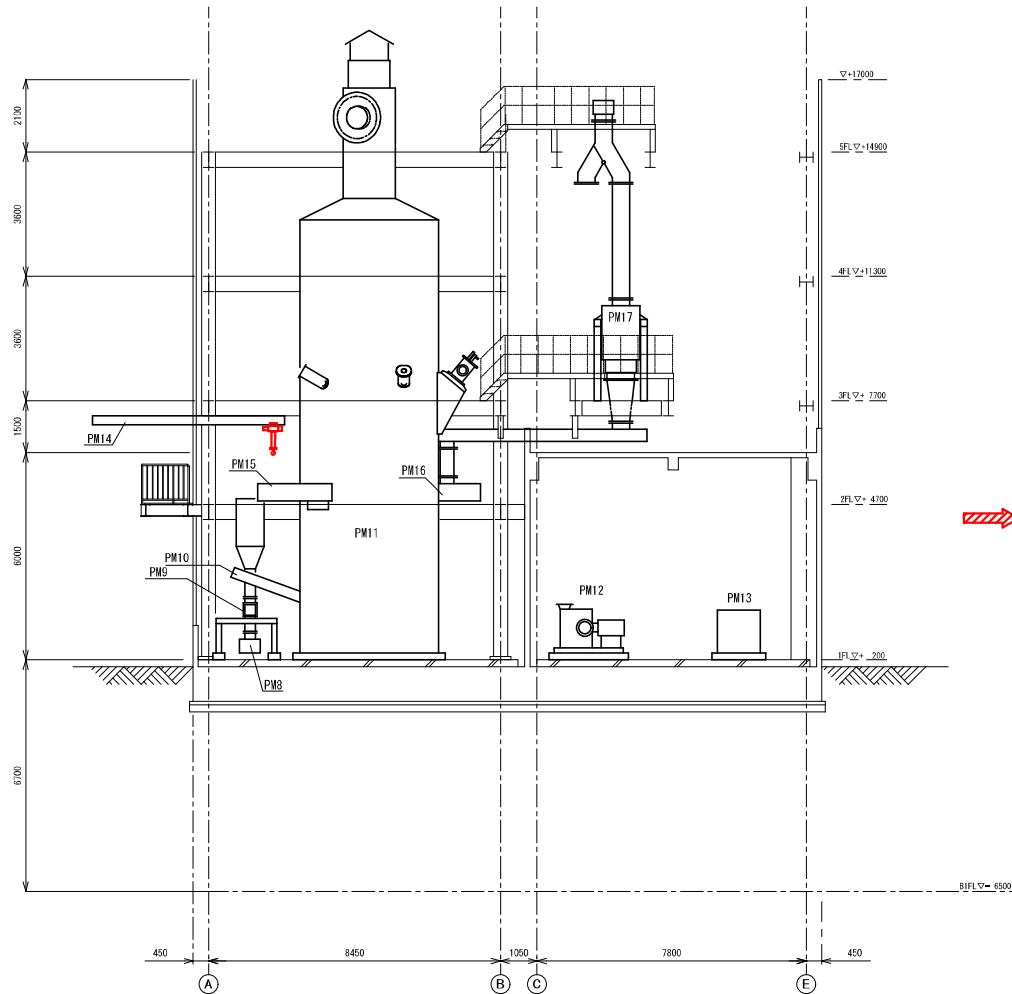
記番	名 称	備 考
PM1	脱水機補修用チェンブロック	
PM2	No. 1 薬品搬入用吊上装置	
PM3	汚泥脱水機	
PM4	薬品定量供給機	
PM5	薬品溶解タンク	
PM6	薬品供給ポンプ	
PM7	No. 2 薬品搬入用吊上装置	
PM8	汚泥サービスタンク	
PM9	薬品搬入用吊上装置	
PM10	脱水機給泥ポンプ	
PM11	薬品定量供給機	
PM12	薬品溶解タンク	
PM13	サービスタンク給泥ポンプ	
PM14	汚泥供給ポンプ	
PM15	高圧ろ布洗浄水ポンプ	
PM16	ろ布洗浄水ポンプ	
PM17	自動給水装置	
PM18	排水ポンプ	
PM19	薬品移送ポンプ	

➡ : 点検対象設備

C-C 断面図 S=1/200

委託名	磐南浄化センタークレーン点検業務		
図名	汚泥処理棟断面図		
委託箇所	磐田市小中瀬地内	図面番号	2/3

1号焼却棟断面図



記番	名称	備考
PM1	No.1-2地下雑排水ポンプ	
PM2	No.1-1 "	
PM3	No.1-2ケーキ供給ポンプ	
PM4	し選破砕機	
PM5	No.1し選受入ホッパフィーダ	
PM6	定量フィーダ	
PM7	No.1し選移送コンベヤ	
PM8	No.1-2砂搬送コンベヤ	
PM9	No.1-1 "	
PM10	No.1砂冷却コンベヤ	
PM11	No.1焼却炉	
PM12	No.1流動ブロフ	
PM13	No.1空気槽	
PM14	No.1砂補給ホイス	2.0t
PM15	No.1-2ケーキ投入機	
PM16	No.1-1 "	
PM17	No.1し選計量ホッパフィーダ	



: 点検対象設備

D-D断面図 S=1/200

委託名	磐南浄化センタークレーン点検業務		
図名	焼却棟断面図		
委託箇所	磐田市小中瀬地内	図面番号	3/3

別紙 - 11 フォークリフト点検業務

1 適用

この仕様書は、フォークリフト点検の委託業務に適用する。

2 作業概要

労働安全規則第 151 条の 21、151 条の 22 に準じた自主検査を行うこと。

3 対象設備

(1) トヨタ L&F 社製 7FD30 1 台

4 その他

- (1) 作業日時は監督職員と協議を行うこと。
- (2) 点検中は養生等を行い、他の設備等を傷つけないように注意すること。
- (3) 点検にて修繕が必要な場合には交換用部品等を報告すること。

5 提出書類

提出書類は下記のとおりとする。

毎年度、業務完了後に、下記の報告書等を作成の上、提出すること。

No.	図書名	規格	数量	内容・備考
1	点検報告書	A4 判縦 ファイル製本	1	点検報告、写真帳など。
2	検査記録表	A4 判縦	1	
3	その他			監督職員が必要と認めたもの

別紙 - 12 空気調和設備点検業務

1 適用

この仕様書は、空気調和設備点検の委託業務に適用する。

2 業務概要

(1) フロン排出抑制法に基づく簡易点検

3 ヶ月を越えない範囲で1回以上実施すること。

点検は業務用冷凍空調機器ユーザーによる簡易点検の手引き(第2版)に準じて行うこと。

(2) シーズンイン点検

冷房の運転期間開始前に年1回実施すること。

点検は建築保全業務共通仕様書令和5年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)に準じて行うこと。

3 対象設備概要 (パッケージ形空気調和機)

(1) 管理棟

系統	台数	定格冷房能力(kW)	機種名	備考
1階生物試験室	2	5.0	SZRA56BJV	ツイン・天吊
1階機器分析室	1	4.5	SZRU50BJTH	シングル・天吊
1階中央試験室(西)	2	25.0	SZRU280BD	ツイン・天吊
1階中央試験室(中央)	2	25.0	SZRU280BD	ツイン・天吊
1階中央試験室(東)	2	28.0	SZRU280AD	ツイン・天吊
1階作業員控室	1	7.1	SZRC80BJTH	ツイン・天吊
1階電気室(北)	1	20.0	SZRH224AH	シングル・天カセ
1階電気室(南)	1	20.0	SZRH224AH	シングル・天カセ
2階データロガー室	2	12.5	SZRC140BYD	ツイン・天カセ
2階事務室	2	14.0	SZRU280AD	ツイン・天カセ
2階会議室	2	14.0	SZRC160BJD	ツイン・天カセ
2階中央監視室(北)	2	12.5	SZCP140KD	ツイン・天カセ
2階中央監視室(南)	2	12.5	SZRC140BJ	ツイン・天カセ

(2) 汚泥濃縮棟

1階電気室(北)	1	20.0	SZRH224BA	シングル・天吊
----------	---	------	-----------	---------

(3) 汚泥処理棟

1階電気室(東)	1	20.0	SZRH224BA	シングル・天吊
2階操作室(東)	2	12.5	SZCP140KD	ツイン・天カセ
2階操作室(西)	2	12.5	SZCP140KD	ツイン・天カセ
2階作業員控室	2	10.0	SZC112BAD	ツイン・天カセ

別紙 - 12 空気調和設備点検業務

(4) 焼却管理棟

1階電気室(1)(北)	1	12.5	SZRC140BJ	シングル・天吊
1階電気室(1)(南)	1	12.5	SZRC140BJ	シングル・天吊
1階電気室(2)(北)	1	10.0	SZRH112BYH	シングル・天吊
1階電気室(2)(中央)	1	10.0	SZRH112BYH	シングル・天吊
1階電気室(2)(南)	1	10.0	SZRH112BYH	シングル・天吊

(5) ポンプ棟

1階電気室(北西)	1	20.0	SZRH224BA	シングル・天吊
1階電気室(南西)	1	20.0	RP224BAE	シングル・天吊
1階電気室(北東)	1	20.0	RP224BAE	シングル・天吊

(6) 水処理電気室棟

1階電気室(北)	1	25.0	RPC-AP280AV1	シングル・天吊
1階電気室(中央)	1	25.0	RPC-AP280AV1	シングル・天吊
1階電気室(南)	1	25.0	RPC-AP280AV1	シングル・天吊
2階電気室(北)	1	20.0	RPC-AP224AV1	シングル・天吊
2階電気室(中央)	1	20.0	RPC-AP224AV1	シングル・天吊
2階電気室(南)	1	20.0	RPC-AP224AV1	シングル・天吊

(7) 送風機棟

1階電気室(西)	1	12.5	SZRH140BYH	シングル・天吊
1階電気室(北)	1	12.5	SZRH140BYH	シングル・天吊
1階電気室(南)	1	10.0	SZRH112BYH	シングル・天吊

(8) 用水棟

1階電気室(南)	1	10.0	SZRH112BY	シングル・天吊
----------	---	------	-----------	---------

設置場所は別紙-12-1による。

4 その他

- (1) 作業日時は監督職員と協議を行うこと。
- (2) 修繕を要する交換用部品等を一覧表にまとめ、その箇所を朱書きで示した図面を添付して提出すること。
- (3) フロン類は、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づき適切に取扱うものとする。
- (4) 定期点検の結果に応じ実施する保守の範囲は、次のとおりとする。
 1. 汚れ、詰まり、付着等がある部品又は点検部の清掃
 2. 取付け不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整
 3. ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増締め
 4. 次に示す消耗部品の交換または補充
 - ア 潤滑油、グリス、充填油等
 - イ ランプ類、ヒューズ類

別紙 - 12 空気調和設備点検業務

ウ パッキン、ガスケット、Oリング類

5. 接触部分、回転部分等への注油
6. 軽微な損傷がある部分の補修
7. 塗装（タッチペイント）
8. その他これらに類する軽微な作業

5 提出書類

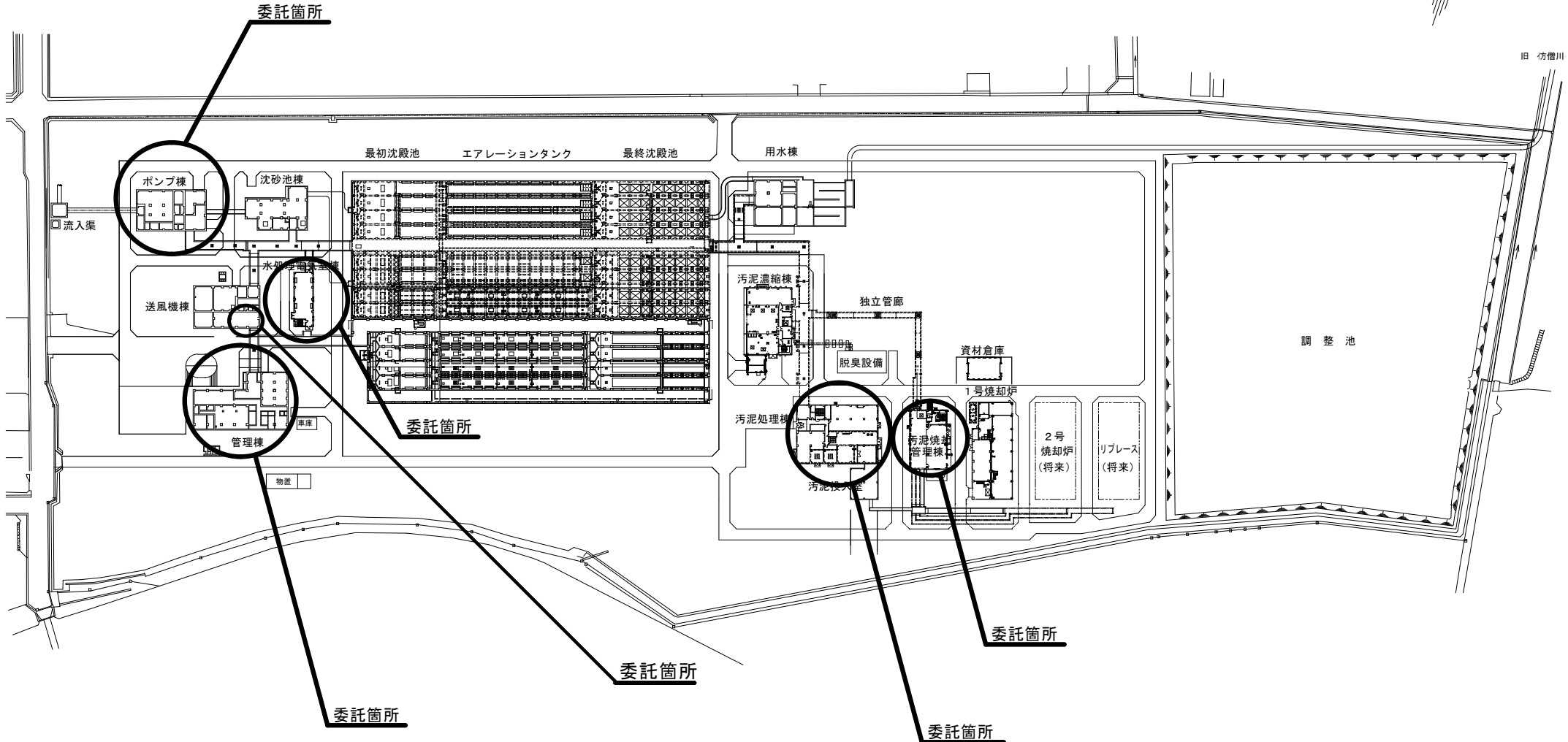
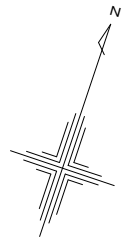
提出書類は下記のとおりとする。

毎年度、業務完了後に、下記の書類を作成の上、提出すること。

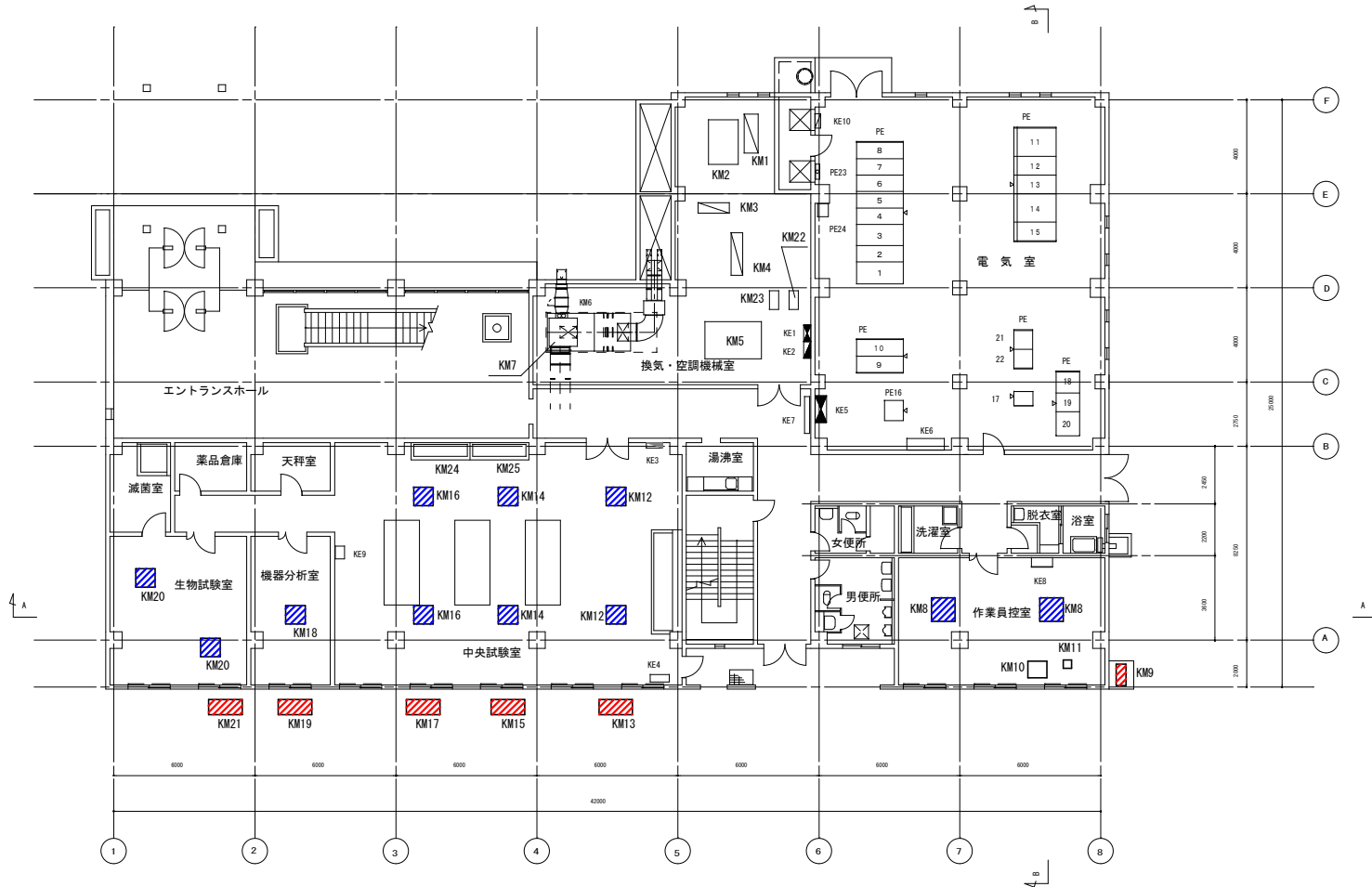
No.	図書名	規格	数量	内容・備考
1	点検報告書	A4 判縦 ファイル製本	1	点検報告、定期点検記録簿
2	その他			監督職員が必要と認めたもの

報告書の背表紙には業務名、実施者、完了年月等を記載すること。

場内配置図 S=1/2500



管理棟 1階平面図



1階平面図 S=1/300

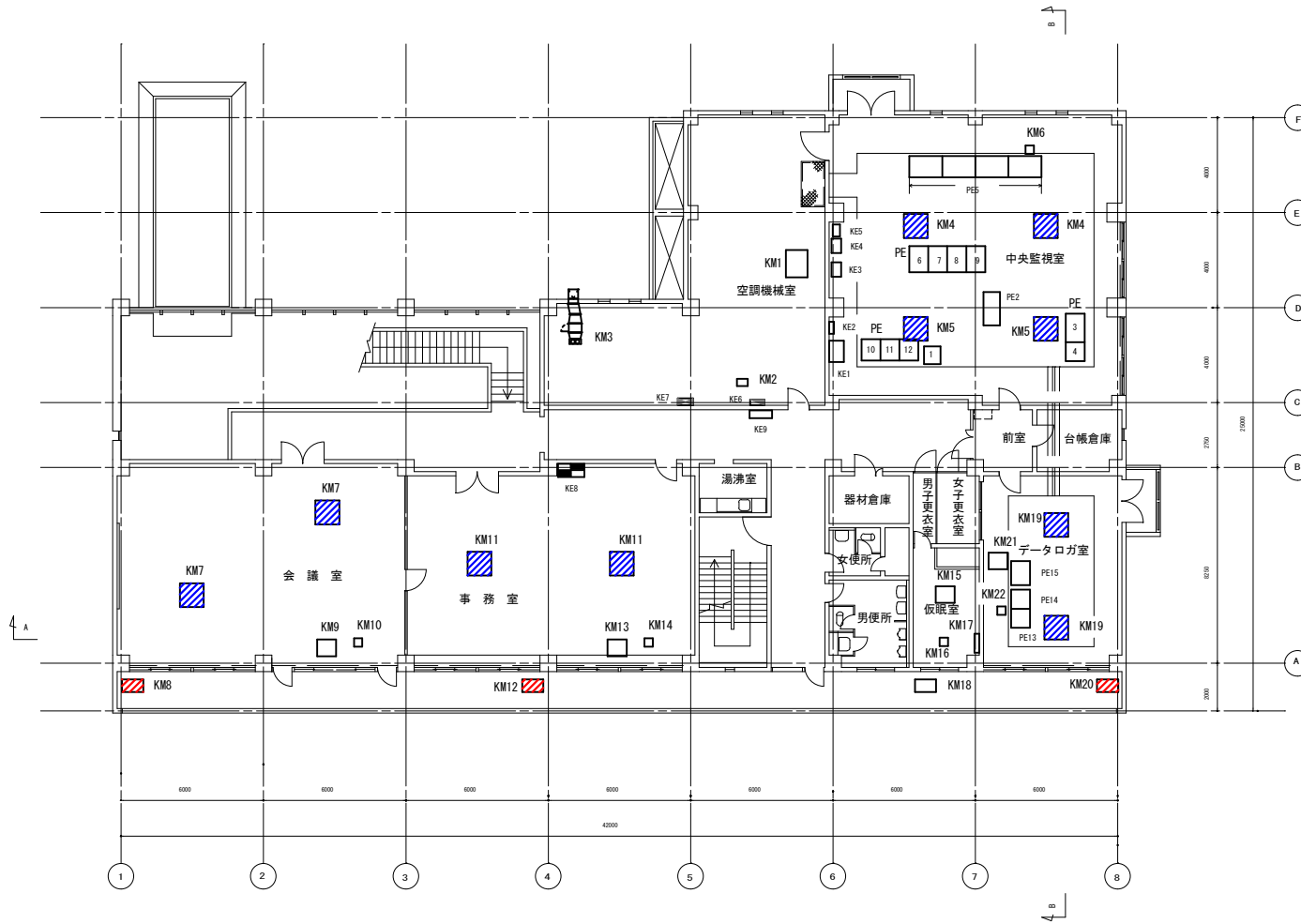
記番	記号	名称	備考
KM1	FS-1	給気ファン(電気室)	
KM2	AFR-1		
KM3	FE-2	排気ファン(水質試験室)	
KM4	FE-1	" (電気室)	
KM5	SO-1	水質試験室No.1ドクトファン-用2分機	
KM6		フィルタユニット	
KM7		給気ユニット	
KM8	AC2	エアコン(作業員控室)	FHYCP40K×2
KM9		" 室外機	RZ1P60KH
KM10	HEA	全熱交換機	
KM11	AFU2	フィルタユニット	
KM12		エアコン(中央試験室-東)	FUY140B×2
KM13		" 室外機	RYP280E
KM14		エアコン(中央試験室-中)	FUY140B×2
KM15		" 室外機	RYP280E
KM16		エアコン(中央試験室-西)	FUY140B×2
KM17		" 室外機	RYP280E
KM18		エアコン(機器分析室)	FUY140B
KM19		" 室外機	RYP140E
KM20		エアコン(生物試験室)	FUY112B×2
KM21		" 室外機	RYP224E
KM22	SF-4	ドラフトチャンバー送風機No.1	
KM23	SF-4	" No.2	
KM24		No.1ドラフトチャンバー	
KM25		No.2	

記番	記号	名称	備考
KE1	KP-1	動力盤	
KE2	OP1-1	水質試験室 排気ファン制御盤	
KE3	KL-1B	水質試験室 分電盤	
KE4	P-AC	空調制御盤	
KE5	AM-K	建築主幹盤(電灯動力主幹/水質試験室主幹(非常照明))	
KE6	KL-1A	1階電灯分電盤(1φ100V分電盤/1φ200V分電盤/防災電源共用盤)	
KE7	KT-2	弱電電子盤	
KE8	ALB-2	作業員控室警報盤	
KE9		スクラバー操作盤	
KE10	EL-1	屋外照明分電盤	

番号	登記号	盤名称	備考
PE1	HC-101	引込盤	
PE2	HC-102	受電盤	
PE3	HC-103	自家発電給電盤	
PE4	HC-104	P.T.Z.P.D盤/送相コンデンサ一次盤	
PE5	HC-105	送風機機配電盤/用水機配電盤	
PE6	HC-106	照明責任器一次盤/動力責任器一次盤	
PE7	HC-107	ポンプ機配電盤/汚泥処理機配電盤	
PE8	HC-112	汚泥排卸管理機配電盤/予備配電盤	
PE9	HC-108	No.1コンデンサ盤	
PE10	HC-109	No.2コンデンサ盤	
PE11	TC-101	動力責任器盤	
PE12	LB-101	動力主幹盤	
PE13	LB-102	制御責任器盤	
PE14	TC-102	照明責任器盤	
PE15	LB-103	照明主幹盤	
PE16	DC-12	直流電源装置盤	
PE17	TD-2	変換器盤	
PE18	UPS-101	蓄電池盤	
PE19	UPS-102	充電器盤	
PE20	UPS-103	インバータ盤	
PE21	MC-2B	管理棟コントローラ盤	
PE22	P10-2B-1	管理棟入出力装置盤(1)	
PE23		接地測定端子箱	
PE24		地震計	

委託名	磐南浄化センター 空調設備点検業務		
委託箇所	磐田市小中瀬地内		
図名	管理棟 1階平面図	図面番号	2/10

管理棟 2階平面図



2階平面図 S=1/300

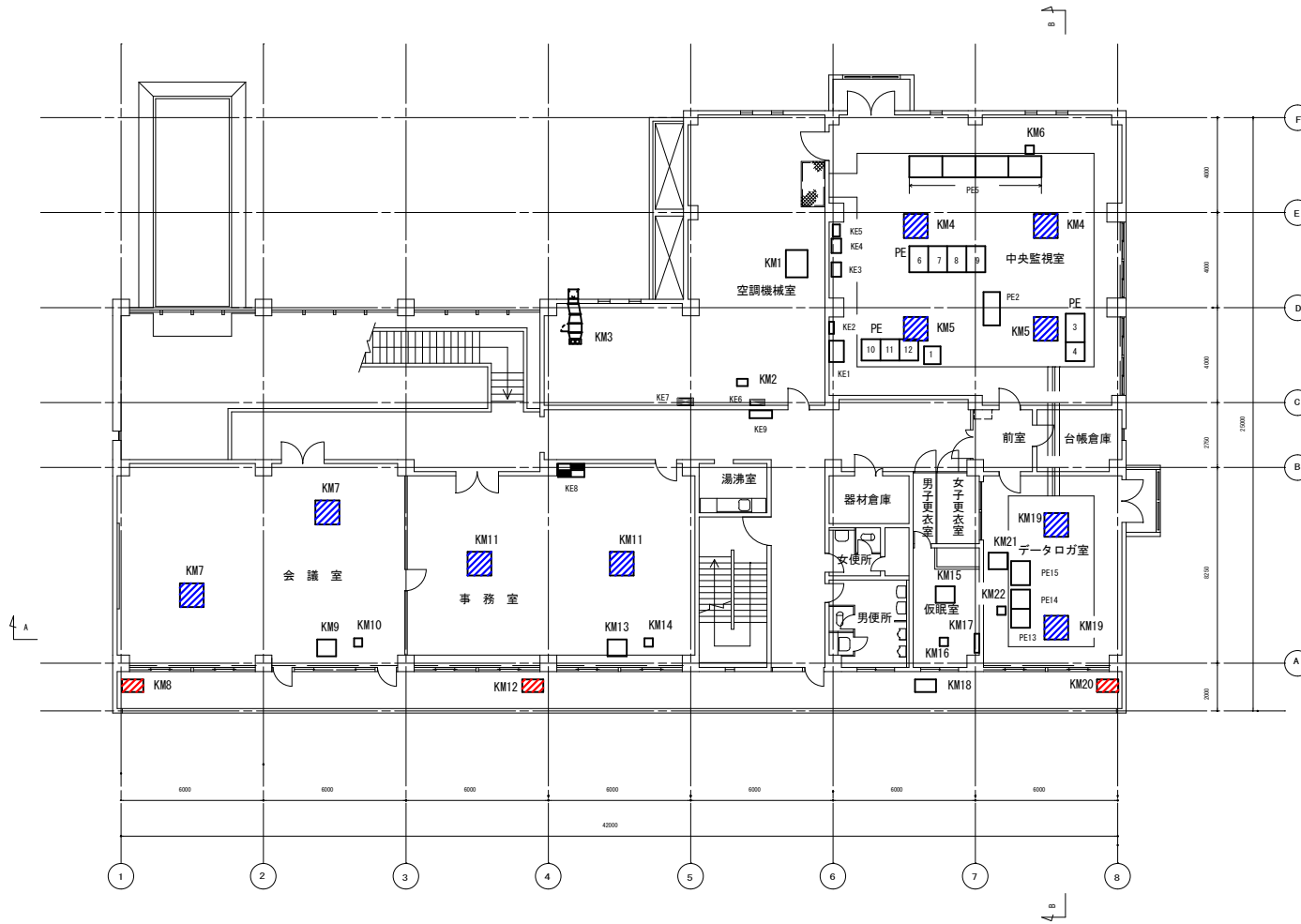
記号	記号	名称	備考
	KM1	FE-3 排気ファン(管理)	
	KM2	FE-4 排気ファン(試験室)711+711No.1	
	KM3	AFU2 フィルターユニット	
→	KM4	AC1 空冷ヒートポンプ式空調機(中央監視室北側)	FHYCP71K×2
→	KM5	AC1 " (" 南側)	FHYCP71K×2
→	KM6	AFU2 フィルターユニット	
→	KM7	AC1 空冷ヒートポンプ式空調機(会議室)	FHYCP80K×2
→	KM8	" " 室外機	RZYP160KBH
→	KM9	HEA 全熱交換機(会議室)	
→	KM10	AFU2 フィルターユニット(会議室)	
→	KM11	AC1 空冷ヒートポンプ式空調機(事務室)	FHYCP80K×2
→	KM12	" " 室外機	RZYP160KBH
→	KM13	HEA 全熱交換機(事務室)	
→	KM14	AFU2 フィルターユニット(事務室)	
→	KM15	HEA 全熱交換機(仮眠室)	
→	KM16	AFU2 フィルターユニット(仮眠室)	
→	KM17	AC3 空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	
→	KM18	" " 室外機	
→	KM19	AC1 空冷ヒートポンプ式空調機(データ室)	FHYCP71K×2
→	KM20	" " 室外機	RZYP160KBH
→	KM21	HEA 全熱交換機(データ室)	
→	KM22	AFU2 フィルターユニット(データ室)	

記号	記号	名称	備考
	PE1	マンホールポンプ監視装置	
	PE2	下水道公社監視装置	
	PE3	KP-12 管理棟計器盤	
	PE4	KP-22 気象計器盤	
	PE5	大型スクリーン	
	PE6	TAP-KK LCD操作卓	
	PE7	H1S-KK03 No.3 LCD操作卓	
	PE8	H1S-KK02 No.2 LCD操作卓	
	PE9	H1S-KK01 No.1 LCD操作卓	
	PE10	PRT-2 プリンタ卓(メッセージ用)	
	PE11	PRT-1 プリンタ卓(帳票用)	
	PE12	HC ハードコピー	
	PE13	DL-KK01 管理棟伝送装置盤	
	PE14	SC-KK スクリーンコントローラ盤	
	PE15	DB-1A データロカ室分電盤	

記号	記号	名称	備考
	KE1	管理棟建築動力監視盤	
	KE2	調光制御盤	
	KE3	放送装置	
	KE4	防災監視盤	
	KE5	電話交換機	
	KE6	KL-2A 2階電灯分電盤/防災電源共用盤	
	KE7	KP-2 管理棟高機能盤	
	KE8	ALB-1 警報盤	
	KE9	KT-3 弱電端子盤	

委託名	磐南浄化センター 空調設備点検業務		
委託箇所	磐田市小中瀬地内		
図名	管理棟 2階平面図	図面番号	3/10

管理棟 2階平面図



2階平面図 S=1/300

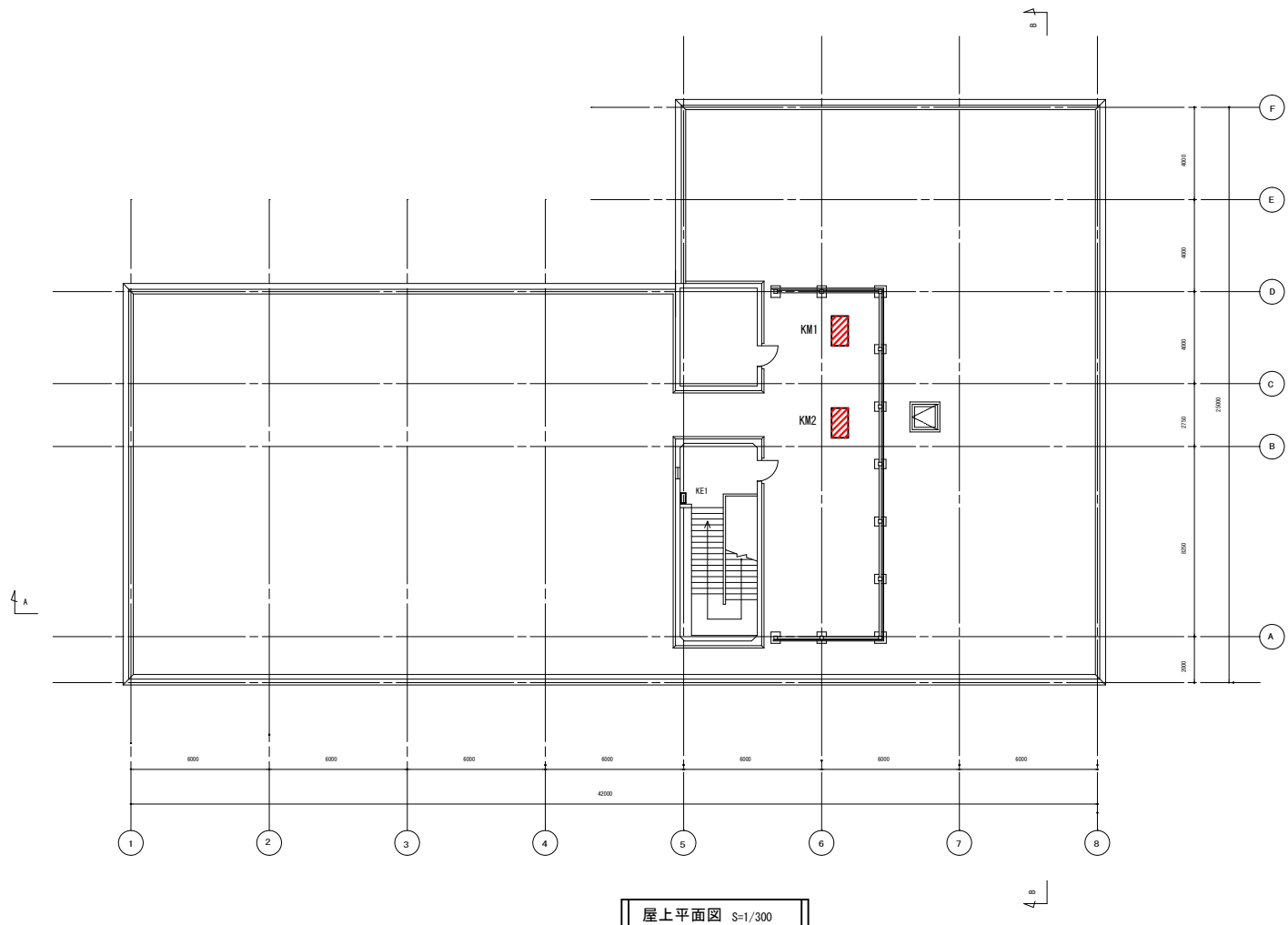
記号	記号	名称	備考
	KM1	FE-3 排気ファン(管理)	
	KM2	FE-4 排気ファン(試験室)711+711No.1	
	KM3	AFU2 フィルターユニット	
→	KM4	AC1 空冷ヒートポンプ式空調機(中央監視室北側)	FHYCP71K×2
→	KM5	AC1 " (" 南側)	FHYCP71K×2
→	KM6	AFU2 フィルターユニット	
→	KM7	AC1 空冷ヒートポンプ式空調機(会議室)	FHYCP80K×2
→	KM8	" " 室外機	RZYP160KBH
→	KM9	HEA 全熱交換機(会議室)	
→	KM10	AFU2 フィルターユニット(会議室)	
→	KM11	AC1 空冷ヒートポンプ式空調機(事務室)	FHYCP80K×2
→	KM12	" " 室外機	RZYP160KBH
→	KM13	HEA 全熱交換機(事務室)	
→	KM14	AFU2 フィルターユニット(事務室)	
→	KM15	HEA 全熱交換機(仮眠室)	
→	KM16	AFU2 フィルターユニット(仮眠室)	
→	KM17	AC3 空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	
→	KM18	" " 室外機	
→	KM19	AC1 空冷ヒートポンプ式空調機(データ室)	FHYCP71K×2
→	KM20	" " 室外機	RZYP160KBH
→	KM21	HEA 全熱交換機(データ室)	
→	KM22	AFU2 フィルターユニット(データ室)	

記号	記号	名称	備考
	PE1	マンホールポンプ監視装置	
	PE2	下水道公社監視装置	
	PE3	KP-12 管理棟計器盤	
	PE4	KP-22 気象計器盤	
	PE5	大型スクリーン	
	PE6	TAP-KK LCD操作卓	
	PE7	H1S-KK0.3 No.3 LCD操作卓	
	PE8	H1S-KK0.2 No.2 LCD操作卓	
	PE9	H1S-KK0.1 No.1 LCD操作卓	
	PE10	PRT-2 プリンタ卓(メッセージ用)	
	PE11	PRT-1 プリンタ卓(帳票用)	
	PE12	HC ハードコピー	
	PE13	DL-KK0.1 管理棟伝送装置盤	
	PE14	SC-KK スクリーンコントローラ盤	
	PE15	DB-1A データロカ室分電盤	

記号	記号	名称	備考
	KE1	管理棟建築動力監視盤	
	KE2	調光制御盤	
	KE3	放送装置	
	KE4	防災監視盤	
	KE5	電話交換機	
	KE6	KL-2A 2階電灯分電盤/防災電源共用盤	
	KE7	KP-2 管理棟高機能盤	
	KE8	ALB-1 警報盤	
	KE9	KT-3 弱電端子盤	

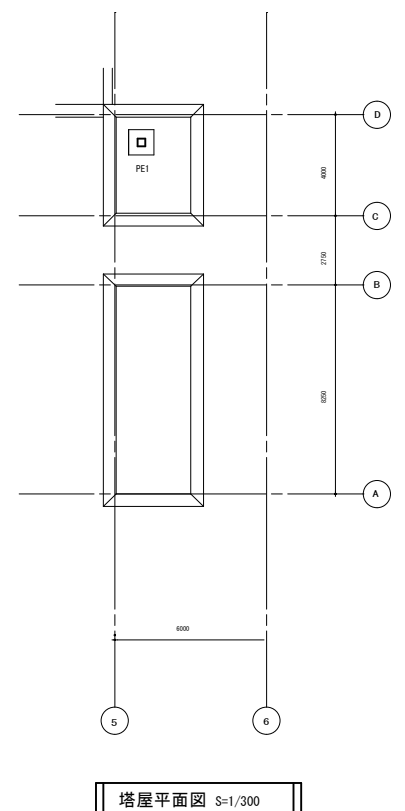
委託名	磐南浄化センター 空調設備点検業務		
委託箇所	磐田市小中瀬地内		
図名	管理棟 2階平面図	図面番号	3/10

管理棟屋上, 塔屋平面図



屋上平面図 S=1/300

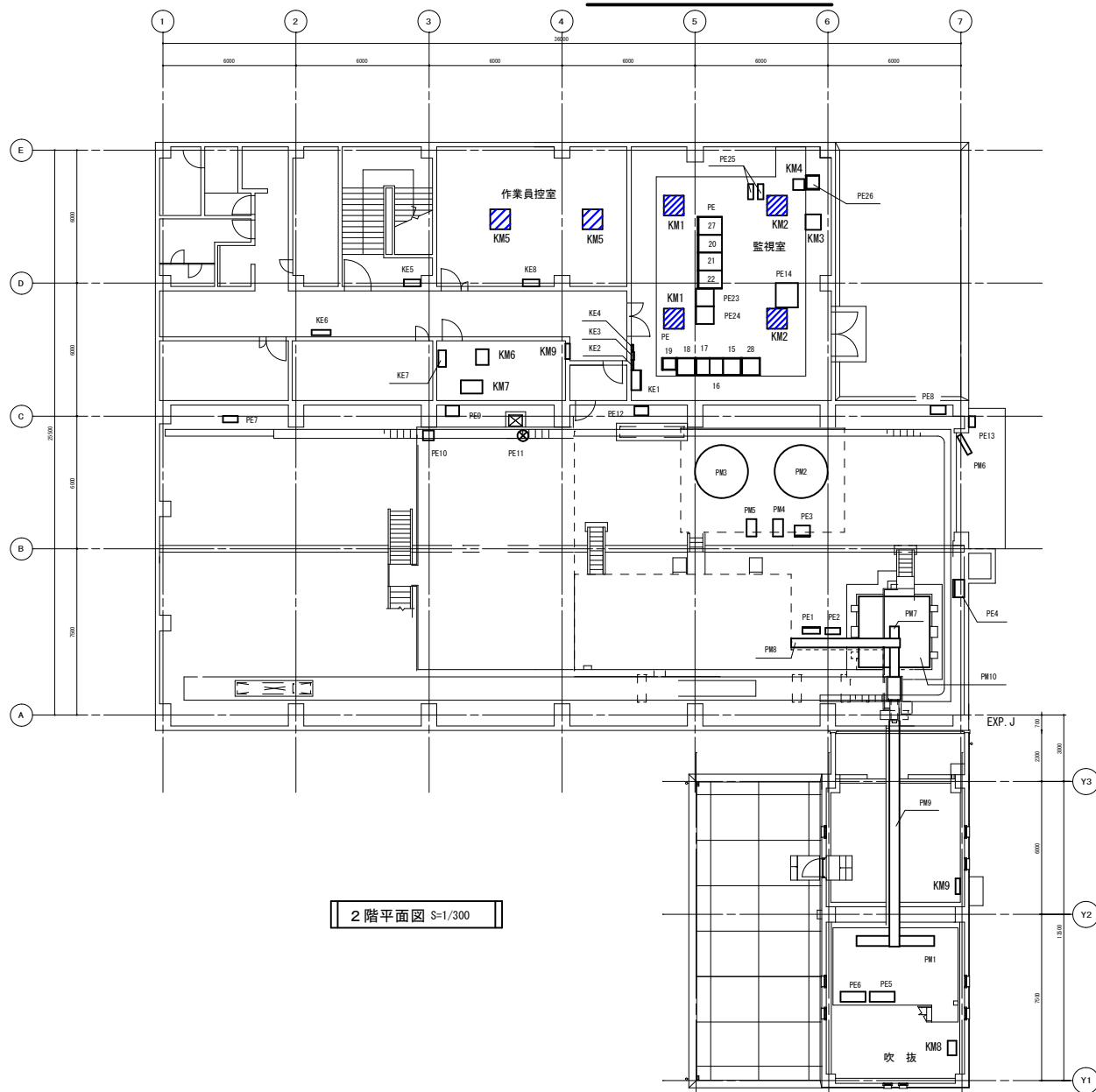
記番	記号	名称	備考
KM1		空調機室外機 (2階中央監視室北側)	RZYP140XBH
KM2		空調機室外機 (2階中央監視室南側)	RZYP140XBH
記番	記号	名称	備考
KE1		TV-BOX	
記番	記号	名称	備考
PE1		風向風速計	



塔屋平面図 S=1/300

委託名	磐南浄化センター 空調設備点検業務		
委託箇所	磐田市小中瀬地内		
図名	管理棟屋上、塔屋平面図	図面番号	4/10

汚泥処理棟 2階平面図



2階平面図 S=1/300

記号	名称	備考
PM1	ケーキ搬分コンベヤ	
PM2	No.1薬品溶解タンク	
PM3	No.2 "	
PM4	No.1薬品供給ポンプ	
PM5	No.2 "	
PM6	クレーン	
PM7	No.2搬送コンベヤ	
PM8	No.1 "	
PM9	No.3ケーキ搬送コンベヤ	
PM10	ケーキホッパ	

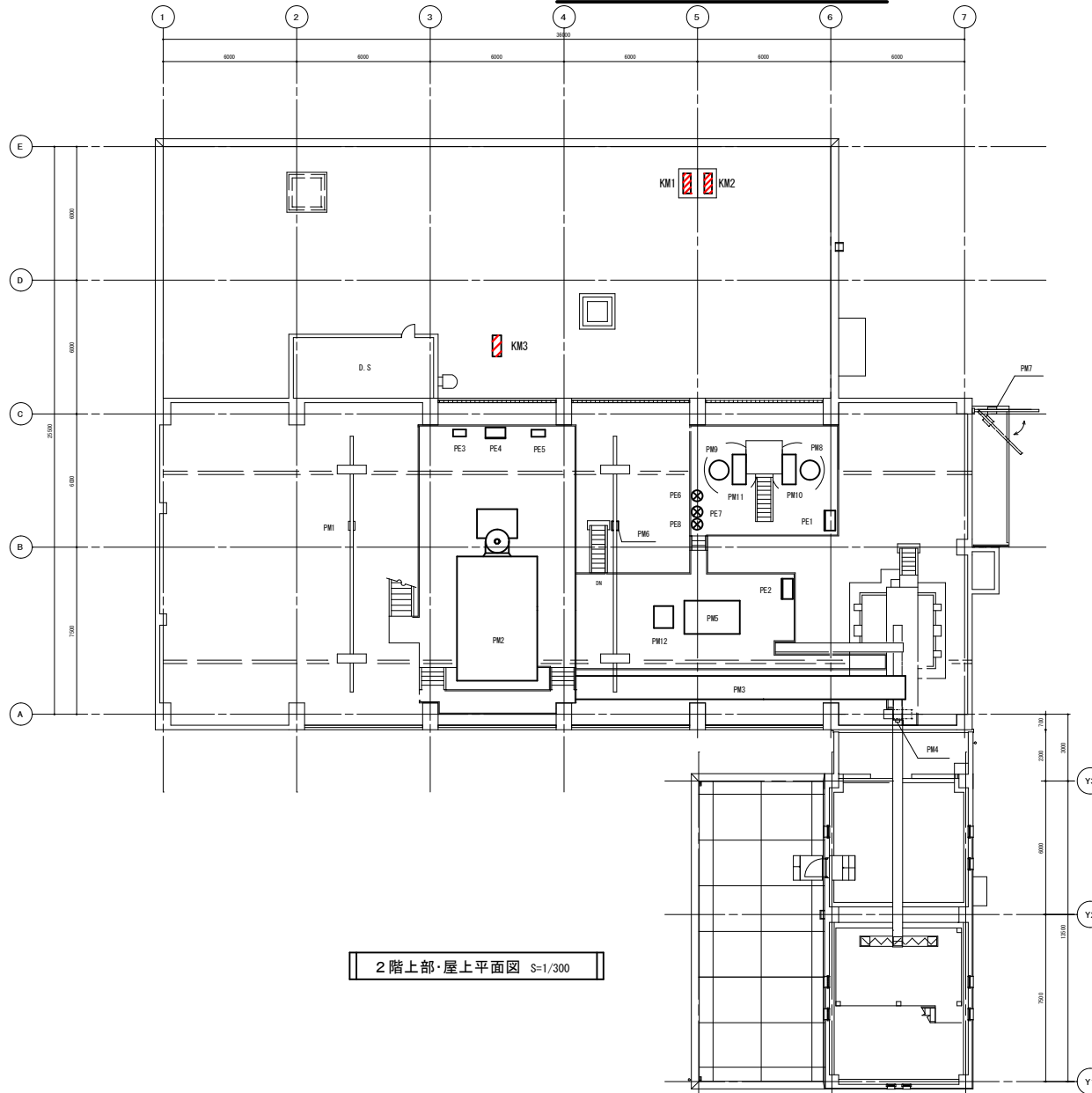
記号	記号	名称	備考
→	KM1	監視室エアコン(西側)	FHY071K×2
→	KM2	監視室エアコン(東側)	FHY071K×2
	KM3	全熱交換換気ユニット	
	KM4	フィルタユニット	
	KM5	作業員控室エアコン	FH0568A
	KM6	SF-7 給気ファン	
	KM7	EF-7 排気ファン	
	KM8	輸送ファン(排気)	
	KM9	消火栓ボックス	×2

記号	記号	名称	備考
PE1	LCB-023	脱水ケーキ移送コンベヤ現場操作盤	
PE2		ケーキ搬送コンベヤ現場操作盤	
PE3	LCB-904A	薬品供給ポンプ現場操作盤	
PE4		均L装置制御盤	
PE5	LCB-1101	No.3ケーキ搬送コンベヤ現場盤	
PE6	LCB-1102	ケーキ搬分コンベヤ現場盤	
PE7		No.2脱水機用温度計	
PE8		No.1,2薬品搬入ホイスト手元開閉器	
PE9		脱水機室作業用電源盤	
PE10		No.2汚泥供給流量計変換器	
PE11		No.2脱水機用温度計(変換器)	
PE12		No.2薬品注入量流量計変換器	
PE13		巻上機電源盤	
PE14	KP-S	汚泥溜り計装置	
PE15	MC-6A	ワンループコントローラ盤	
PE16	TB-6A	中継端子盤	
PE17	AR-6A	補助継電器盤	
PE18	SVS-K	データサーバ装置	
PE19	DB-K	監視制御電源用分電盤	
PE20	HIS-K01	No.1汚泥系用LCD	
PE21	HIS-K02	No.2汚泥系用LCD	
PE22	HC-K	プリンタ操作卓	
PE23	PRT-K01	簡易データロガ装置	
PE24	PRT-K02	"	
PE25		ミニUPS	
PE26	DB-6	操作室分電盤	
PE27	HIS-K03	No.3汚泥系用LCD	
PE28	DL-K01	汚泥処理機伝送装置盤	

記号	記号	名称	備考
KE1	AK-O	汚泥処理機動力監視盤	
KE2		火災受信盤	
KE3		運転操作盤	
KE4		計装機盤	
KE5	OL-2	TV-BOX	
KE6	OT-3	弱電端子盤	
KE7	OP-3		
KE8	OL-2	汚泥処理機2機 電灯分電盤/防災電源共用盤	

委託名	磐南浄化センター 空調設備点検業務		
委託箇所	磐田市小中瀬地内		
図名	汚泥処理棟2階平面図	図面番号	5/10

汚泥処理棟 2階上部・屋上平面図



2階上部・屋上平面図 S=1/300

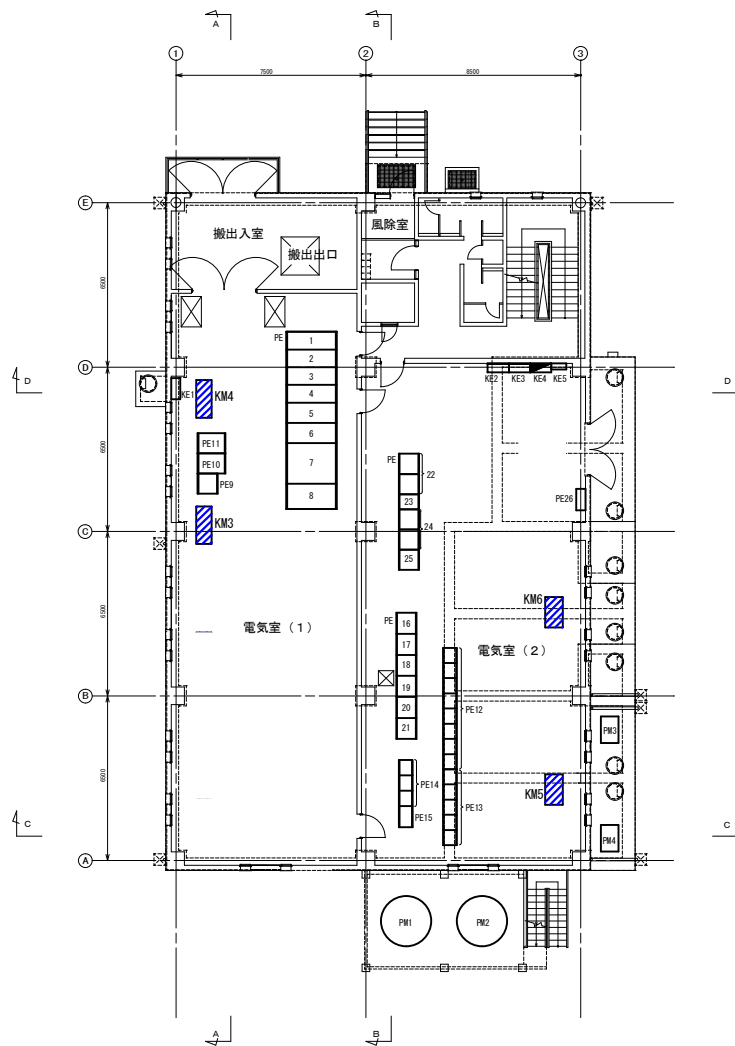
記番	名 称	備 考
PM1	脱水機補修用チェンブロック	
PM2	No.2 汚泥脱水機	
PM3	No.1 ケーキ搬送コンベヤ	
PM4	No.2 ケーキ搬送コンベヤ	
PM5	汚泥脱水機	
PM6	No.1 薬品搬入用吊上装置	
PM7	No.2 "	
PM8	No.1 薬品溶解タンク攪拌槽	
PM9	No.2 "	
PM10	No.1 薬品定量供給機	
PM11	No.2 "	
PM12	プロキュレータ	

記番	記 号	名 称	備 考
PE1	LCB-920	薬品溶解設備現場操作盤	
PE2		No.1汚泥脱水機制御盤	
PE3		汚泥・薬品設定制御盤	
PE4		No.2汚泥脱水機制御盤	
PE5		ケーキ含水率計	
PE6		No.1脱水機戻供給濃度計	
PE7		No.1脱水機汚泥供給濃度計	
PE8		No.1薬品供給濃度計	

記番	記 号	名 称	備 考
KM1		2階監視室エアコン(西側)室外機	RZYP140KH
KM2		2階監視室エアコン(東側)室外機	RZYP140KH
KM3		2階作業員控室エアコン室外機	RZP112BAH

委託名	磐南浄化センター 空調設備点検業務		
委託箇所	磐田市小中瀬地内		
図名	汚泥処理棟 2階上部・屋上平面図	図面番号	6/10

焼却管理棟 1階平面図



1階平面図 S=1/300

記号	記号	名称	備考
KM1		電気室 1-1 空調機	AI(P)402
KM2		電気室 1-2 空調機	AI(P)402
KM3		電気室 1-3 空調機	AI(P)402
KM4		電気室 1-4 空調機	AI(P)402
KM5		電気室 2-1 空調機	AI(P)122
KM6		電気室 2-2 空調機	AI(P)122
KM7		電気室 2-3 空調機	AI(P)122

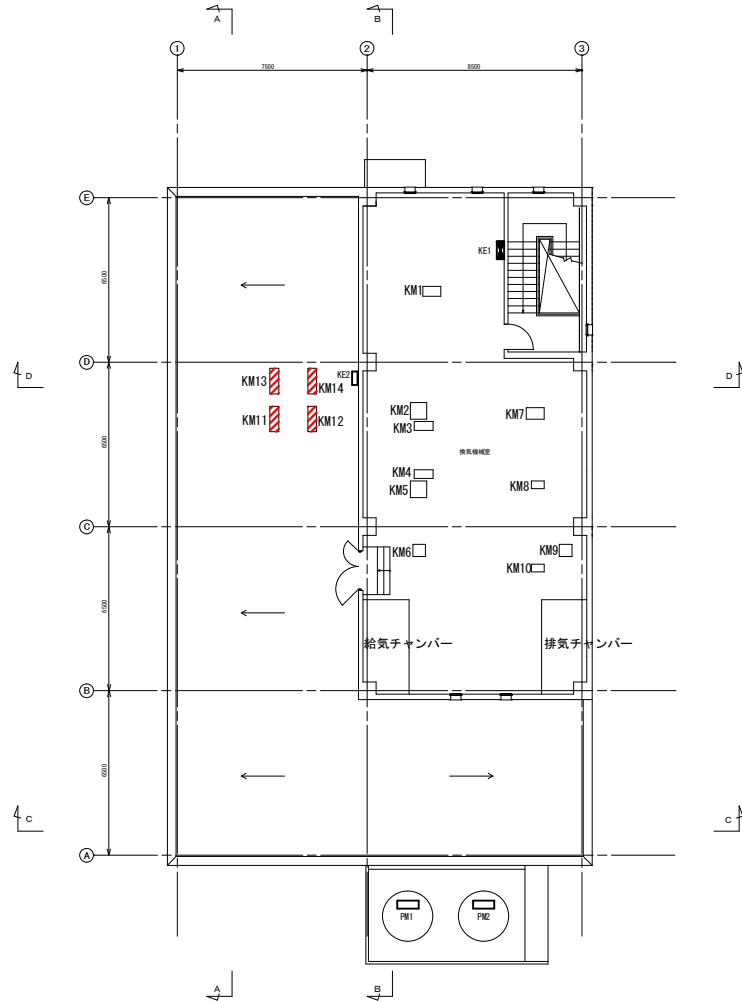
記号	記号	名称	備考
KE1	ETB	接地端子箱	
KE2	RT-1	端子盤	
KE3	RL-1	電灯設備分電盤	
KE4	MPL-R	主幹盤	
KE5	OL-1		

記号	名称	備考
PM1	No.1砂ろ過器	
PM2	No.2 "	
PM3	No.1排水槽視察機	
PM4	No.2 "	

番号	盤記号	盤名称	備考
PE1	HC-1204	No.2コンデンサ盤	
PE2	HC-1203	No.1 "	
PE3	HC-1201	汚泥焼却管理棟計装盤	
PE4	HC-1202A	No.1動力変圧器一次盤	
	HC-1202B	No.2 "	
PE5	HC-1210	建築動力変圧器盤	
PE6	HC-1211	建築照明変圧器盤	
PE7	HC-1206	No.1動力変圧器盤	
PE8	HC-1207	No.1動力主幹盤	
PE9	DC-1201	直流電源装置盤	
PE10	CVCF-1201	充電器盤	
PE11	CVCF-1202	インバータ盤	
PE12	CC-12AA	No.1汚泥焼却設備コントロールセンタ	
PE13	AR-12AA	No.1汚泥焼却設備補助機器盤	
PE14	CC-13	給排水設備コントロールセンタ	
PE15	AR-1301	給排水設備補助機器盤	
PE16	VVVF-12A06	No.1-2ケー年投入機インバータ盤	
PE17	VVVF-12A05	No.1-1ケー年投入機インバータ盤	
PE18	VVVF-12A04	No.1-2ケー年供給ポンプインバータ盤	
PE19	VVVF-12A03	No.1-1 "	
PE20	VVVF-12A02	No.1-2定置フイタ切出機インバータ盤	
PE21	VVVF-12A01	No.1-1 "	
PE22	LKP-12A01.02	No.1汚泥焼却設備計装盤(1),(2)	
PE23	TB-12A	No.1中継端子盤	
PE24	P1/O-12A01.02	No.1入出力装置盤(1),(2)	
PE25	MC-12A	No.1汚泥焼却設備コントロール盤	
PE26	BL-1	プラント分電盤(1)	

委託名	磐南浄化センター 空調設備点検業務		
委託箇所	磐田市小中瀬地内		
図名	焼却管理棟 1階平面図	図面番号	7/10

焼却管理棟 2階平面図



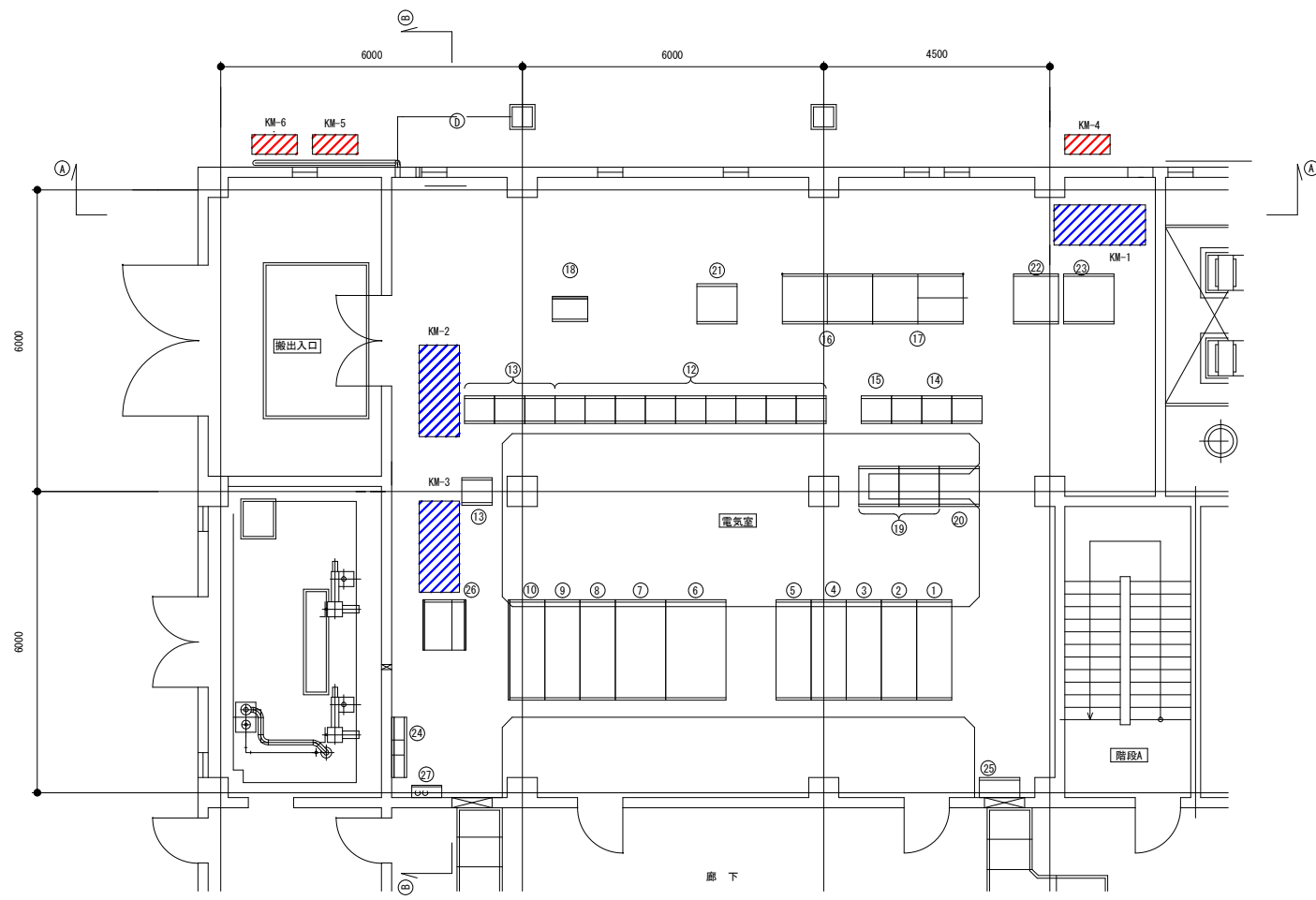
記号	記号	名称	備考
KM1	FS3	ポンプ室送風機 (給気用)	
KM2	AFU2	空気清浄装置	
KM3	FS2	電気室 2 送風機 (給気用)	
KM4	FS1	電気室 1 送風機 (給気用)	
KM5	AFU1	空気清浄装置	
KM6	FS4	送風機 (給気用) (天井)	
KM7	FE3	ポンプ室送風機 (排気用)	
KM8	FE2	電気室 2 送風機 (排気用)	
KM9	FE4	送風機 (排気用) (天井)	
KM10	FE1	電気室 1 送風機 (排気用)	
KM11		電気室 1-1 空調機 (室外機)	ROAP1401Z
KM12		電気室 1-2 空調機 (室外機)	ROAP1401Z
KM13		電気室 1-3 空調機 (室外機)	ROAP1401Z
KM14		電気室 1-4 空調機 (室外機)	ROAP1401Z

記号	記号	名称	備考
KE1	RP-2	送風機視察窓	
KE2		開閉器箱	

記号	名称	備考
PM1	No.1エアユニット	
PM2	No.2エアユニット	

2階平面図 S=1/300

委託名	磐南浄化センター 空調設備点検業務		
委託箇所	磐田市小中瀬地内		
図名	焼却管理棟 2階平面図	図面番号	8/10

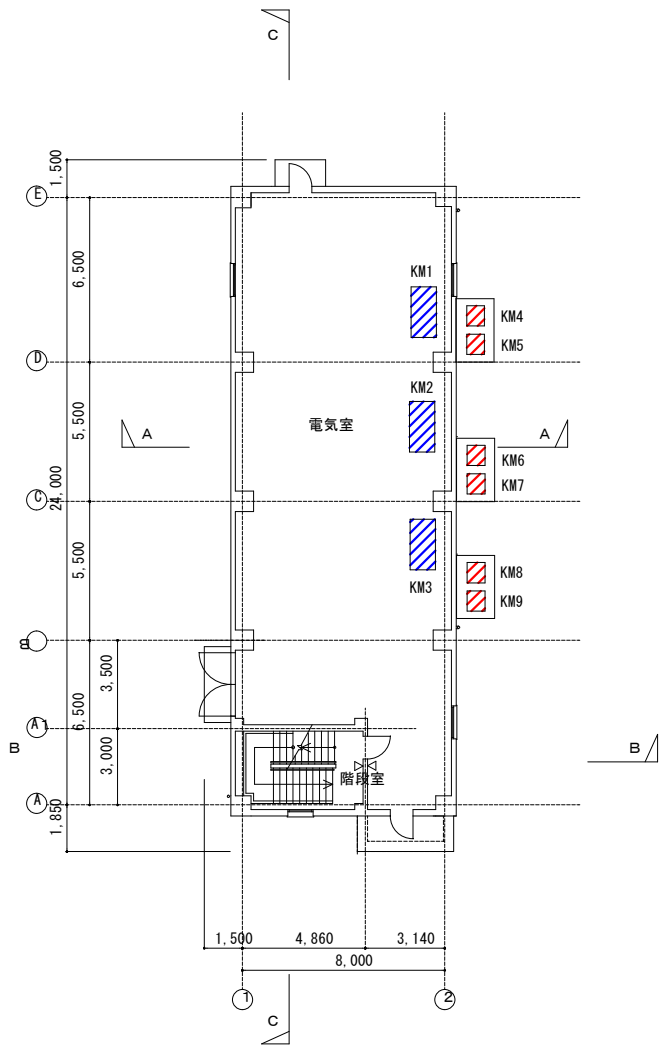


機器名称一覧

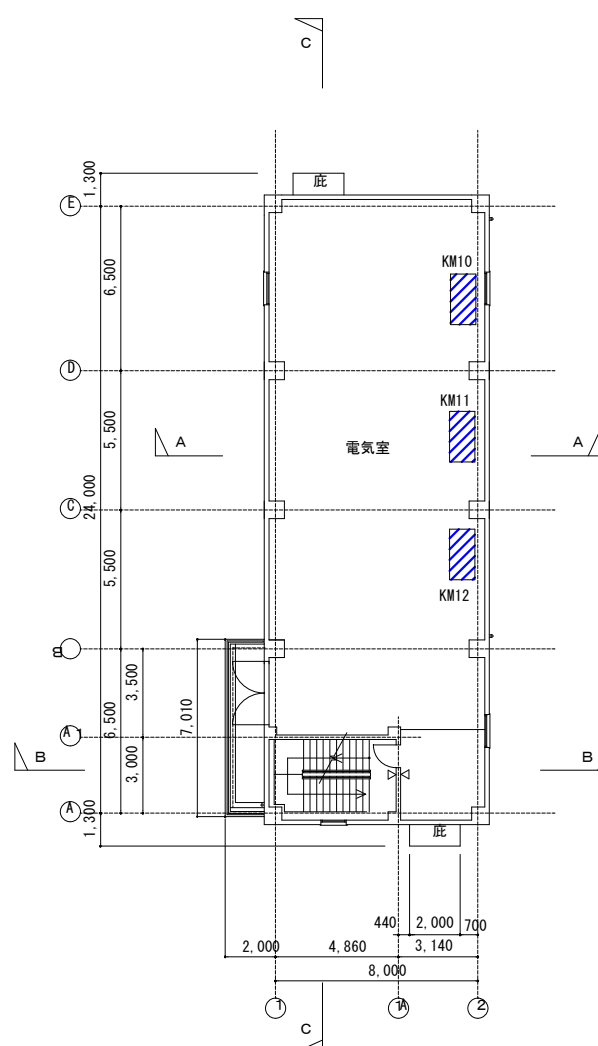
番号	機器名称	盤記号	備考
①	ポンプ棟引込盤	HC-501	
②	ZPC・ポンプ棟動力変圧器一次盤	HC-502A,B	
③	NO. 3汚水ポンプ盤	HC-503	
④	NO. 4汚水ポンプ盤	HC-504	
⑤	NO. 5汚水ポンプ盤	HC-505	
⑥	ポンプ棟400V動力変圧器盤	TC-501	
⑦	ポンプ棟400V動力主幹盤	LB-501	
⑧	ポンプ棟制御変圧器盤	LB-502	
⑨	ポンプ棟200V動力変圧器盤	LB-503	
⑩	ポンプ棟照明変圧器盤	LB-504	
⑪	ポンプ棟直流電源装置盤	DC-2	
⑫	ポンプ棟設備コントロールセンタ	CC-1	
⑬	ポンプ棟設備補助継電器盤	AR-1	
⑭	沈砂池棟設備コントロールセンタ	CC-2	
⑮	沈砂池棟設備補助継電器盤	AR-2	
⑯	NO. 1汚水ポンプ盤	VWF-1	
⑰	NO. 2汚水ポンプ盤	VWF-2	
⑱	ポンプ棟分電盤	DB-5	
⑲	ポンプ棟電気室制御装置(1),(2)	μC-3B	
⑳	ポンプ棟電気室制御装置(3)	PI/O-3B	
㉑	ポンプ棟中継端子盤	TB-3	
㉒	NO. 1アクティブフィルター盤	AGF-1	
㉓	NO. 2汚水ポンプ用フィルター盤	AGF-2	
㉔	ポンプ棟建築付帯主幹盤	BL-1	
㉕	接地端子箱	ETB2	
㉖	ポンプ棟直流電源装置盤	DC-22	
㉗	空調分電盤	AM-U2	
KM-1	空調機(北側)		FHP224A
KM-2	空調機(南側①)		FHP224A
KM-3	空調機(南側②)		FHP224A
KM-4	空調機(北側:室外機)		RP224BA
KM-5	空調機(南側①:室外機)		RP224BA
KM-6	空調機(南側②:室外機)		RP224BA

ポンプ棟1階電気室平面図

委託名	磐南浄化センター 空調設備点検業務		
委託箇所	磐田市小中瀬地内		
図名	ポンプ棟1階電気室平面図	図面番号	9/10



1階平面図

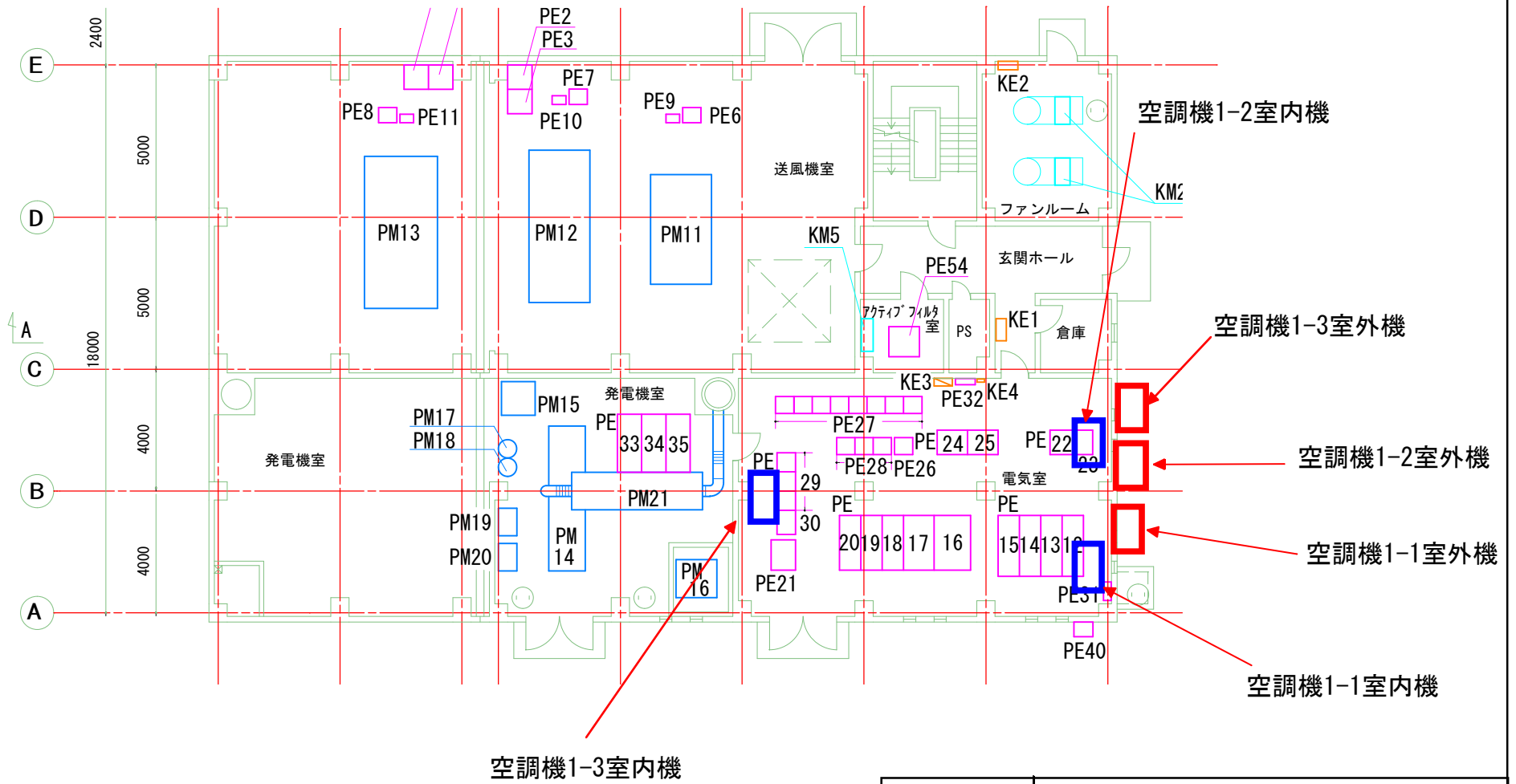


2階平面図

水処理電気室棟平面図

記番	記号	名称	備考
KM1		1-1 空調機	RPC-AP280K
KM2		1-2 空調機	RPC-AP280K
KM3		1-3 空調機	RPC-AP280K
KM4		1-1 室外機	RPC-AP280AV1
KM5		2-1 室外機	RPC-AP224AV1
KM6		1-2 室外機	RPC-AP280AV1
KM7		2-2 室外機	RPC-AP224AV1
KM8		1-3 室外機	RPC-AP280AV1
KM9		2-3 室外機	RPC-AP224AV1
KM10		2-1 空調機	RPC-AP224K
KM11		2-2 空調機	RPC-AP224K
KM12		2-3 空調機	RPC-AP224K

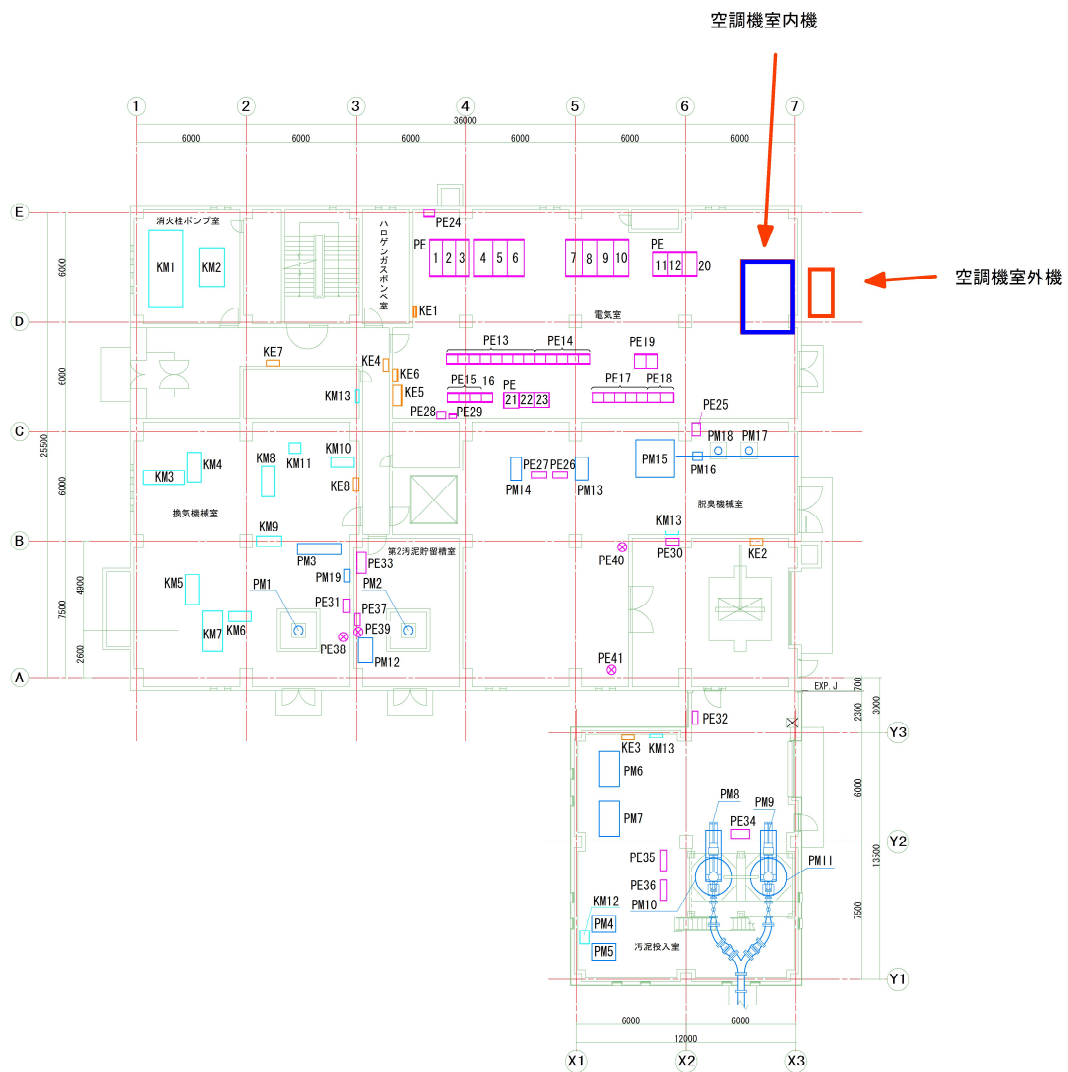
委託名	磐南浄化センター 空調設備点検業務
委託箇所	磐田市小中瀬地内
図名	水処理電気室棟平面図
図面番号	10/10



空調機1-3室内機

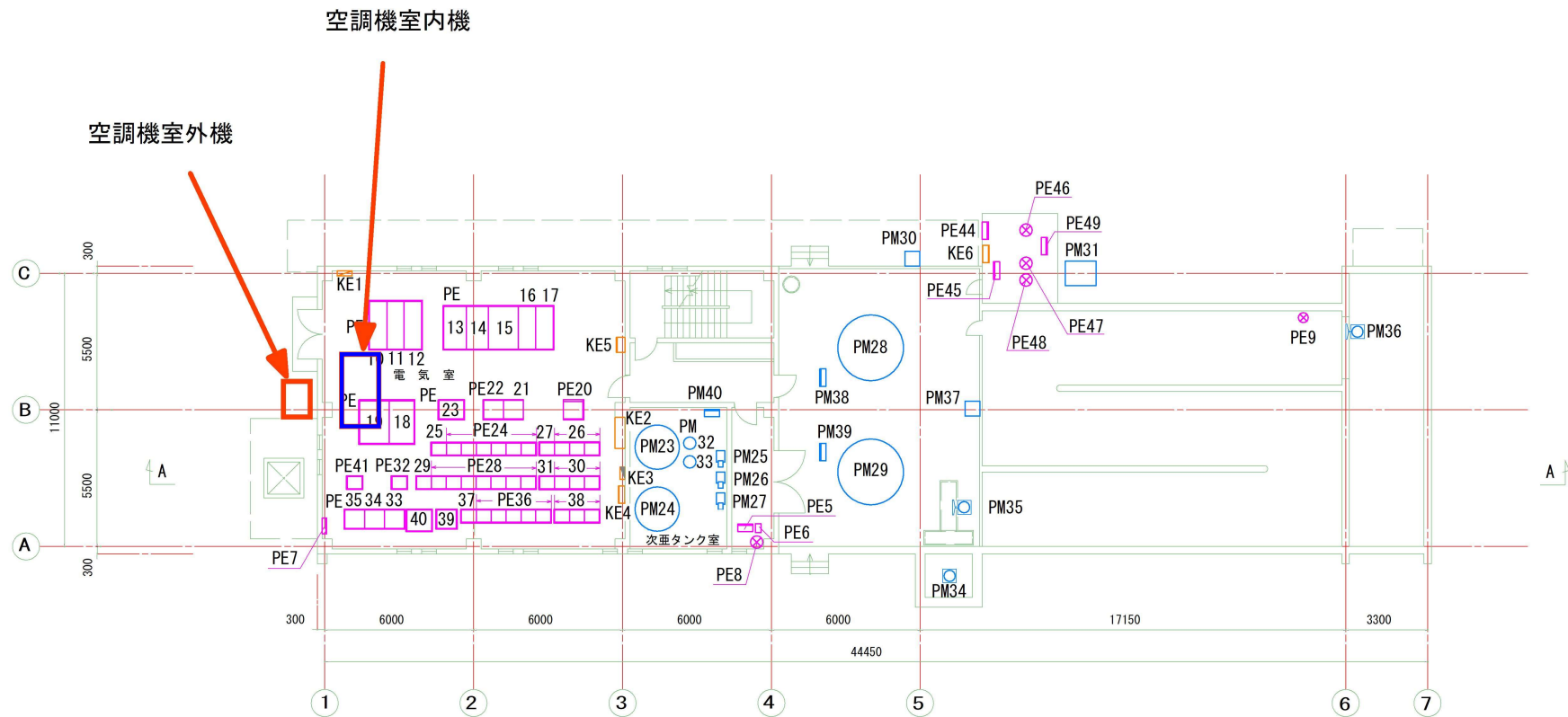
業務名	磐南浄化センター 空調設備点検
業務場所	磐田市小中瀬地内
図名	送風機棟1階電気室

汚泥処理棟 1階平面図



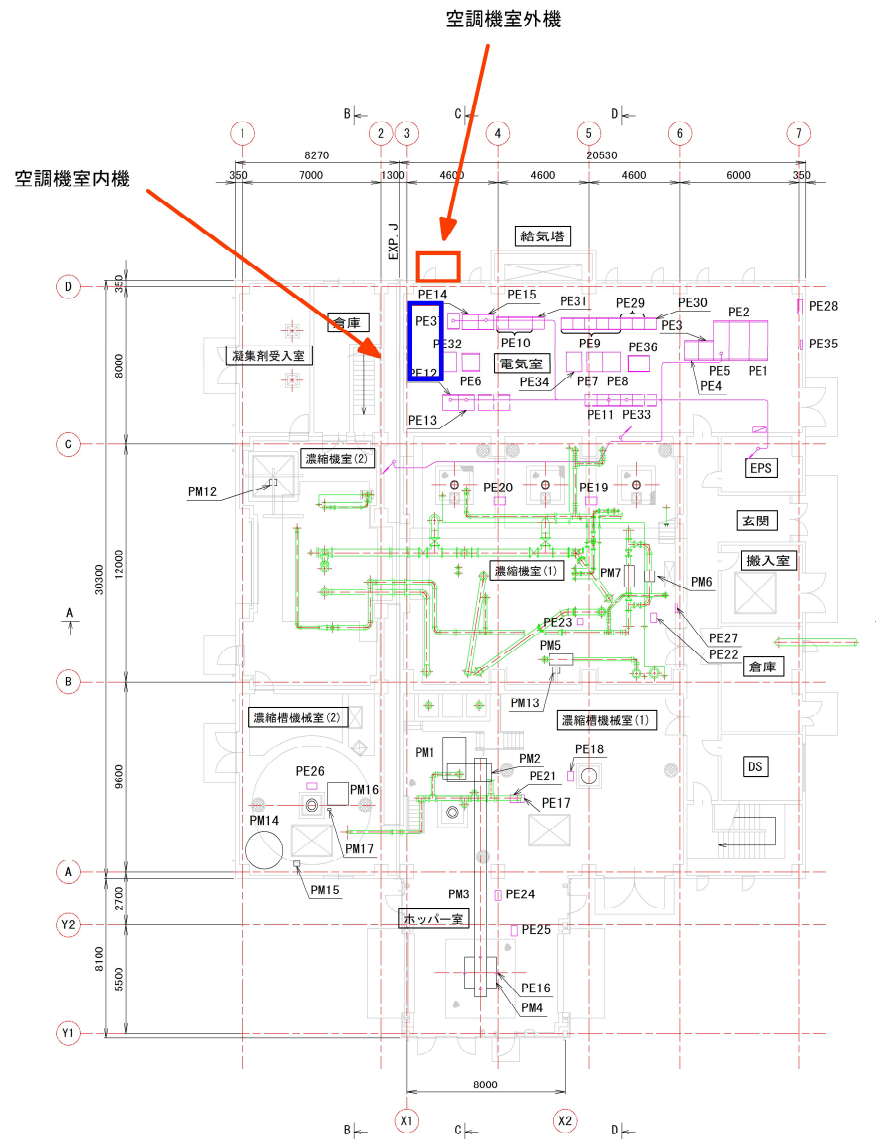
業務名	磐南浄化センター空調設備点検
業務場所	磐田市小中瀬地内
図名	汚泥処理棟1F

用水棟地下1階, 1階平面図



1階平面図 S=1/200

業務名	磐南浄化センター空調設備点検
業務場所	磐田市小中瀬地内
図名	用水棟1F



汚泥濃縮棟1階平面図

別12-18

業務名	磐南浄化センター空調設備点検
業務場所	磐田市小中瀬地内
図名	汚泥濃縮棟1F

点検項目	点 検 内 容
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の異常の有無を点検する。 ②固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ③防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。
2 外観の状況	腐食、変形、破損等の有無を点検する。
3 冷房切替え	自動制御機器の切替え並びに作動確認を行う。
4 暖房切替え	自動制御機器の切替え並びに作動確認を行う。
5 水系統 a ドレンパン b ドレン排水	汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。 本体のドレン排水確認を行い、支障のないことを確認する。
6 電気系統 a 操作回路・動力回路 b 端子 c 操作盤 d クランクケースヒータ	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 緩み及び変色の有無を点検する。 盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 通電、発熱状態の異常のないことを点検する。
7 送風機（室外機を含む） a Vベルト b 軸受 c 羽根車 d 電動機	緩み、亀裂、摩耗等の有無を点検する。 異常音、異常振動等の有無を点検する。 汚れ、損傷等の有無を点検する。 回転方向が正しいことを確認する。
8 エアフィルター a ろ材 b 枠	詰まり、損傷等の有無を点検する。 変形、腐食等の有無を点検する。
9 冷媒系統	①ガス漏れの有無を点検する。 ②配管の損傷等の有無を点検する。
10 熱交換器	①フィンコイル及び凝縮器の汚れ、損傷等の有無を点検する。 ②補助ヒータの汚れ、損傷等の有無を点検する。

<p>11 保安装置</p> <p>a インターロック</p> <p>b 圧力開閉器</p> <p>c 可溶栓又は安全弁</p> <p>d 温度ヒューズ</p> <p>e 過熱防止器</p> <p>f 圧力計</p>	<p>室内送風機運転と（補助）電気ヒーターが連動して作動することを確認する。</p> <p>作動の良否を確認する。</p> <p>ガス漏れ、変形等の有無を確認する。</p> <p>溶断、変形及び変色の有無を点検する。</p> <p>作動の良否を確認する。</p> <p>指示値が正常であることを確認する。</p>
<p>12 自動制御機器</p>	<p>温度調節器、タイマー制御、圧力制御及び容量制御が設定値で作動することを確認する。</p>
<p>13 運転調整</p> <p>a 音・振動</p> <p>b 電源電圧</p> <p>c 運転電流</p> <p>d 冷凍機油</p> <p>e 熱交換状況</p> <p>f 除霜装置</p>	<p>異常のないことを確認する。</p> <p>①供給電源電圧に異常のないことを確認する。 ②運転時における電圧変動が規定値内にあることを確認する。</p> <p>①主電流及び圧縮機電流が定格以下にあることを確認する。 ②送風機及び加湿器の電流に異常がないことを確認する。 ③電気ヒーターの電流が定格値にあることを確認する。</p> <p>汚損、劣化及び油量の適否を点検する。</p> <p>冷媒、室外機及び室内機の吹出し空気温度を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。</p> <p>暖房運転時の場合は、検知作動並びに四方弁動作の良否を点検する。</p>

※ 点検項目又は点検内容の対象となる部分がない場合は、当該点検項目又は点検内容に係る点検を実施することを要さない。

1 保守の範囲

定期点検の結果に応じ実施する保守の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 汚れ、詰まり、付着等がある部品又は点検部の清掃
- (2) 取付け不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整
- (3) ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増締め
- (4) 次に示す消耗部品の交換または補充
 - ア 潤滑油、グリス、充填油等
 - イ ランプ類、ヒューズ類
 - ウ パッキン、ガスケット、Oリング類

- (5) 接触部分、回転部分等への注油
- (6) 軽微な損傷がある部分の補修
- (7) 塗装（タッチペイント）
- (8) その他これらに類する軽微な作業

1 適用

この仕様書は、地下タンク点検の委託業務に適用する。

2 業務概要

本点検は、危険物の規制に関する規則第62条の5の2、第62条の5の3に基づく地下タンク及び地下埋設配管の点検である。点検作業は、規則第62条の6項の該当者が行い、記録表、点検表を作成すること。各タンクの点検、清掃の実施年度は別紙-13-2による。

地下タンク及び埋設配管の漏れの点検方法は、危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示第71条の1、第71条の2に規定（①ガス加圧法、②液体加圧法、③微加圧法、④微減圧法、⑤その他）の方法により行なう。

清掃はタンク内残油を抜き取り、内部清掃（スラッジ除去）を行なうこと。

再利用可能な残油は場内の焼却設備用タンクに戻すこと。

再利用ができない残油は廃油として処理すること。廃棄物として処分する場合は法律に基づき、適正に処分すること。

3 対象設備

(1) No.1 地下タンク (No.1 自家発電設備用)

ア 地下タンク貯蔵所	3, 000リットル
イ 給油配管	SGP65A
ウ 燃料移送配管	SGP25A
エ オーバーフロー配管	SGP40A
オ ミスト（通気）配管	SGP32A
カ 燃料移送ポンプ	0.75kW×2台

(2) No.2 地下タンク (No.2 自家発電設備用)

ア 地下タンク貯蔵所	3, 000リットル
イ 給油配管	SGP65A
ウ 燃料移送配管	SGP25A
エ オーバーフロー配管	SGP40A
オ ミスト（通気）配管	SGP32A
カ 燃料移送ポンプ	0.75kW×2台

(3) 汚泥焼却設備用地下タンク

ア 地下タンク貯蔵所	20, 000リットル
イ 給油配管	SGP65A
ウ 燃料移送配管	SGP25A
エ オーバーフロー配管	SGP40A
オ ミスト（通気）配管	SGP50A

別紙 - 13 地下タンク点検業務

設置場所は別紙-13-1 による。

4 注意事項

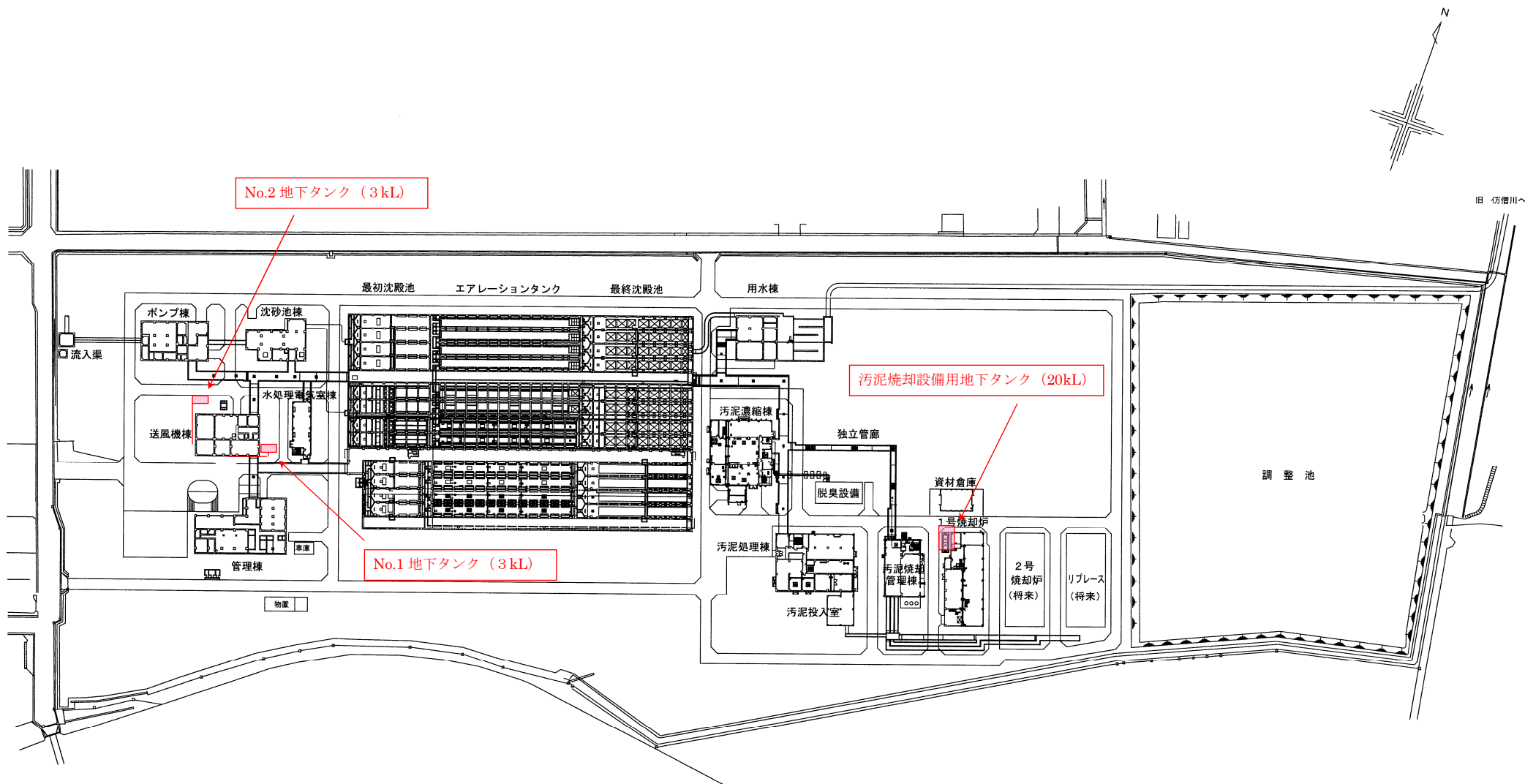
- (1) 作業日時は監督職員と協議を行うこと。
- (2) 浄化センターの運転に支障を及ぼさないように作業すること。
- (3) 点検中は養生等を行い、他の機器を傷つけないように注意すること。
- (4) 酸素欠乏や落下防止など労働環境に十分注意し作業すること。

5 提出書類

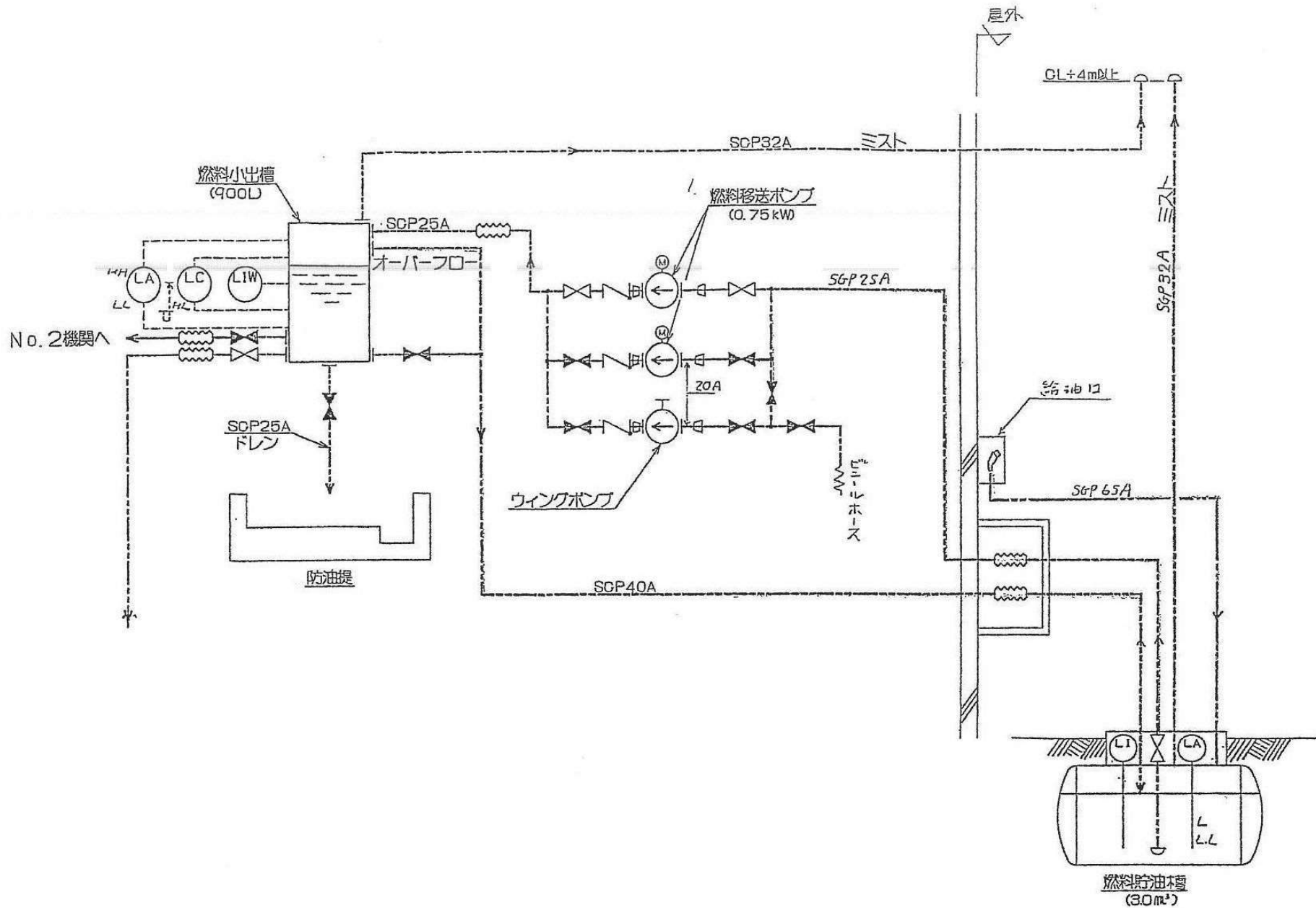
毎年度、業務完了後に、以下の資料を提出すること。

No.	書類名	部数	内容・備考
1	点検報告書	1	(1) 製造所等定期点検記録表 (地下タンク貯蔵所) (2) 地下タンク貯蔵所点検表 (3) その他 (マニフェスト等) (4) 写真帳
2	電子データ	—	1 の資料を pdf で提出

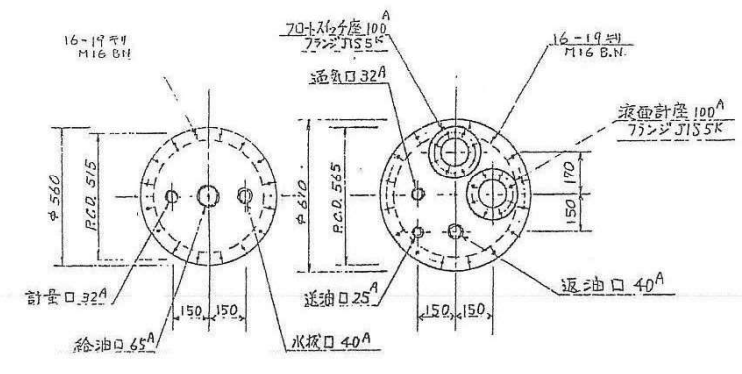
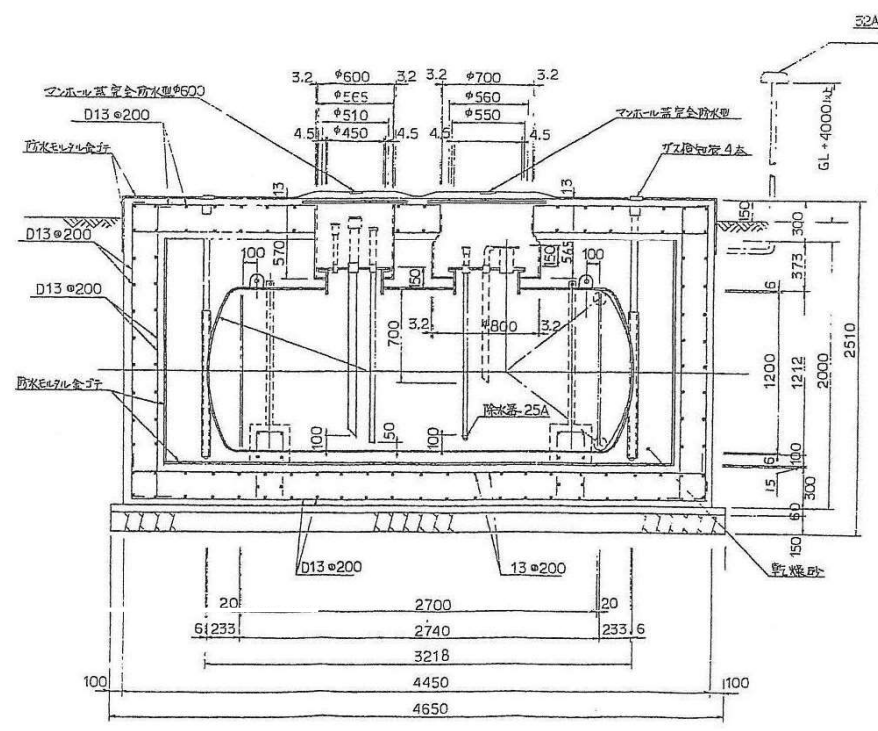
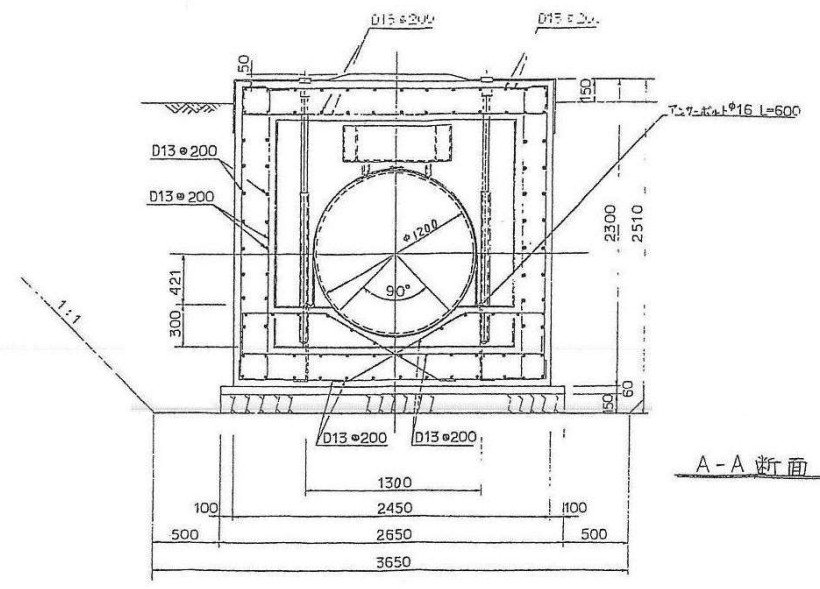
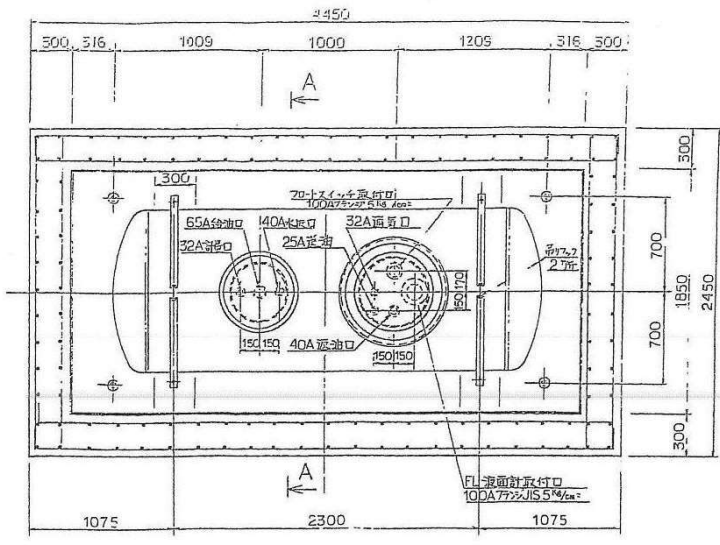
フラットファイルで作成し、背表紙に委託名、受注者、完成年月を記載すること。



業務名	磐南浄化センター 地下タンク点検		
業務箇所	静岡県磐田市小中瀬地内		
図面名称	全体平面図	図面番号	1/9



業務名	磐南浄化センター 地下タンク点検		
業務箇所	静岡県磐田市小中瀬地内		
図面名称	No.1 地下タンク フロー	図面番号	2/9



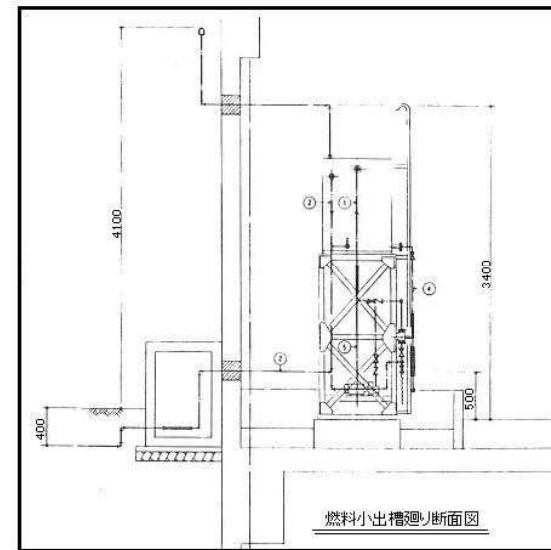
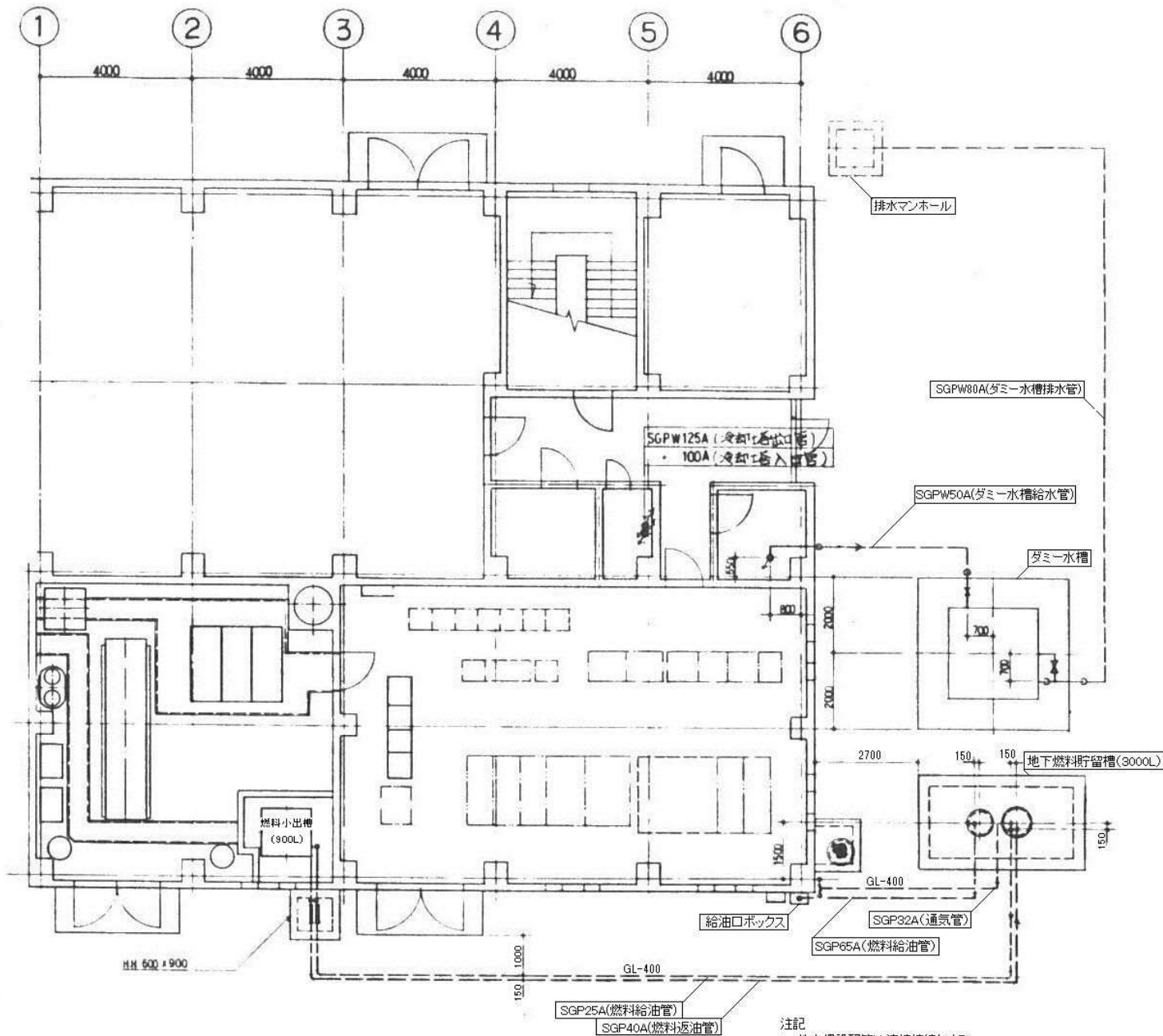
容量計算

$$V = \pi \times 0.6^2 \times (2.74 + \frac{0.233}{3} + \frac{0.233}{3}) = 3.272 \text{ m}^3$$

総容量	3272 ^l
空間容量	272 ^l 8.31%
申請容量	3000 ^l

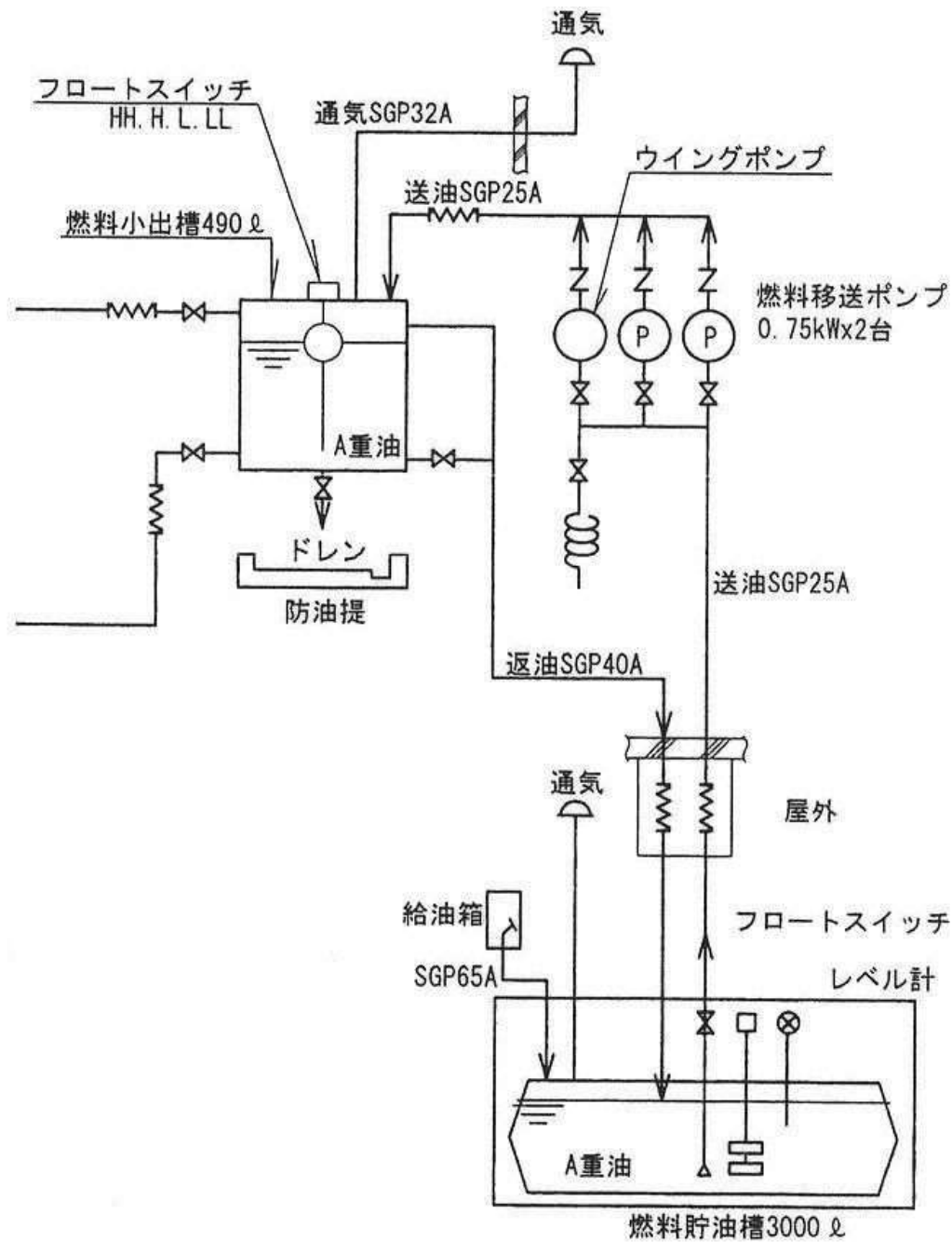
業務名	磐南浄化センター 地下タンク点検		
業務箇所	静岡県磐田市小中瀬地内		
図面名称	No.1 地下タンク 外形図	図面番号	3/9

別13-5

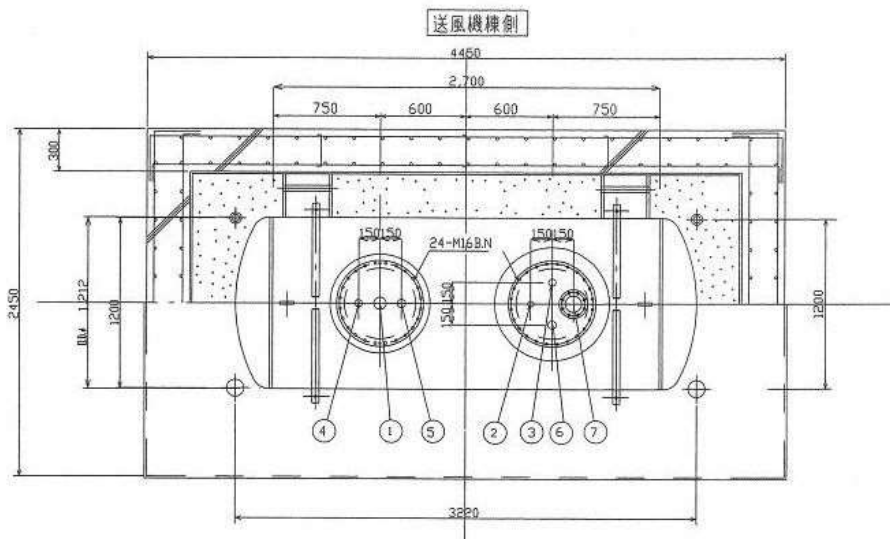


- 注記
- 1 地中埋設配管は溶接接続とする。
 - 2 地中埋設配管は防食用ビニルテープ1/2重ね2回巻を施すこと。
 - 3 可とう継手はJIS規格消防認定品とする。

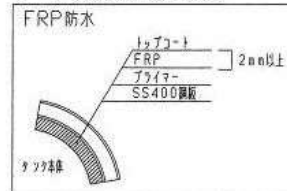
業務名	磐南浄化センター 地下タンク点検		
業務箇所	静岡県磐田市小中瀬地内		
図面名称	No.1 地下タンク 配管図	図面番号	4/9



業務名	磐南浄化センター 地下タンク点検		
業務箇所	静岡県磐田市小中瀬地内		
図面名称	No.2 地下タンク フロー	図面番号	5/9

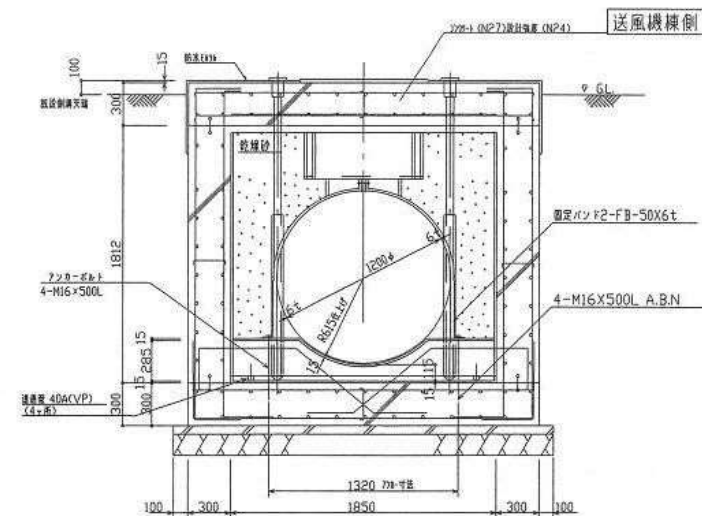
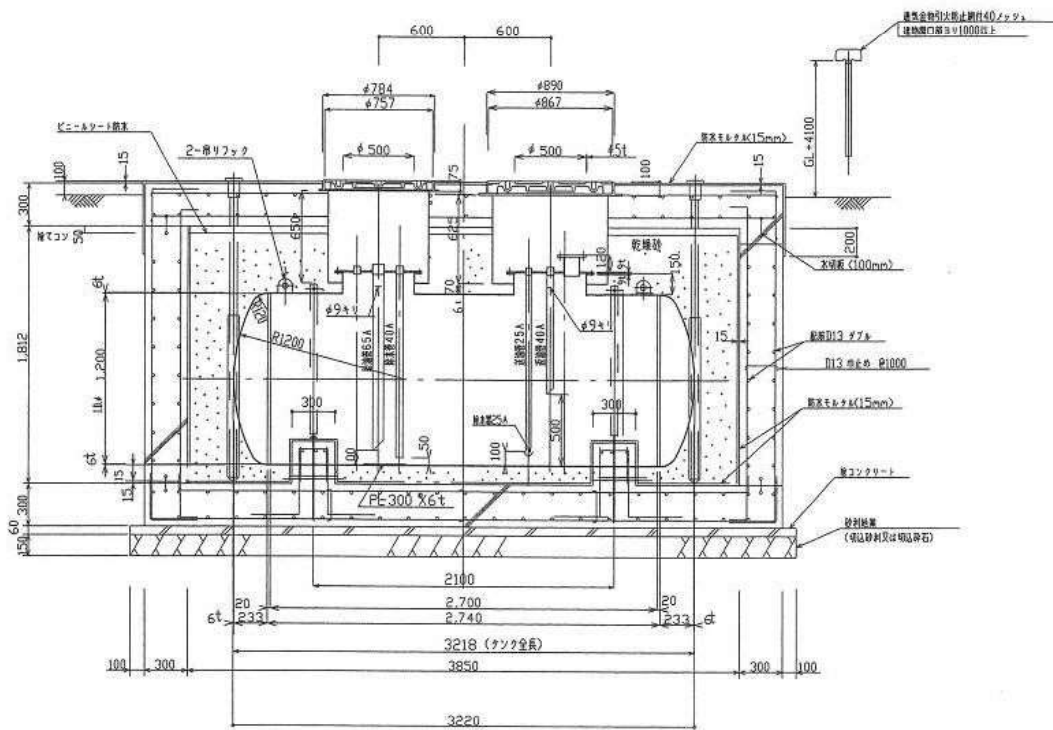


タンク防水仕様詳細図

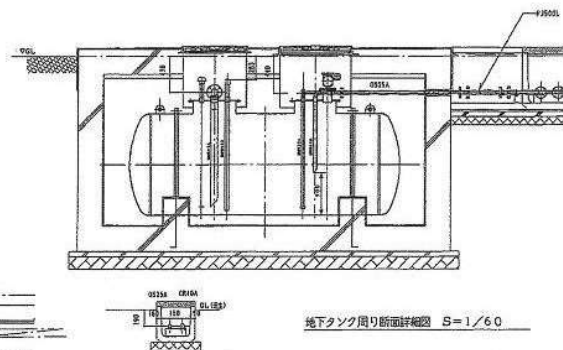
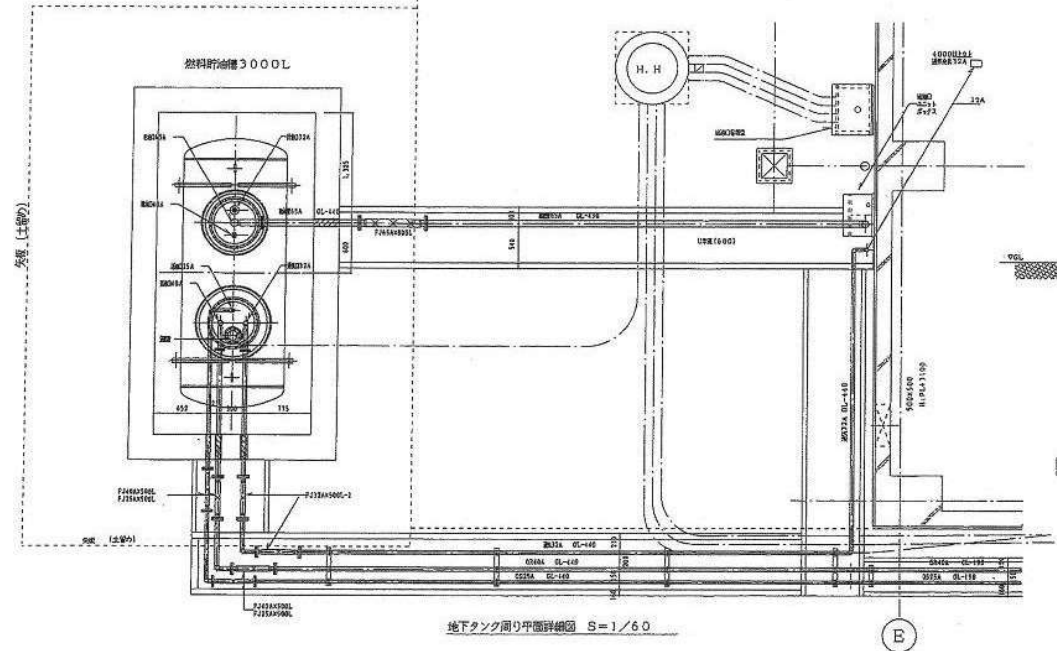
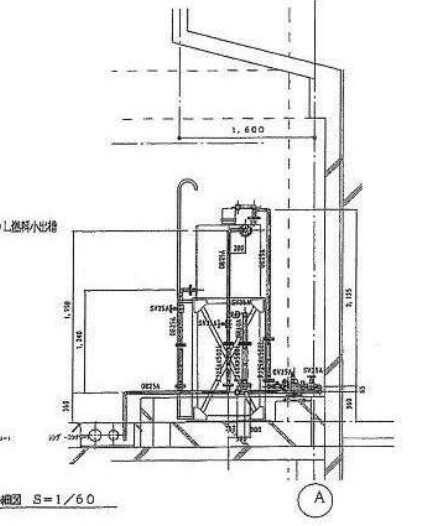
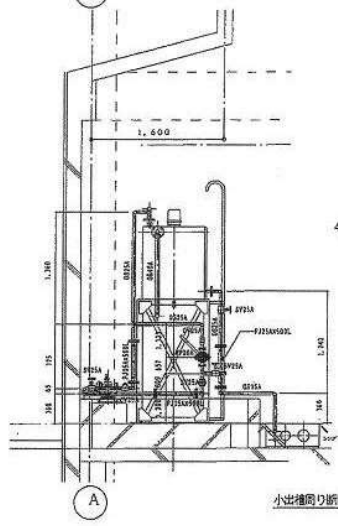
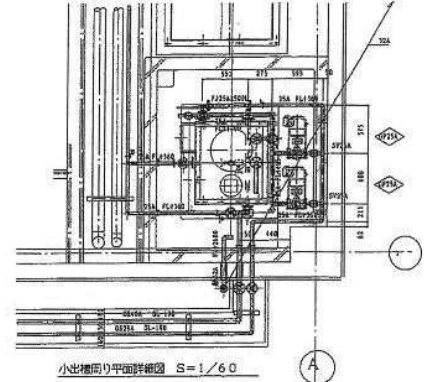
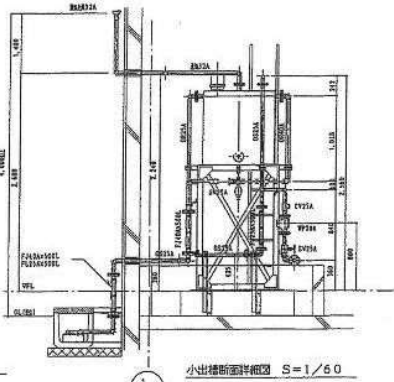
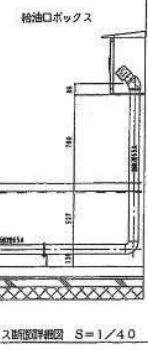
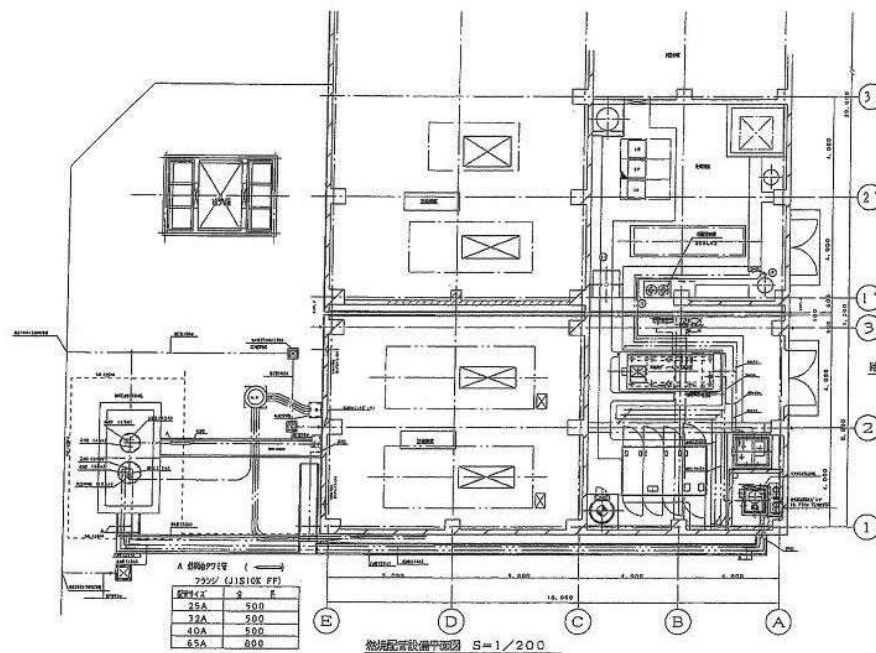


NO	名称	サイズ	個数	備考
1	給油口	65A	1	
2	送油口	25A	1	
3	通気口	32A	1	
4	計量口	32A	1	
5	除水口	40A	1	
6	返油口	40A	1	
7	液面計取付座	100A	1	JIS-5Kフッソ

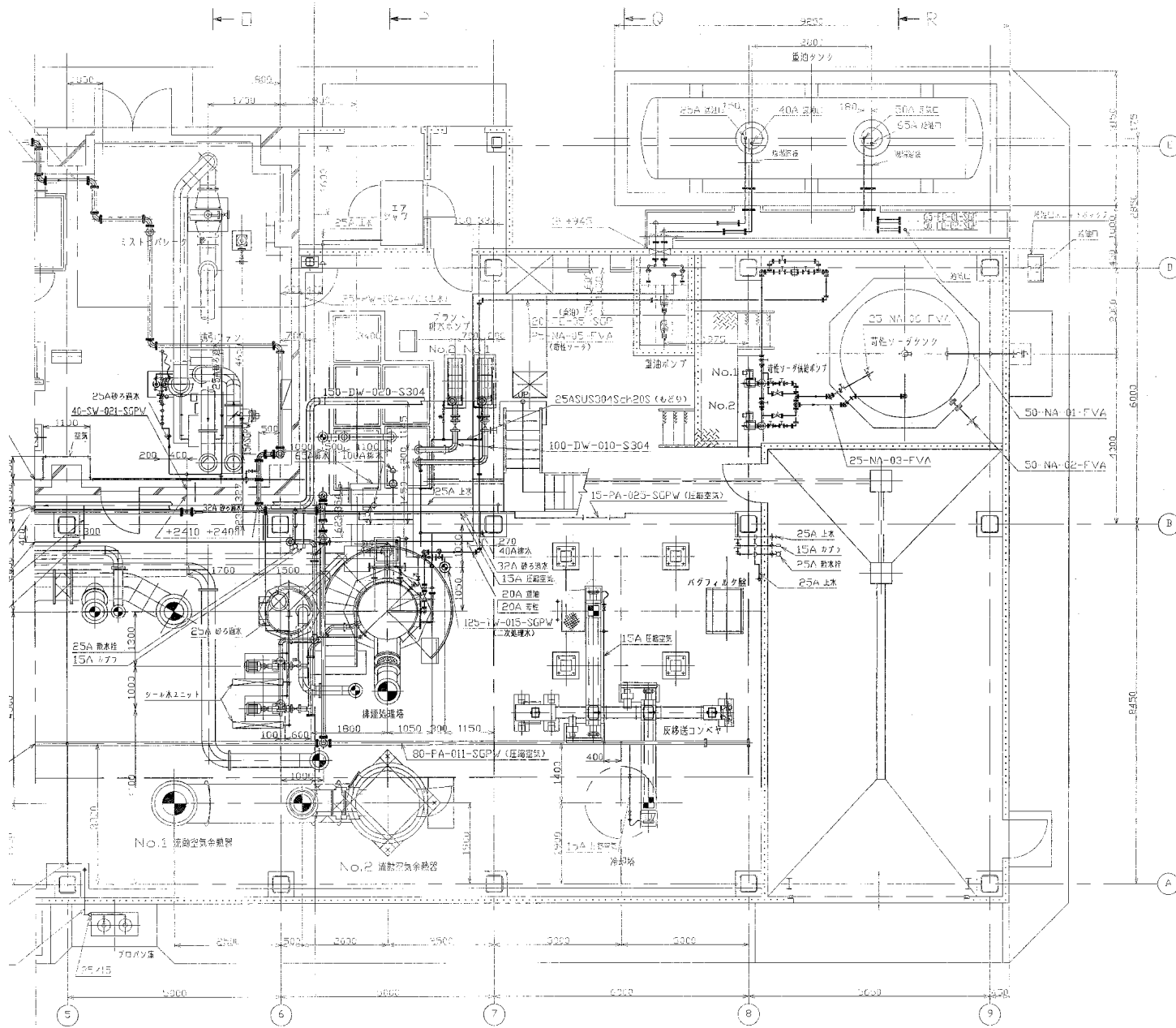
3000Lタンク容量計算 S=1/20	
寸法	114 1200X2700 (鋼板) 2740 (鋼板)
総容量	$3.14 \times 0.6^2 \times (2.74 + \frac{0.2332}{3}) \times 10^3 = 3273\text{L}$
空間容量	$\frac{3273-300}{3273} \times 100 = 8.3\%$ 273L
実容量	$3273 - 273 = 3000\text{L}$
重量	タンク本体 : 810kg FRP防水 : 70kg 合計 : 880kg



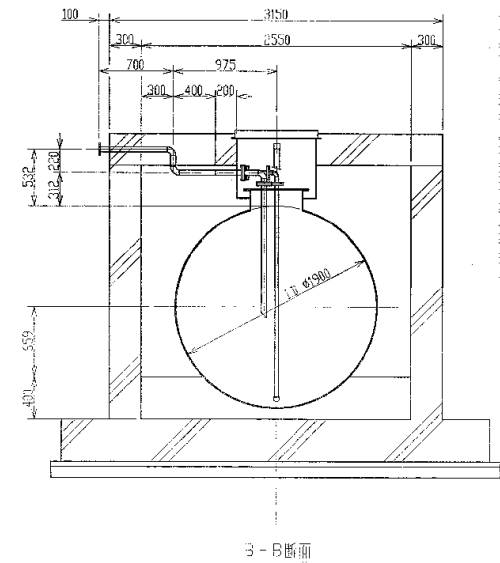
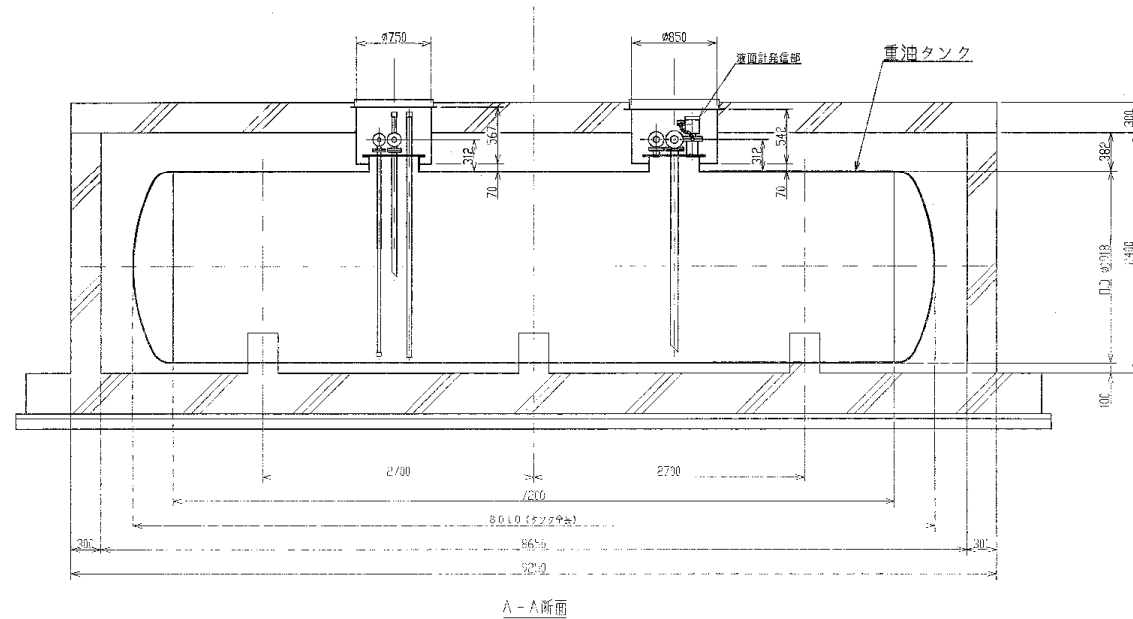
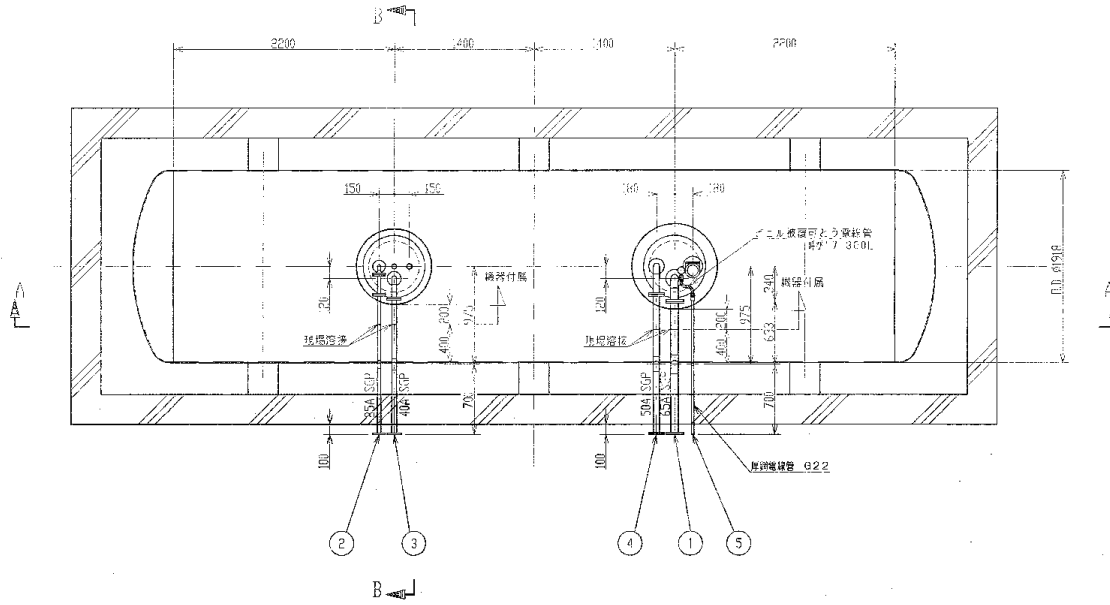
業務名	磐南浄化センター 地下タンク点検
業務箇所	静岡県磐田市小中瀬地内
図面名称	No.2 地下タンク 外形図
図面番号	6/9



業務名	磐南浄化センター 地下タンク点検		
業務箇所	静岡県磐田市小中瀬地内		
図面名称	No.2 地下タンク 配管図	図面番号	7/9



業務名	磐南浄化センター 地下タンク点検		
業務箇所	静岡県磐田市小中瀬地内		
図面名称	汚泥焼却設備地下タンク 配管図	図面番号	8/9



業務名	磐南浄化センター 地下タンク点検		
業務箇所	静岡県磐田市小中瀬地内		
図面名称	汚泥焼却設備地下タンク 断面図	図面番号	9/9

別紙-13-2

年度別対象タンク表(磐南浄化センター 地下タンク点検業務)

施設名称	容量	設置年度	点 検 年 度																	
			平成 25	26	27	28	29	30	31	令和 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
No.1地下タンク	3kL	平成元年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						清掃			清掃			清掃			清掃			清掃		
No.2地下タンク	3kL	平成21年度			○			○			○			○	○	○	○	○	○	
					清掃			清掃			清掃			清掃			清掃			清掃
汚泥焼却設備用地下タンク	20kL	平成17年度		○			○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
							清掃			清掃			清掃			清掃			清掃	

1 適用

この仕様書は、環境測定等の委託業務に適用する。

2 業務概要

環境計測等とは、水質、汚泥、焼却灰等、臭気、騒音、振動、ばい煙等の環境測定及びダイオキシン類ばく露防止対策に関する作業環境測定等の計測を称し、計量証明事業者により分析結果を証明するものとする。

本業務の実施にあたっては、分析に必要な資格または分析データに関して考察、判断能力を有する業務従事者を配置すること。

分析を外部委託する場合は、計量証明書による報告を求めるものとし、受託者は自ら業務の進行管理、分析結果に関する精度・品質に関する管理を確実にを行い、委託者と緊密に連携をとるものとする。

また受託者が自ら行う場合は、環境計量士（濃度）および環境計量士（騒音・振動）の資格を所持した者の指揮監督の下で計量法に基づき適切に行うこと。

3 測定項目、回数等

試験項目および頻度は、法令等を鑑み委託者が必要と判断した内容について下記に示すが、受託者が管理上必要とする項目、頻度および方法等を業務計画書に記述して委託者に提案し、事前に承諾を得ること。

分析手法、精度、サンプリング手法などについては、それぞれの項目に準拠した法令等で指定する公定手法で行うこと。

(1) 水質分析

	流入水	放流水
1	カドミウム	年2回
2	全シアン	年2回
3	有機リン	年2回
4	鉛	年2回
5	六価クロム	年2回
6	ひ素	年2回
7	総水銀	年2回
8	アルキル水銀	年2回
9	ポリ塩化ビフェニル	年2回
10	トリクロロエチレン	年2回
11	テトラクロロエチレン	年2回
12	ジクロロメタン	年2回
13	四塩化炭素	年2回
14	1,2-ジクロロエタン	年2回
15	1,1-ジクロロエチレン	年2回
16	シス-1,2-ジクロロエチレン	年2回
17	1,1,1-トリクロロエタン	年2回
18	1,1,2-トリクロロエタン	年2回
19	1,3-ジクロロプロペン	年2回
20	チウラム	年2回
21	シマジン	年2回
22	チオベンカルブ	年2回
23	ベンゼン	年2回
24	セレン	年2回
25	ほう素	年2回
26	フッ素	年2回
27	1,4-ジオキサン	年2回
28	フェノール類	年2回
29	クロム	年2回
30	銅	年2回
31	亜鉛	年2回
32	溶解性鉄	年2回
33	溶解性マンガン	年2回
34	pH	月2回
35	BOD	月2回
36	SS	月2回
37	n-ヘキサン抽出物質	月2回
38	大腸菌数	月2回
39	全窒素	月2回
40	全リン	月2回
41	アンモニア性窒素	月2回
42	硝酸性窒素	月2回
43	亜硝酸性窒素	月2回
44	全COD-Mn	月2回
45	溶解性COD-Mn	年4回
46	全COD-Cr	年4回
47	溶解性COD-Cr	年4回
48	陰イオン界面活性剤	年4回
49	ダイオキシン類	年1回

(2) 汚泥等溶出試験

		脱水汚泥	スクリーンかす	焼却灰	廃流動砂
1	pH	○	○	○	○
2	含水率	○	○	○	
3	アルキル水銀化合物	○	○	○	○
4	水銀またはその化合物	○	○	○	○
5	カドミウム又はその化合物	○	○	○	○
6	鉛又はその化合物	○	○	○	○
7	有機リン化合物	○	○	○	○
8	六価クロム化合物	○	○	○	○
9	ヒ素又はその化合物	○	○	○	○
10	シアン化合物	○	○	○	○
11	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	○	○	○	○
12	トリクロロエチレン	○	○		
13	テトラクロロエチレン	○	○		
14	ジクロロメタン	○	○		
15	四塩化炭素	○	○		
16	1,2-ジクロロエタン	○	○		
17	1,1-ジクロロエチレン	○	○		
18	シス-1,2-ジクロロエチレン	○	○		
19	1,1,1-トリクロロエタン	○	○		
20	1,1,2-トリクロロエタン	○	○		
21	1,3-ジクロロプロペン	○	○		
22	チウラム	○	○		
23	シマジン	○	○		
24	チオベンカルブ	○	○		
25	ベンゼン	○	○		
26	セレン又はその化合物	○	○	○	○
27	1,4-ジオキサン	○	○	○	○
28	油分	○	○		
29	ほう素及びその化合物	○	○	○	○
30	ふっ素及びその化合物	○	○	○	○

※ ○ : 年1回実施、 1~28 : 環告13号溶出、 29~30 : 環告46号溶出

(3) 汚泥等含有試験

		脱水汚泥	スクリーンかす	焼却灰	廃流動砂
1	含水率	○	○	○	
2	熱灼減量	○	○		
3	アルキル水銀	○	○	○	○
4	総水銀	○	○	○	○
5	カドミウム	○	○	○	○
6	鉛	○	○	○	○
7	有機リン	○	○	○	○
8	ヒ素	○	○	○	○
9	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	○	○	○	○
10	銅	○	○	○	○
11	亜鉛	○	○	○	○
12	鉄	○		○	○
13	全クロム	○	○	○	○
14	アルミニウム	○		○	○
15	ニッケル	○		○	○
16	カルシウム	○		○	○
17	マグネシウム	○		○	○
18	全窒素	○			
19	全リン	○		○	○
20	全カリウム	○		○	○
21	全油分	○	○		
22	鉱物油	○	○		
23	総発熱量	○	○		
24	灰分			○	○
25	砂の粒度試験				○
26	ダイオキシン類	○		○	○

※ ○：年1回実施

(4) 焼却炉ばい煙測定

	焼却炉
ばいじん	年2回
窒素酸化物	年2回
硫黄酸化物	年2回
塩化水素	年2回
全水銀 (ガス状及び粒子状)	年2回
ダイオキシン類	年1回

※大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき測定

(5) 作業環境測定（ダイオキシン類）

		併行測定			A測定	B測定
		ダイオキシン類		デジタル 粉じん計	デジタル 粉じん計	デジタル 粉じん計
		粉じん	ガス状			
灰搬出室	1F	-	-	-	6×2回	1×2回
灰加湿機	2F	-	-	-	-	1×2回
集塵器（搬出コンベア点検口）	1F	-	-	-	-	1×2回

※ D値は委託者より提示

(6) 臭気測定

		1号規制		2号規制		3号規制	生物脱臭設備	
		敷地境界		生物脱臭設備 活性炭吸着塔排出口		放流水	生物脱臭	
		風上	風下	No1	No2		入口	出口
1	臭気指数	○	○	○	○	○		○
2	アンモニア	○	○				○	
3	メチルメルカプタン	○	○				○	
4	硫化水素	○	○				○	
5	硫化メチル	○	○				○	
6	二硫化メチル	○	○				○	
7	トリメチルアミン	○	○				○	
8	アセトアルデヒド	○	○					
9	プロピオンアルデヒド	○	○					
10	ノルマルブチルアルデヒド	○	○					
11	イソブチルアルデヒド	○	○					
12	ノルマルバレルアルデヒド	○	○					
13	イソバレルアルデヒド	○	○					
14	イソブタノール	○	○					
15	酢酸エチル	○	○					
16	メチルイソブチルケトン	○	○					
17	トルエン	○	○					
18	スチレン	○	○					
19	キシレン	○	○					
20	プロピオン酸	○	○					
21	ノルマル酪酸	○	○					
22	ノルマル吉草酸	○	○					
23	イソ吉草酸	○	○					

※ ○：年1回実施

(7) 騒音、振動測定

騒音測定（北敷地境界）

時間の区分	
朝（午前6時から午前8時まで）	年1回
昼間（午前8時から午後6時まで）	年1回
夕（午後6時から午後10時まで）	年1回
夜間（午後10時から翌日の午前6時まで）	年1回

第4種区域

振動測定（北敷地境界）

時間の区分	
昼間（午前8時から午後8時まで）	年1回
夜間（午後8時から翌日の午前8時まで）	年1回

第2種区域の2

4 業務計画

- (1) 試験・測定方法、定量下限値、検出限界値、精度管理の方法及び基準値を、業務計画書にて提出すること。
- (2) 試験・方法等を変更する場合は、委託者と協議し適宜業務計画書の変更を行うこと。

5 業務報告

- (1) 測定結果報告は、結果が得られ次第速やかに計量証明書を提出するとともに、外部委託業者の報告書とは別に結果に対して規制基準遵守状況、相対的、経年的変化状況など多面的な考察を行ったものを提出すること。
- (2) 試験結果が、検出限界値以上定量下限値未満の場合はその都度文書で報告すること。
- (3) 外部委託した場合は、その分析の生データの写しも合わせて委託者に提出すること。
- (4) 通常と異なる値を確認したときは速やかに委託者に報告すること。
- (5) 年間業務結果をまとめ、電子データにて年度末に提出すること。

6 その他

その他必要に応じて、データの提供等委託者の求めに応じること。

1 適用

この仕様書は、磐南浄化センター場内緑地管理の委託業務に適用する。

2 業務概要

- (1) 芝地管理個所は、磐南浄化センター場内の（別紙-15-1）に示す範囲（約16,200㎡）とする。
- (2) 草地管理個所は、磐南浄化センター場内の（別紙-15-2）に示す範囲（約58,800㎡）とする。
- (3) 植栽管理個所は、磐南浄化センター場内の（別紙-15-3）に示す範囲（約365㎡）とする。

3 業務執行の留意事項

- (1) 業務実施日時は、監督職員との協議により決定するものとする。
- (2) 受託者は年度当初に委託者に業務計画書を提出し、委託者と協議を行うものとする。
- (3) 受託者は、植物の生育状況を踏まえ、必要な頻度で、必要な程度の施肥、剪定、薬剤散布を行い、美観を損ねることがないように、良好な状態を保つこと。
- (4) 業務において樹木、株物、施設、機械器具等を損傷した場合は、受注者の責任において、監督職員と協議の上、速やかに補修等するものとする。
- (5) 業務実施においては、作業範囲を明確にし、十分な安全対策を施すものとする。
なお、作業中の通行禁止範囲には、「立入禁止」等の表示を徹底するものとする。

4 作業内容

参考資料として、下記仕様を記載するが、これ以上の結果が伴うものであれば必ずしもこの仕様、頻度での草地、芝地、植栽の手入れを求めるものではない。

4-1 芝地管理（参考）

(1) 管理の目的

芝生管理は、芝草で構成された一定の広がりを持つ植栽空間を維持するものであり、芝生の健全な育成を図ることを目的とする。

(2) 芝生刈込み

- ア 刈込みは、5、6、7、8月に実施し、樹木、株物、施設を損傷しないように注意するとともに、刈りむら及び刈り残しのないよう均一に刈込むものとする。
- イ 刈取った芝は、監督職員が指示した場所に集積し、まとめて処理するとともに、刈跡はきれいに清掃するものとする。
- ウ 刈込み高さは、2～3cm程度を標準とし、生育状態で監督職員と協議するものとする。
- エ 作業に先立ち、芝生地内の紙くず、空き缶等のゴミ類、小枝・がれき類等を取り除かなければならない。
- オ 刈取った芝の処分先は、監督職員の指示に従わなければならない。

(3) 施肥

所定の施肥量を芝生面にむらのないよう均一に施すものとする。

(4) 除草

ア 芝生を傷めないよう除草フォークなどを用いて、根より丁寧に抜き取るものとする。

イ 抜き取った雑草は、監督職員が指示した場所に集積し、まとめて処理するとともに、除草後はきれいに清掃するものとする。

ウ 抜き取った草の処分は、監督職員の指示に従わなければならない。

(5) 除草剤散布

除草剤は、農薬取締法に基づき芝生用薬剤を使用するものとする。なお、薬剤を使用する場合は、薬剤の種類及び使用方法は、監督職員と協議しなければならない。

(6) 病虫害防除

ア 病虫害の防除方法は、監督職員と協議しなければならない。

(7) 目土かけ

ア 目土は植物の根、がれき、赤土等が無く、2cm目開程度のふるいによりふる分けした目土を用いるものとする。

(8) ブラッシング

ア ほふく茎や根等を切断するとともに、茎葉の間の枯葉枯茎を除去し、更新を促すため、レーキやフォーク等で丁寧にすき均しするものとする。

イ 発生した古葉古茎等は、監督職員が指示した場所に集積し、まとめて処理するとともに、ブラッシング後はきれいに清掃するものとする。

(9) エアレーション

ア 芝生土壌の硬化を防止するために、エアレーション器具又は機械により土壌が膨軟となるよう効果的に行うものとする。

イ 穴及びカッティングの深さ・間隔等は、監督職員と協議するものとする。

(10) 補植

ア 補植箇所を大きめに形を整えて切り取り、床土を交換した上、沈下防止のため転圧するものとする。

4-2 草地管理 (参考)

(1) 管理の目的

草地管理は、植生、美観の維持、及び防犯・防災を目的とする。

(2) 草刈込み

ア 刈込みは、7月に実施し、機械及び人力等の作業にて樹木、寄せ植え、柵等に損傷しないよう注意し、刈りむらのないよう均一に刈り込むとともに、刈込み後はきれいに清掃するものとする。

イ 刈り込み作業内容は、障害物の除去、草刈作業、集草作業、積込運搬・処分作業とする。

ウ 樹木、株物、柵等の周辺も刈り残しのないよう仕上げる。また、それらに絡んでい

るつる性雑草もきれいに除去するものとする。

- エ 機械式作業においては、小石等の飛散防止養生を行い、周囲の人、樹木、施設等を損傷しないよう十分注意を払い、作業中の安全を確保しなければならない。
- オ 雨水調整池の草地管理は生物の生息環境に配慮したうえで、委託者と協議したうえで実施する。
- カ 刈り取った草の処分先は、委託者の指示に従わなければならない。
- キ 総合的に草地が適正に管理されている状態に保つこと。

4-3 植栽の管理（参考）

（1）管理の目的

浄化センター場内の美しい景観を保持するため、樹種の特性を考慮しながら樹形を整え、健全な育成を図ることを目的とする。

（2）業務の概要

ア 高木及び中木の剪定

契約期間内の冬期に1回行う。剪定に当たっては、枯枝除去及び無駄な徒長枝、からみ枝の剪定とし、自然樹形を保つものとする。

イ 中木及び低木の寄せ植え剪定

契約期間内の冬期に1回、生垣状又は植えつぶしに植栽されている中・低木を面的に刈り込むものとする。

また、雑草等が繁茂することの無いよう適宜除草すること。

ウ 薬剤防除

契約期間内において2回（夏期、冬期）の薬剤防除を行う。

農薬を使用する場合、近隣住民の生活環境に影響を及ぼす恐れがあるため、農薬取締法をはじめとする関係法令を遵守すること。樹種、作物等において良い農薬の種類、使用量、希釈倍率、使用時期、使用回数等が決められているため、以下の点に注意するとともに、使用する農薬ラベルを必ず確認するなど慎重な取り扱いをすること。

なお、使用する農薬に関しては、

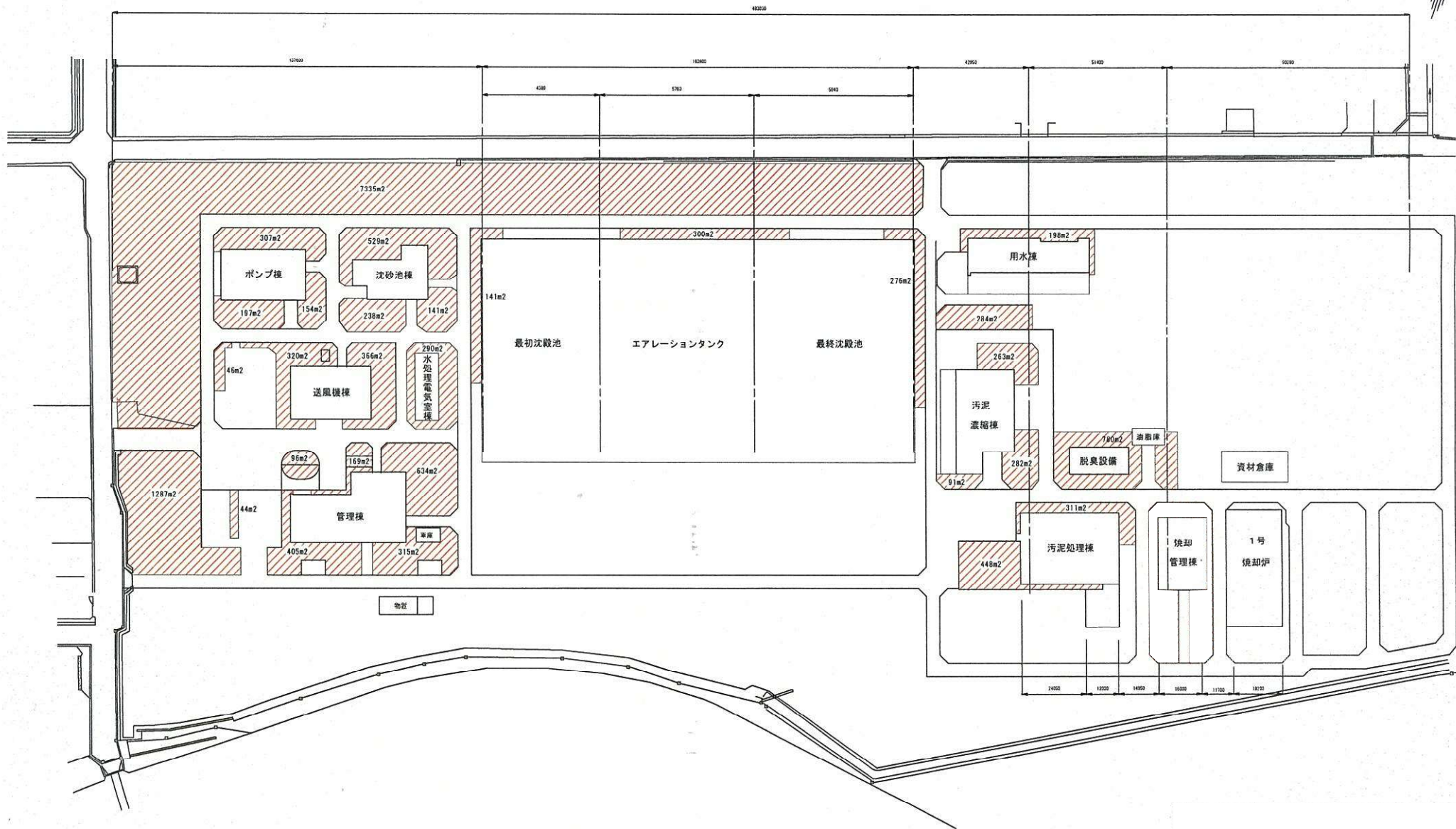
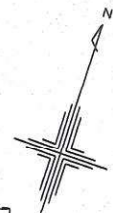
- (ア) 成分、使用方法が明示してあり、安全性の高い農薬である
- (イ) 樹木や芝生に適用される農薬である
- (ウ) 防除しようとする病害虫に最も適した農薬である
- (エ) 保全しようとする植物への薬害にも注意する

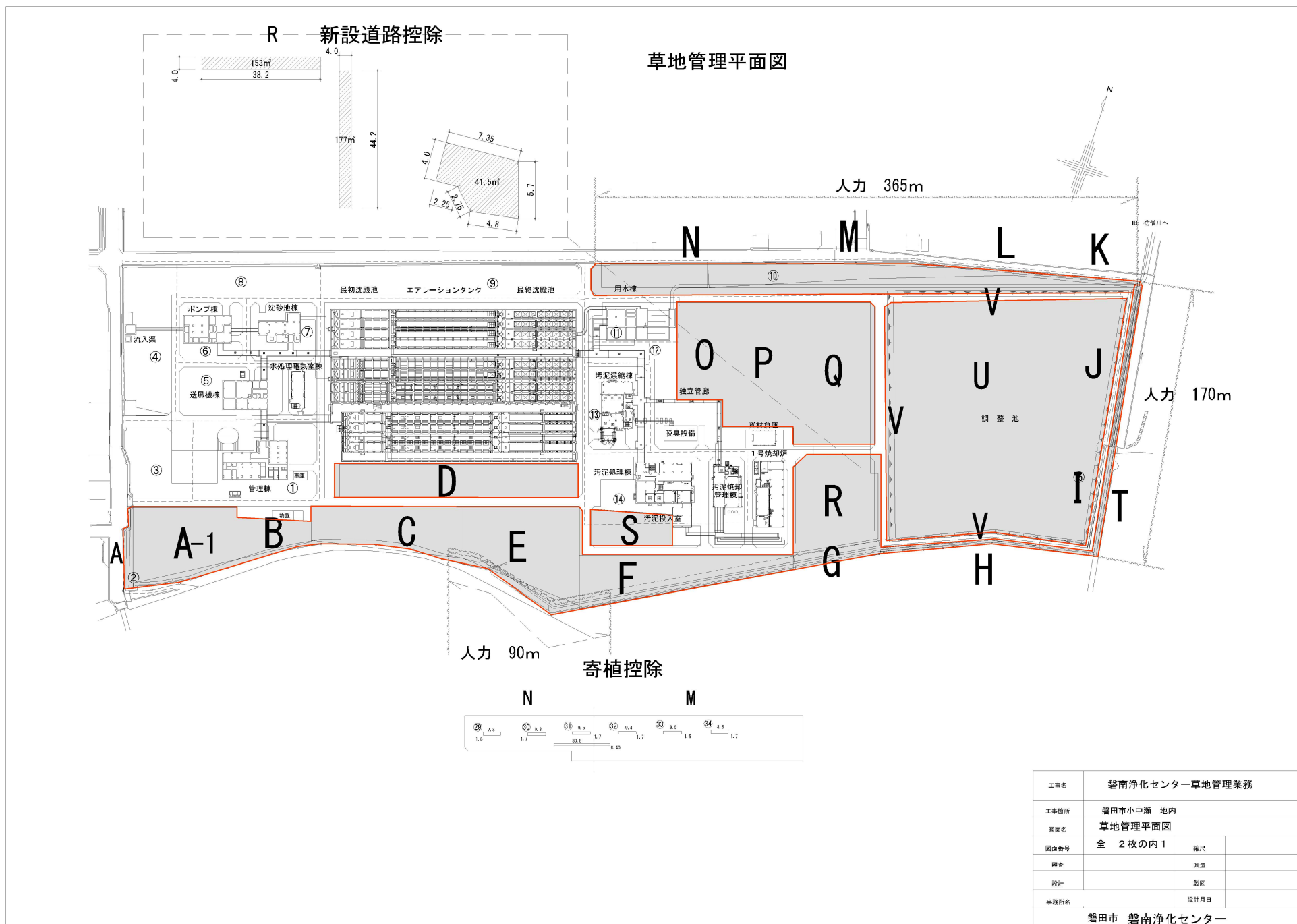
を満足するものとする。

エ 施肥

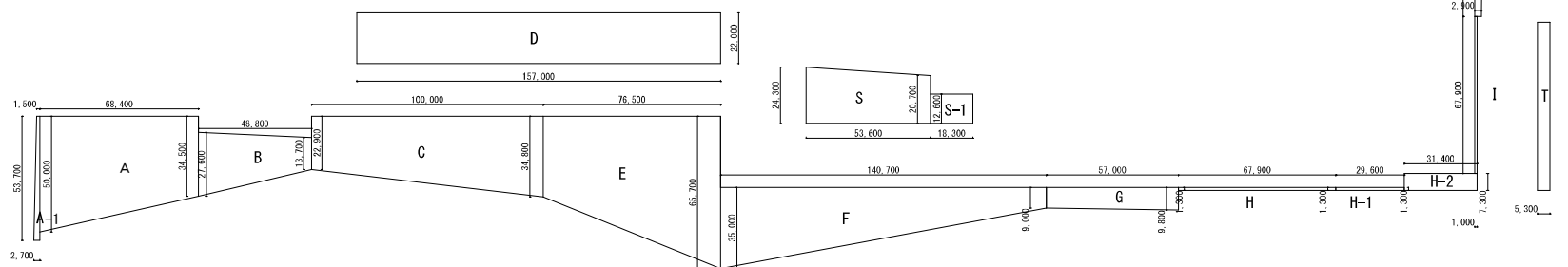
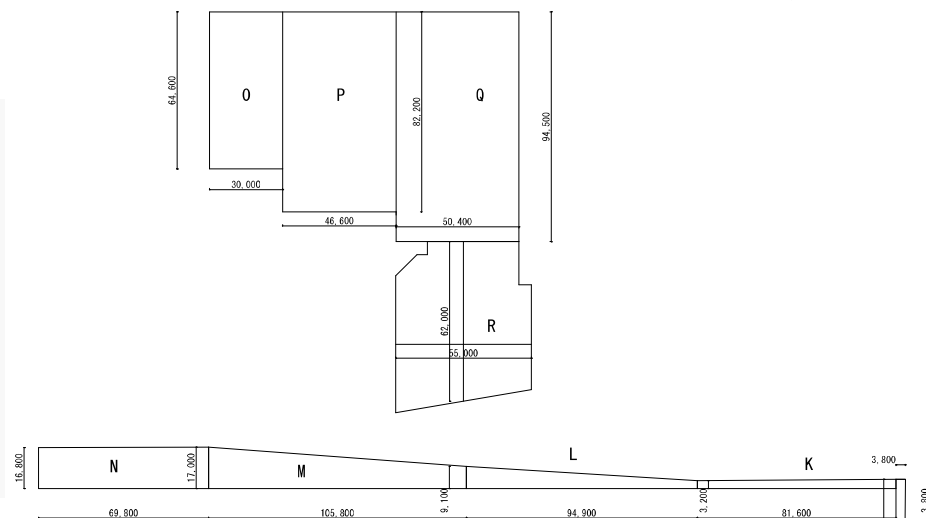
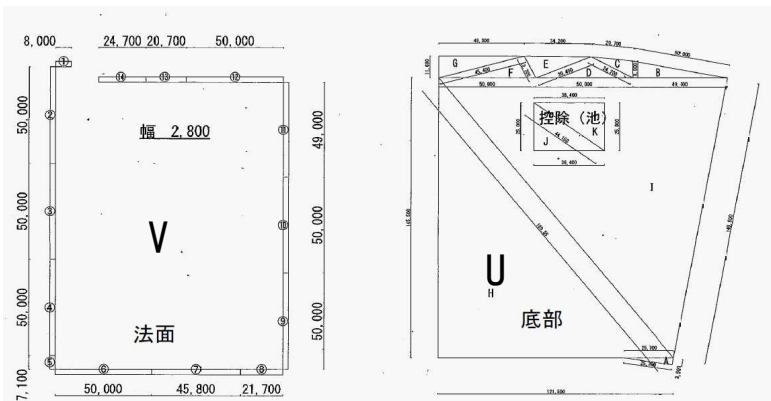
施肥方法は、各樹木の特性に応じて最も効果が期待できる方法とする。

磐南浄化センター芝地管理範囲図 (斜線部)





草地管理展開図



工事名	磐南浄化センター草地管理業務		
工事箇所	磐田市小中瀬 地内		
図面名	草地管理展開図		
図面番号	全 2枚の内 2	編尺	
原案		測量	
設計		製図	
事務所名		設計月日	
磐田市 磐南浄化センター			

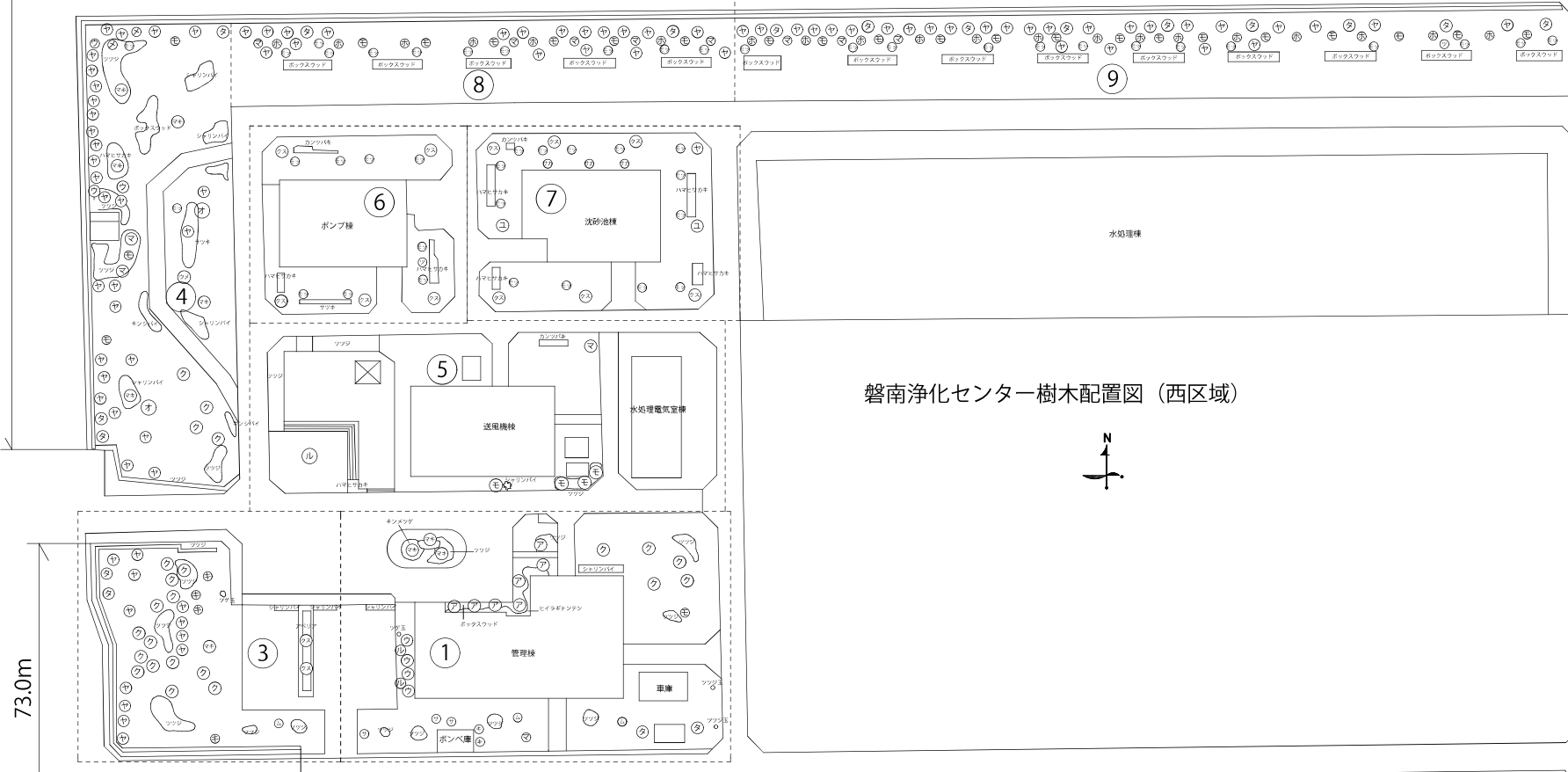
植栽管理平面図

(別紙-15-3)

102.0m

162.0m

113.0m (別図)



磐南浄化センター樹木配置図 (西区域)



73.0m

物販

- 樹木管理
- 高木
 - 中木
 - 寄植中木
 - 低木寄植玉物

キョウチクトウ 11本

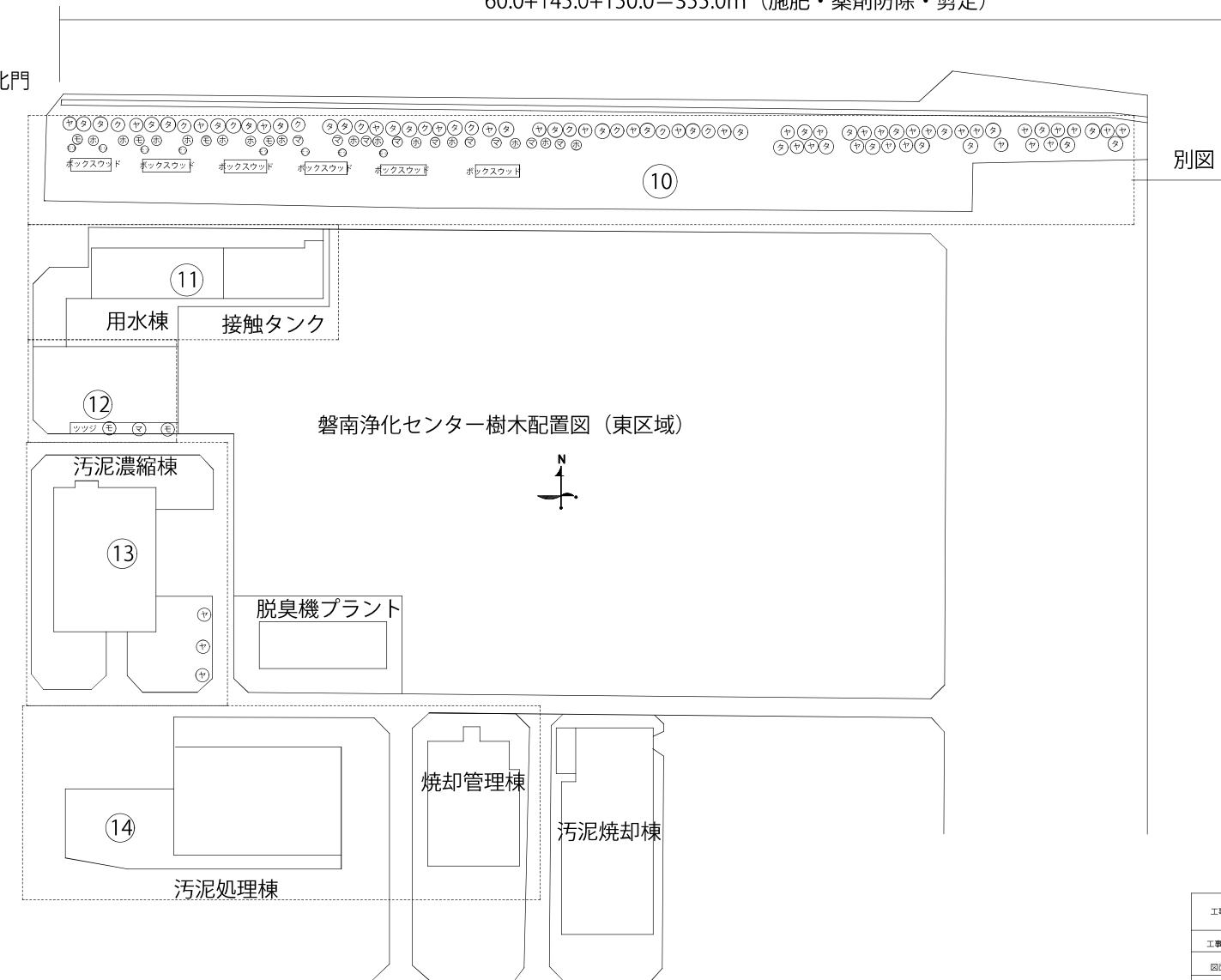
工事名	磐南浄化センター植栽管理業務		
工事箇所	磐田市小中瀬 地内		
図名	植栽管理平面図 1		
図面番号	全 5枚の内 1	縮尺	
照査		測量	
設計		製図	
事務所名		設計月日	
磐南浄化センター			

植栽管理平面図

(別紙-15-3)

60.0+145.0+150.0=355.0m (施肥・薬剤防除・剪定)

北門

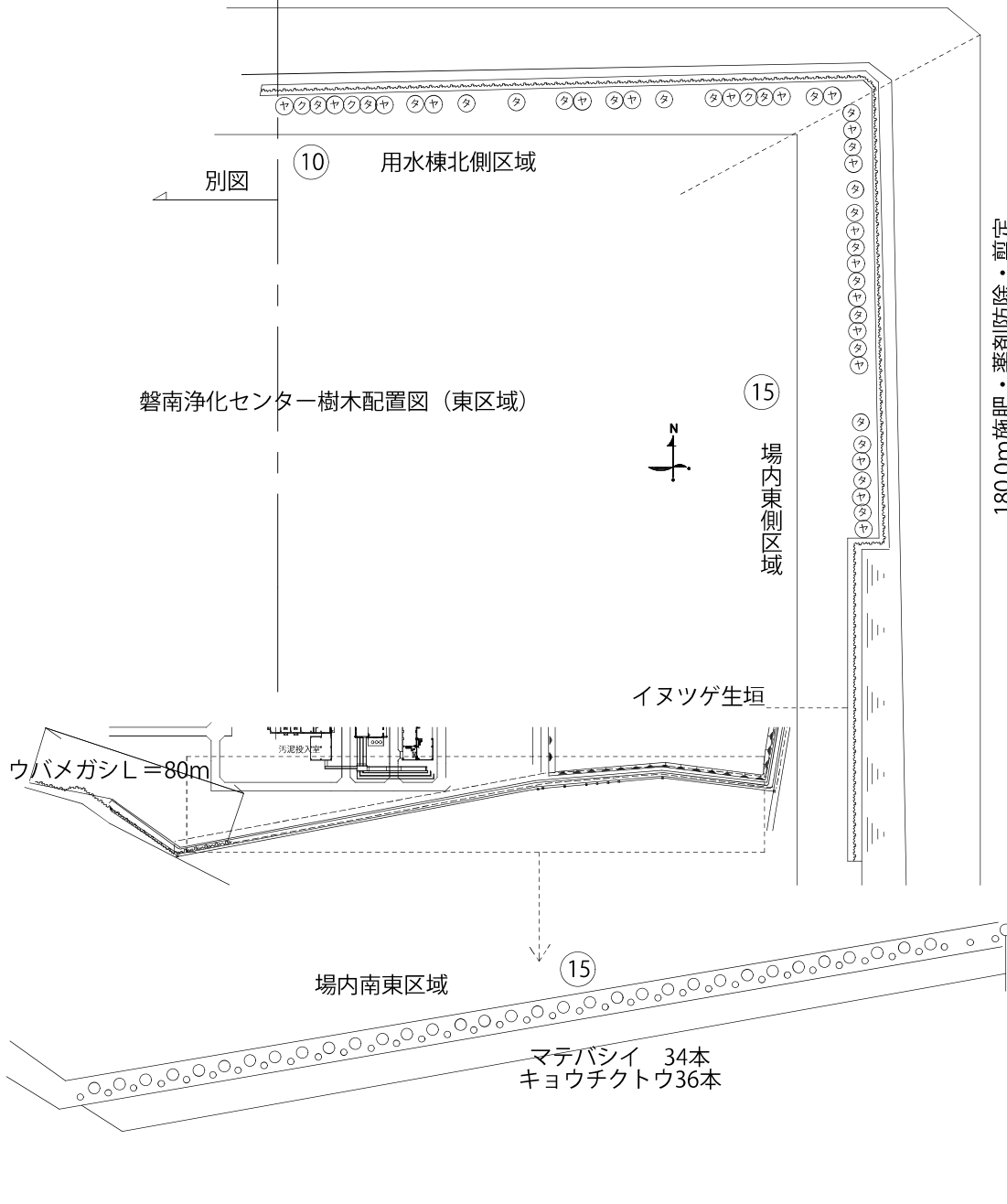


工事名	磐南浄化センター植栽管理業務		
工事箇所	磐田市小中瀬 地内		
図面名	植栽管理平面図 2		
図面番号	全 5枚の内 2	縮尺	
照査		測量	
設計		製図	
事務所名		設計月日	
磐南浄化センター			

355.0m (施肥・薬剤防除・剪定)

植栽管理平面図

(別紙-15-3)



180.0m施肥・薬剤防除・剪定

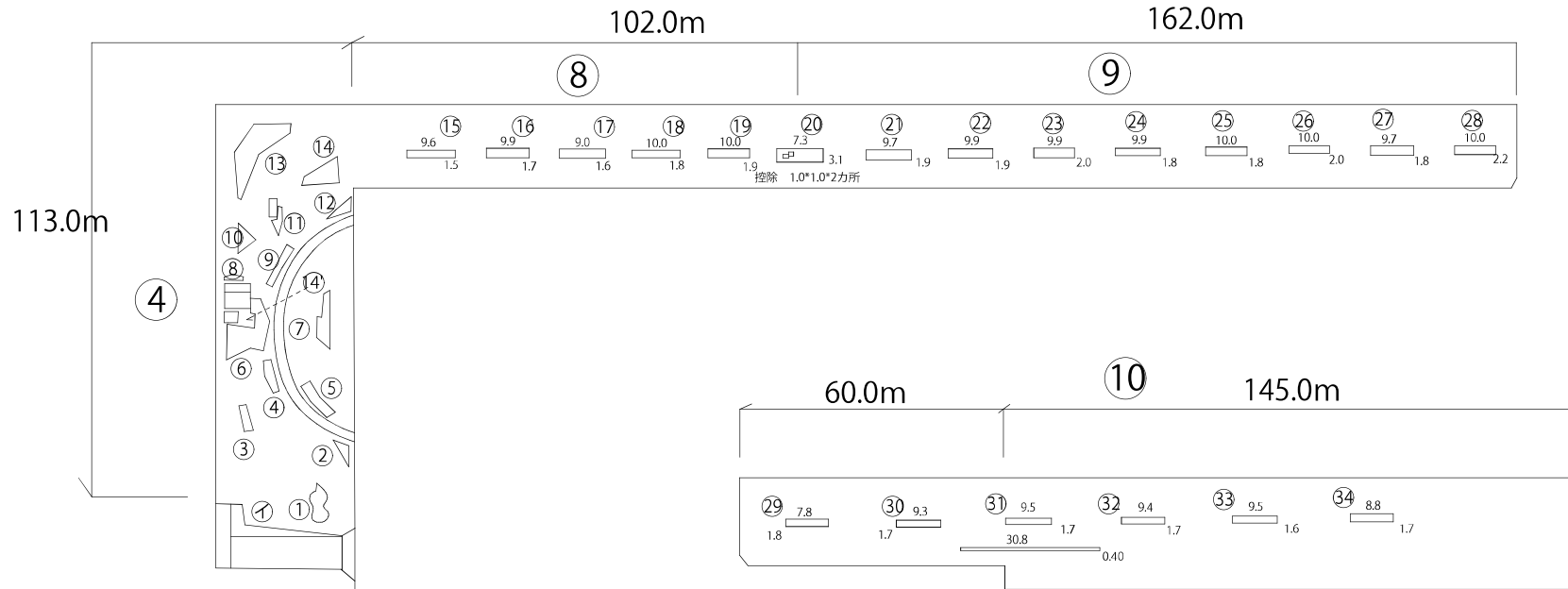
樹木数量表

記号	樹木名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	計
高木																	
メ	アメリカカフウ				2												2
ア	アラカシ	7															7
ウ	ウバメガシ	4		3													7
ウメ	ウメ		1														1
オ	オオシマ桜			3	2												5
クス	クスノキ			2			5	6			14						27
モ	クロガサモチ				3	4							2				9
ク	クロマツ	5		14	4												23
ル	サルズベリ	2				1											3
シ	シダレ桜																
タ	タブノキ	2	2	3					2	9	43						12
マキ	マキノキ	3	1	5													9
マ	マテバシイ			2	1								1				4
ヤマ	ヤマモモ		10	12	28			1	18	27	42			3		10	151
ユ	ユズリハ															2	2
	計	23	13	31	53	6	5	9	20	36	99	0	3	3	0	22	323
中木																	
キ	キンモクセイ	2		4													6
モ	クロガサモチ	1							6	14	4						25
サ	サザンカ	3															3
ツ	ツバキ						1				1						2
ム	ムクゲ	2		1													3
モツ	モッコク				2		8	13	10	13	9						55
キョ	キョウチクトウ		11														36
ホ	ホルトノキ								6	14	14						34
マ	マテバシイ	1							5	3	9						34
	サカキ							3									3
	ヤマモモ																
	計	9	11	5	2	0	9	16	27	45	36						70
中木寄植																	
	イヌツゲ			48	113				102	162	355						180
	ウバメガシ			25													80
	計	0	0	73	113	0	0	0	102	162	355	0	0	0	0	0	260
低木寄植																	
	アベリア			24													24
	カンツバキ					4	5	3									12
	キンシバイ				35												35
	キンメツゲ	29															29
	サツキ				28		18										46
	シャリンバイ	17	15	66	1												99
	ツグ玉	1	1														2
	ツツジ玉	2															2
	ツツジ類	61	76	231	93								20				481
	ハマヒサカキ				18	21	20	39									98
	ヒイラギナンテン	29															29
	ボックスウッド	44		8					83	173	92						400
	計	183	0	116	386	119	43	42	83	173	92	0	20	0	0	0	1,257

工事名	磐南浄化センター植栽管理業務		
工事箇所	磐田市小中瀬 地内		
図面名	植栽管理平面図 3		
図面番号	全 5枚の内 3	縮尺	
照査		測量	
設計		製図	
事務所名		設計月日	
磐南浄化センター			

植栽管理平面図

(別紙-15-3)

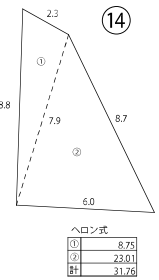
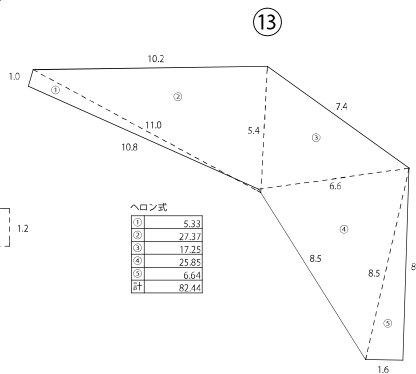
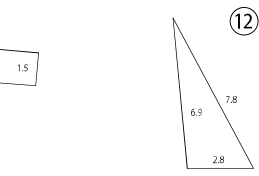
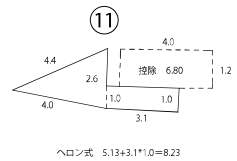
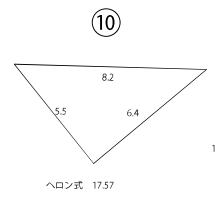
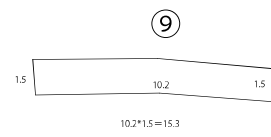
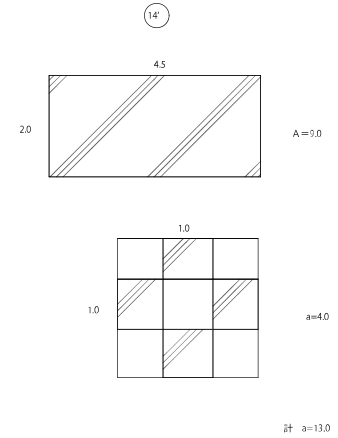
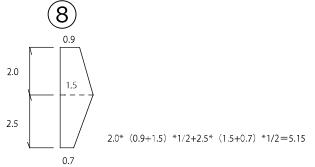
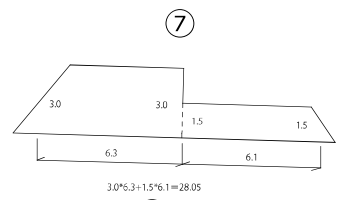
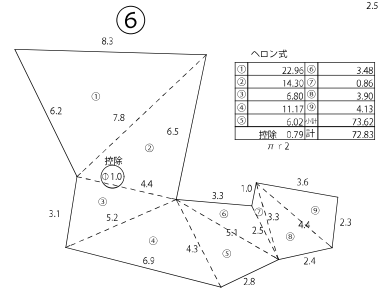
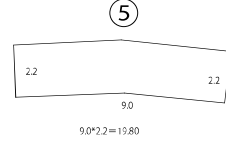
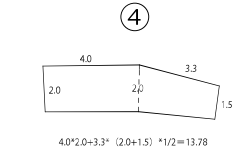
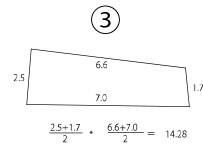
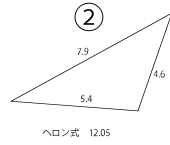
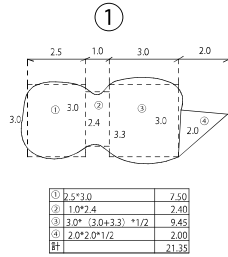


- ツツジ ①⑥⑧⑨⑬⑭⑰
- キンジバイ ②④⑫
- シャリンバイ ③⑤⑭
- サツキ ⑦
- ハマヒサカキ ⑩
- ボックスウッド ⑪

工事名	磐南浄化センター植栽管理業務		
工事箇所	磐田市小中瀬 地内		
図面名	植栽管理寄植剪定 1		
図面番号	全 5枚の内 4	縮尺	
照査		測量	
設計		製図	
事務所名		設計月日	
磐南浄化センター			

植栽管理展開図

(別紙-15-3)



①~⑭ 計 365.16㎡

工事名	磐南浄化センター植栽管理業務		
工事箇所	磐田市小中瀬 地内		
図面名	植栽管理寄植剪定 2		
図面番号	全 5枚の内 5	縮尺	
照査		測量	
設計		製図	
事務所名		設計月日	
磐南浄化センター			

別紙-16 清掃管理業務

1 適用

この仕様書は、磐南浄化センターの清掃管理業務委託に適用する。

2 業務概要

(1) 清掃実施場所

ポンプ棟、汚泥処理棟、焼却管理棟、管理棟

詳細図は（別紙-16-1）のとおりとする。

(2) 清掃内容

ア ポンプ棟

(ア) 弾性床（廊下）の清掃

(イ) 硬質床（玄関ホール）の清掃

イ 汚泥処理棟

(ア) 弾性床（事務室、廊下、階段等）の清掃

(イ) 硬質床（玄関ホール、便所、湯沸室）の清掃

ウ 焼却管理棟

(ア) 弾性床（玄関ホール、廊下、便所、階段）の清掃

エ 管理棟

(ア) 弾性床（事務室、廊下、階段等）の清掃

(イ) 硬質床（玄関ホール、便所、湯沸室）の清掃

(ウ) 窓ガラス等の清掃

3 業務執行の留意事項

- (1) 受託者は年度当初に委託者に業務計画書を提出し、委託者と協議を行うものとする。
- (2) 受託者は、清掃対象の状況を踏まえ、必要な頻度で、必要な程度の清掃を行い、美観を損ねることがないように、良好な状態を保つこと。
- (3) 清掃作業は使用する機材や薬品を適切に使用し、換気や安全には十分に留意し、施設運転に悪影響を及ぼさないように留意すること。
- (4) 家具、什器等（椅子等軽微なものを除く）の移動は省略できるものとし、ロッカー、家具等があり清掃不可能な部分の清掃は省略できるものとする。ただし、清掃実施に伴い椅子等を移動させた場合は、清掃完了後、元の位置に戻すものとする。
- (5) 建物、機械器具等を損傷させ、タイルの浮き、剥がれをおこした場合は、受注者の責任において、監督職員と協議の上、速やかに補修するものとする。
- (6) 作業中の通行禁止範囲には、「清掃中 立入禁止」等の表示を徹底するものとする。
- (7) 作業日時については、委託者との協議により決定するものとする。

4 使用資機材

清掃作業に使用する資機材は、清掃場所に適した品質良好、清潔なものを使用するとともに、汚泥処理棟監視室は、帯電防止樹脂床維持剤を使用しなければならない。

別紙-16 清掃管理業務

5 作業内容

参考資料として、下記に清掃仕様を記載するが、これ以上の結果が伴うものであれば必ずしもこの仕様、頻度での清掃を求めるものではない。

(1) 弾性床（ビニル床タイル、ビニル床シート、ゴム床タイル等）、木製床

ア 除塵

(ア) 自在ぼうき又はフロアダスターによる除塵

隅は自在ぼうき、広い場所はフロアダスター又は自在ぼうきで掃き、集めたごみは所定の場所に搬出するものとする。

(イ) 真空掃除機を併用する除塵

隅は真空掃除機で、広い場所はフロアダスター又は自在ぼうきで掃き、集めたごみは所定の場所まで搬出するものとする。

イ 水拭き

全面水拭き

- ・床全面をモップで水拭きをする。

ウ 洗淨

(ア) 表面洗淨（汚れが取れない場合は、必要に応じて補修または剥離洗淨を行う。）

a 椅子等軽微な什器の移動を行うとともに、洗淨水の侵入のおそれのあるコンセント等は、適正な養生を行うものとする。

b 床面の除塵を行うものとする。

c 床面に適正に希釈した表面洗淨用洗剤をむらのないように塗布するものとする。

d 洗淨用パッドを装着した床磨き機で、皮膜表面の汚れを洗淨するものとする。

e 吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去するものとする。

f 2回以上水拭きを行い、汚水や洗剤分を除去した後、十分に乾燥させるとともに、水拭き作業は「イ 水拭き」により行うものとする。

g 樹脂床維持剤を塗り残しや塗りむらのないよう格子塗りし、十分に乾燥するものとする。

h 樹脂床維持剤の塗布回数は、原則として1回（格子塗り）するものとする。

i 移動した椅子等軽微な什器を元の位置に戻すものとする。

(イ) 補修

a 空バフイング

汚れが目立つ床面は、パッドを装着した床磨き機で空バフイングし、汚れを除去するものとする。

b スプレーバフイング（スプレークリーニング）

(a) 汚れた部分は、水又は専用補修液をスプレーし、パッドを装着した床磨き機で乾燥するまで研磨するとともに、汚れが目立つ場合は、適正に希釈した表面洗淨用洗剤を用いるものとする。

(b) 削り取られたかすを取り除き、スプレーバフイングを行った箇所を水拭きした後、樹脂床維持剤を塗布して補修するものとする。

(2) 硬質床（陶磁器質タイル等）

別紙-16 清掃管理業務

ア 洗淨

表面洗淨

- (ア) 椅子等軽微な什器の移動を行うものとする。
- (イ) 床面の除塵を行うものとする。
- (ウ) 床面に適正に希釈した表面洗淨用洗剤をむらのないように塗布するものとする。
- (エ) 洗淨用パッド又は洗淨用ブラシを装着した床磨き機で、汚れを洗淨するものとする。
- (オ) 吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去するものとする。
- (カ) 2回以上水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後、十分に乾燥させるものとする。
- (キ) 移動した椅子等軽微な什器を元の位置に戻すものとする。

(3) 玄関周り床

ア 除塵

自在ぼうきで掃き、集めたごみは所定の場所に搬出するものとする。

イ 洗淨

洗淨用ブラシを装着した床磨き機で汚れを洗淨するものとする。

(4) 窓ガラス等

洗淨（両面）

- ア ガラス面に中性洗剤を適正希釈したものを塗布し、汚れを分解して、窓用スクイジーで汚水を除去するものとする。
- イ ガラス面の隅に残った汚水をタオル等で拭き取るものとする。
- ウ ガラス回りのサッシに付着した汚水をタオル等で清拭きするものとする。

6 使用資機材

清掃作業に使用する資機材は、清掃場所に適した品質良好、清潔なものを使用するとともに、汚泥処理棟監視室は、帯電防止樹脂床維持剤を使用しなければならない。

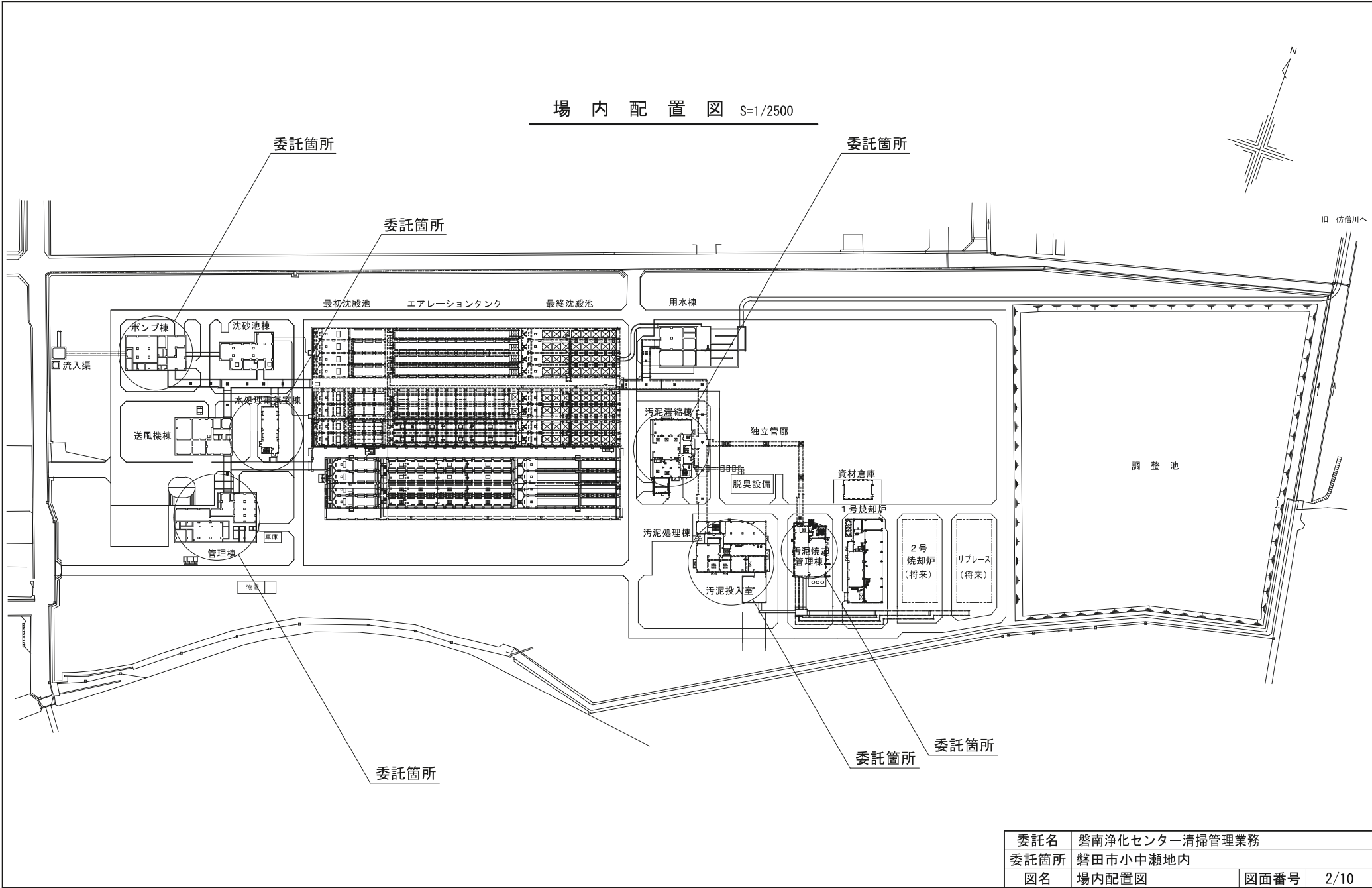
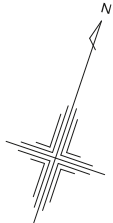
磐南浄化センター 清掃管理業務

図面目録

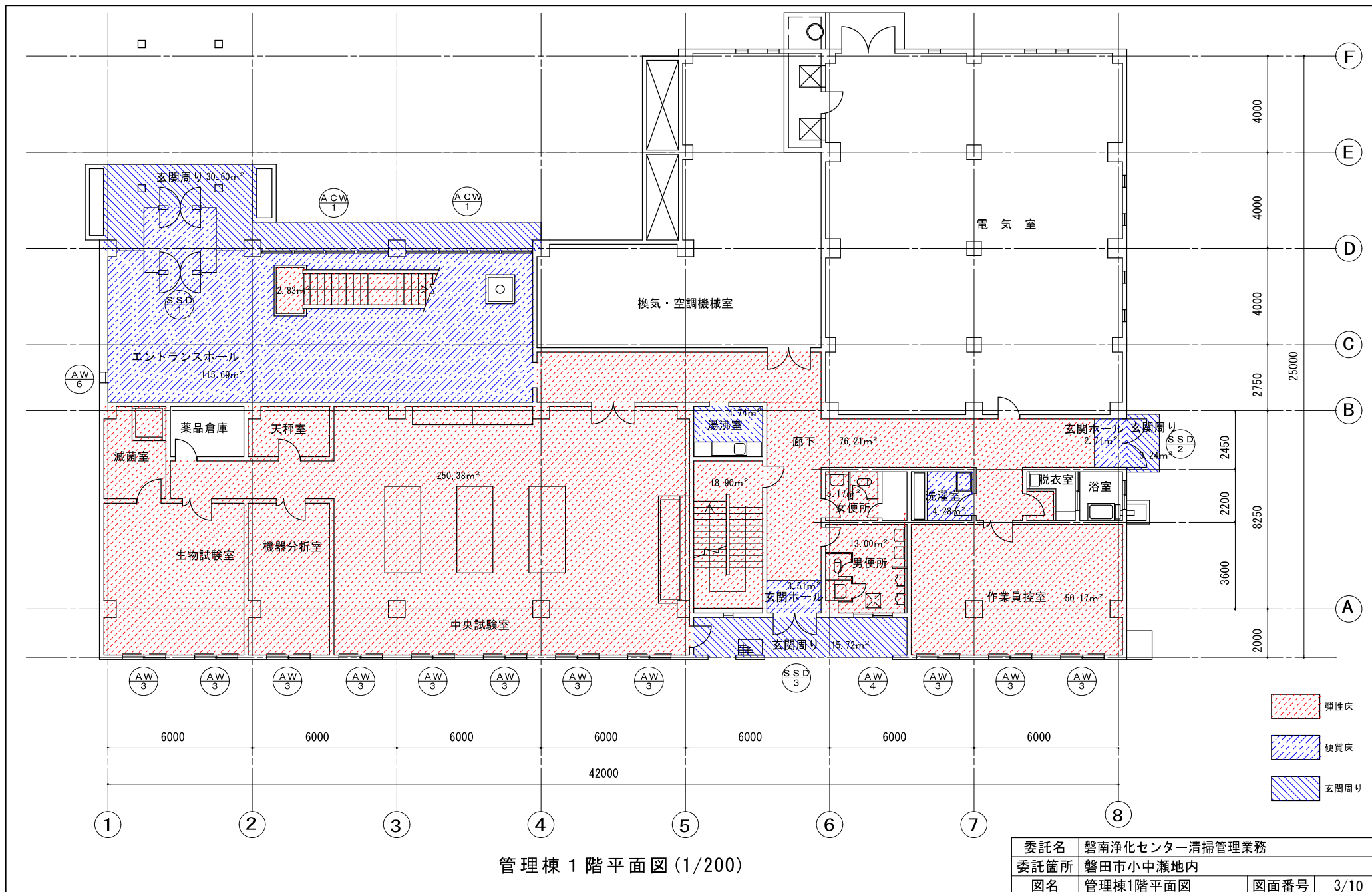
図面番号	図名
1	委託名称・図面目録
2	場内配置図
3	管理棟 1 階平面図
4	管理棟 2 階平面図
5	管理棟地下 1 階・3 階平面図
6	ポンプ棟 1 階・2 階平面図
7	汚泥濃縮棟 1 階平面図
8	焼却管理棟 1 階・2 階平面図
9	汚泥処理棟地下 1 階・1 階平面図
10	汚泥処理棟 2 階平面図

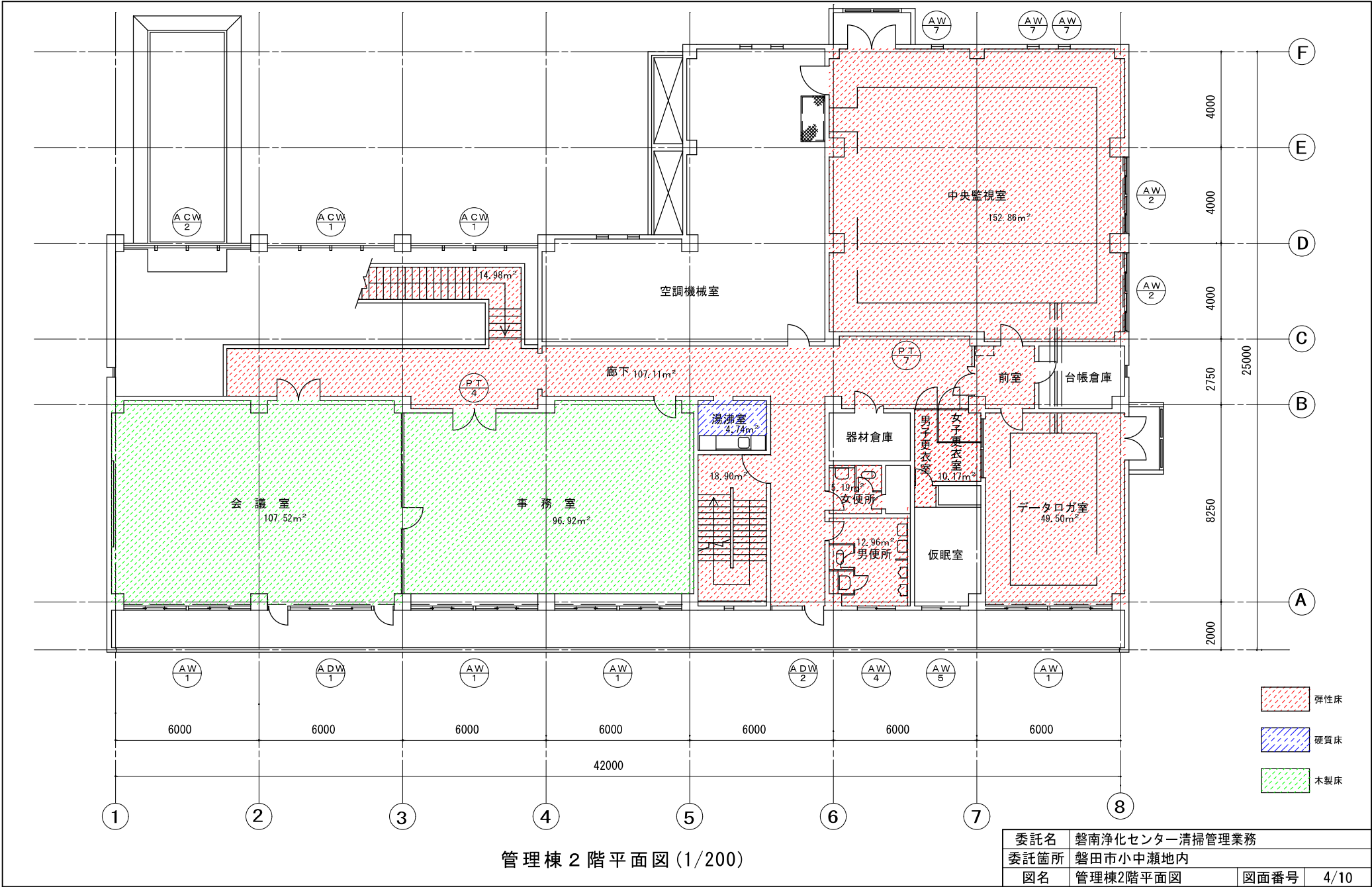
委託名	磐南浄化センター清掃管理業務		
委託箇所	磐田市小中瀬地内		
図名	委託名称・図面目録	図面番号	1/10

場内配置図 S=1/2500

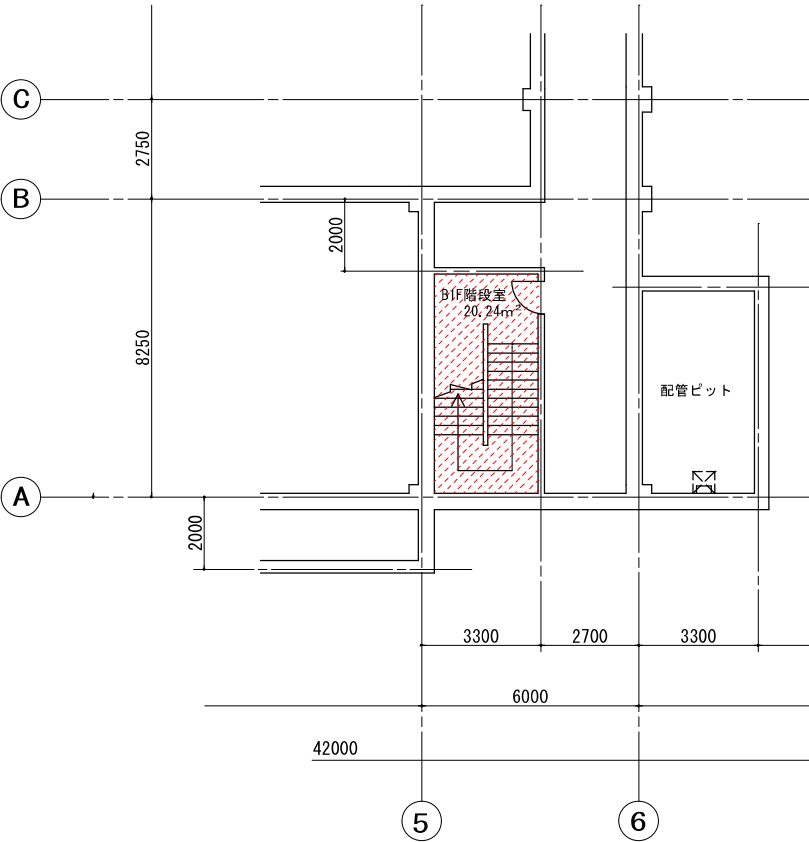


委託名	磐南浄化センター清掃管理業務
委託箇所	磐田市小中瀬地内
図名	場内配置図
図面番号	2/10

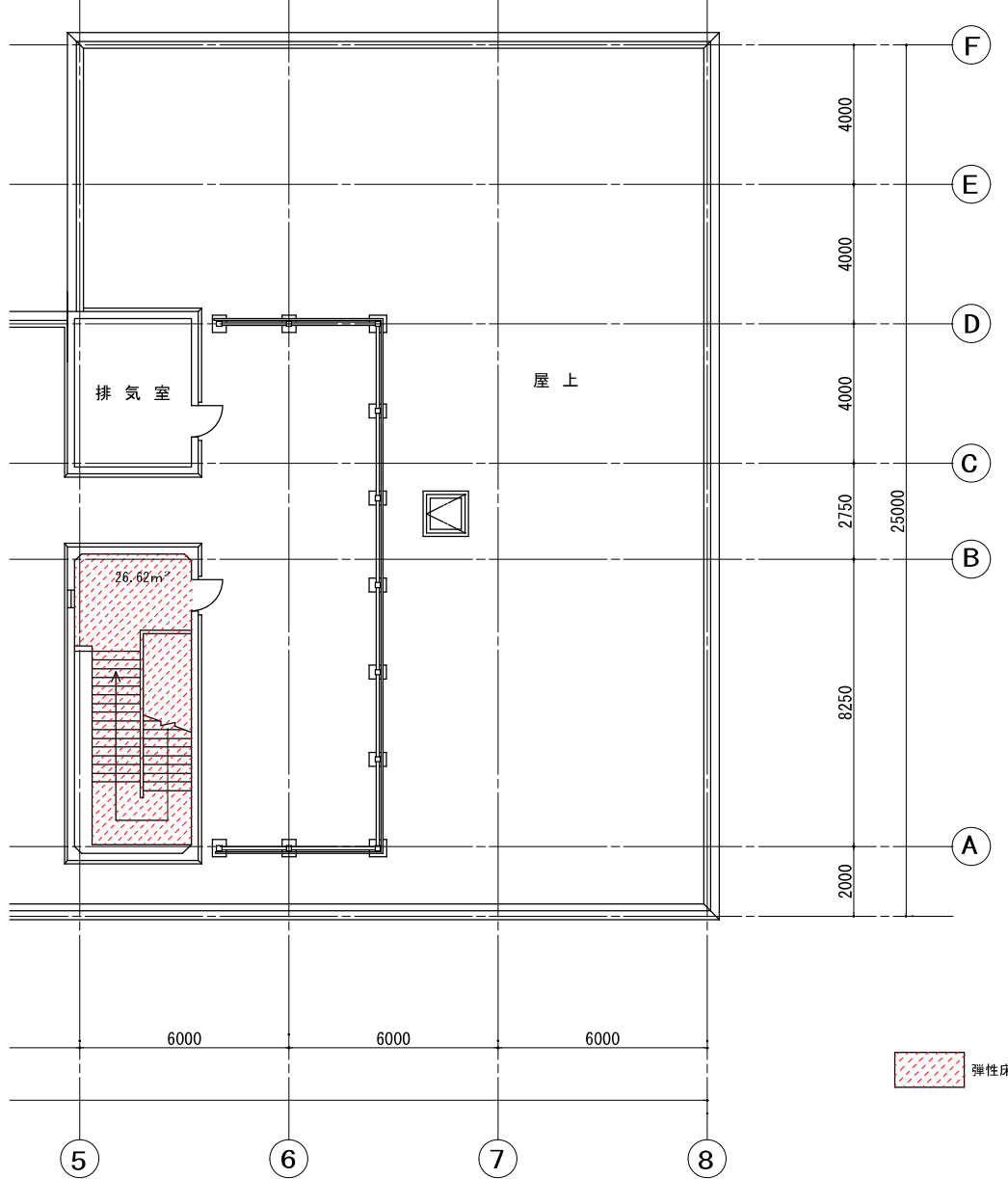




別16-7



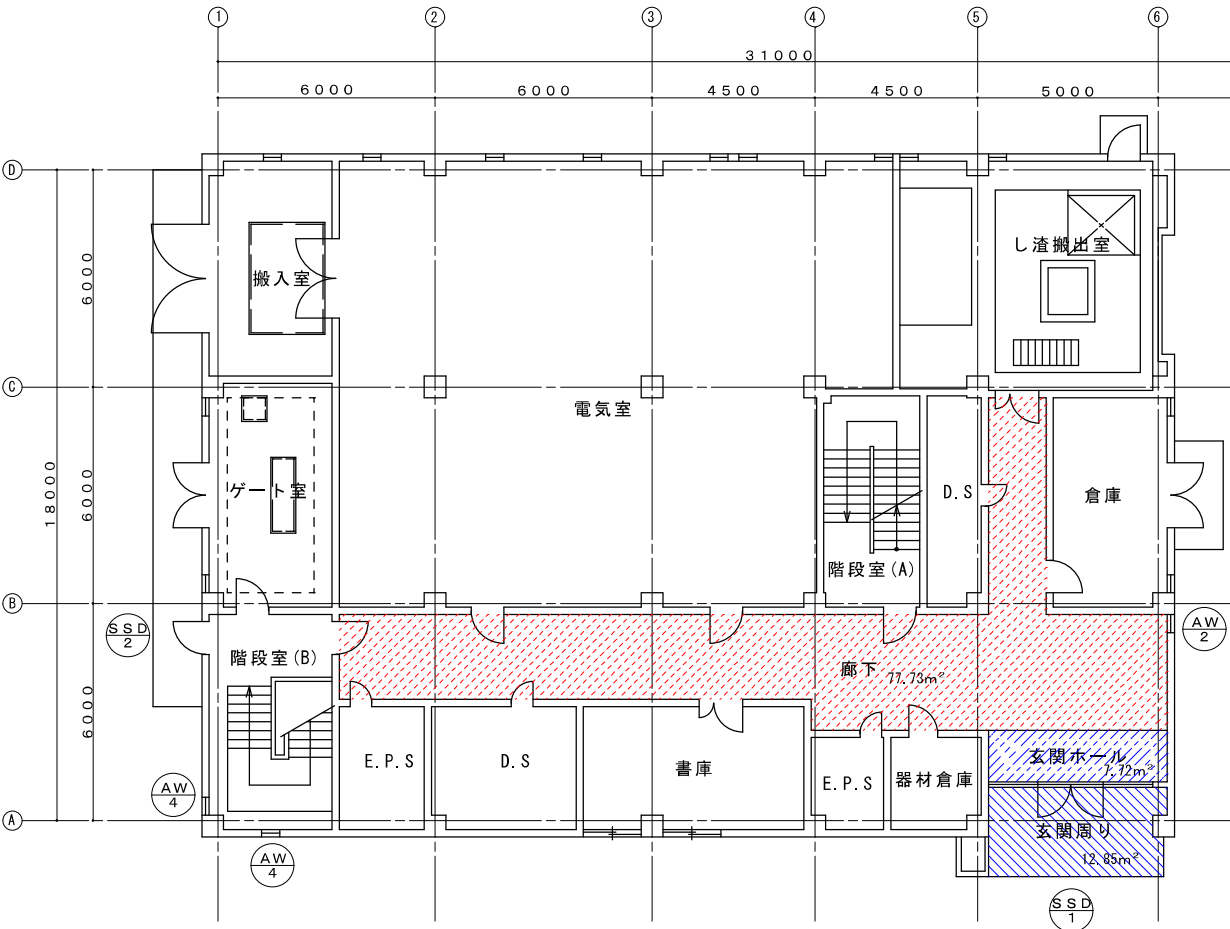
管理棟地下1階平面図(1/200)



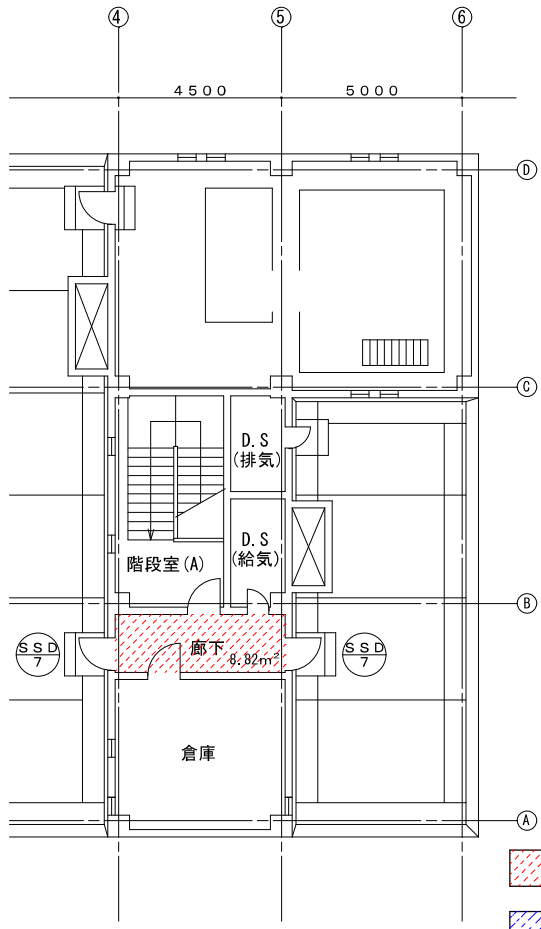
管理棟3階平面図(1/200)

弾性床

委託名	磐南浄化センター清掃管理業務		
委託箇所	磐田市小中瀬地内		
図名	管理棟地下1階・3階平面図	図面番号	5/10



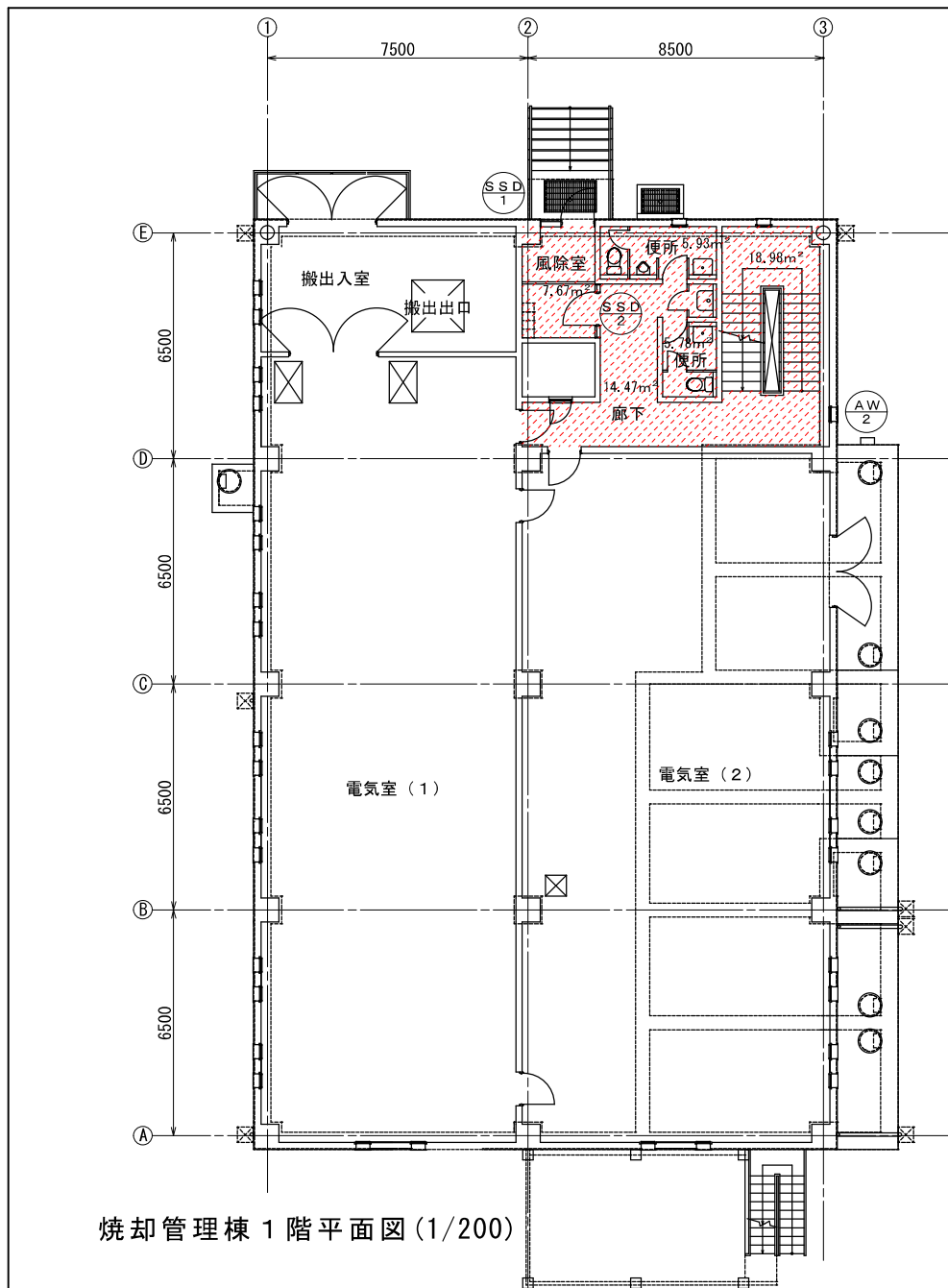
ポンプ棟 1 階平面図 (1/200)



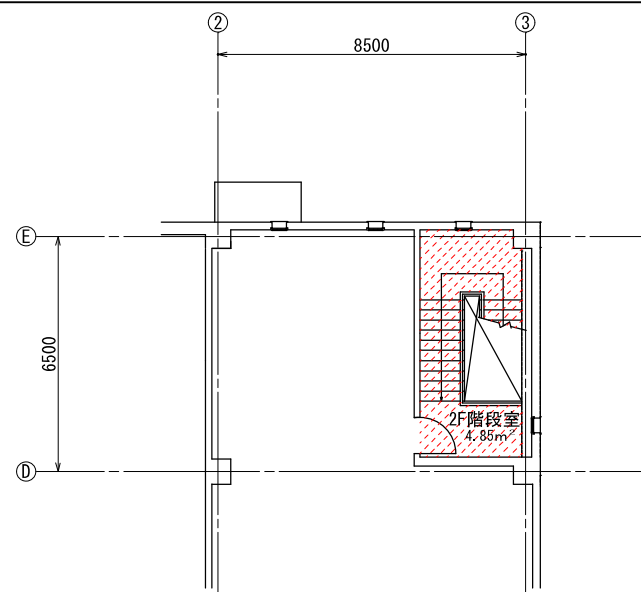
ポンプ棟 2 階平面図 (1/200)

- 弾性床
- 硬質床
- 玄関周り


委託名	磐南浄化センター清掃管理業務
委託箇所	磐田市小中瀬地内
図名	ポンプ棟1階・2階平面図
図面番号	6/10



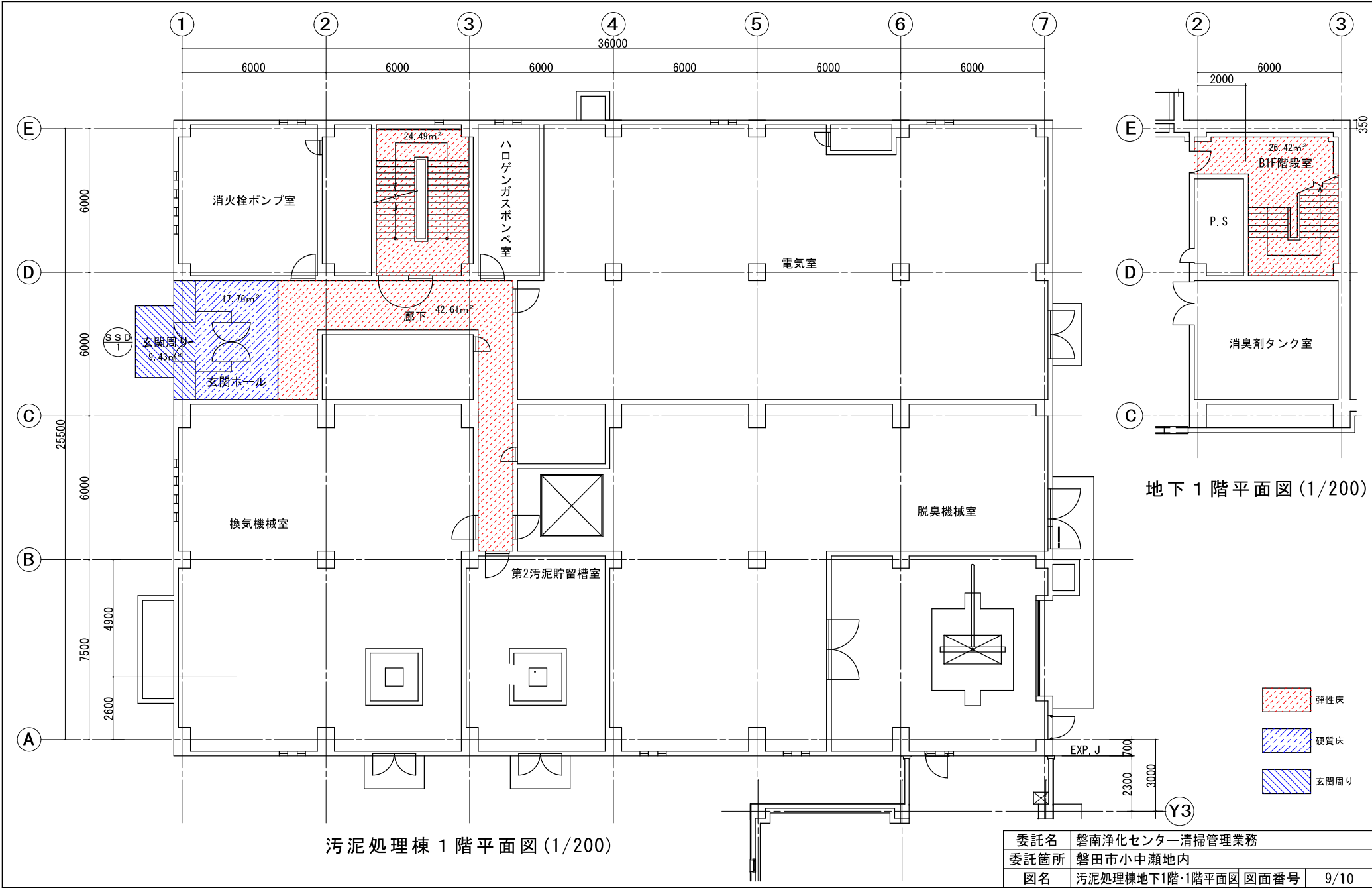
焼却管理棟 1階平面図 (1/200)

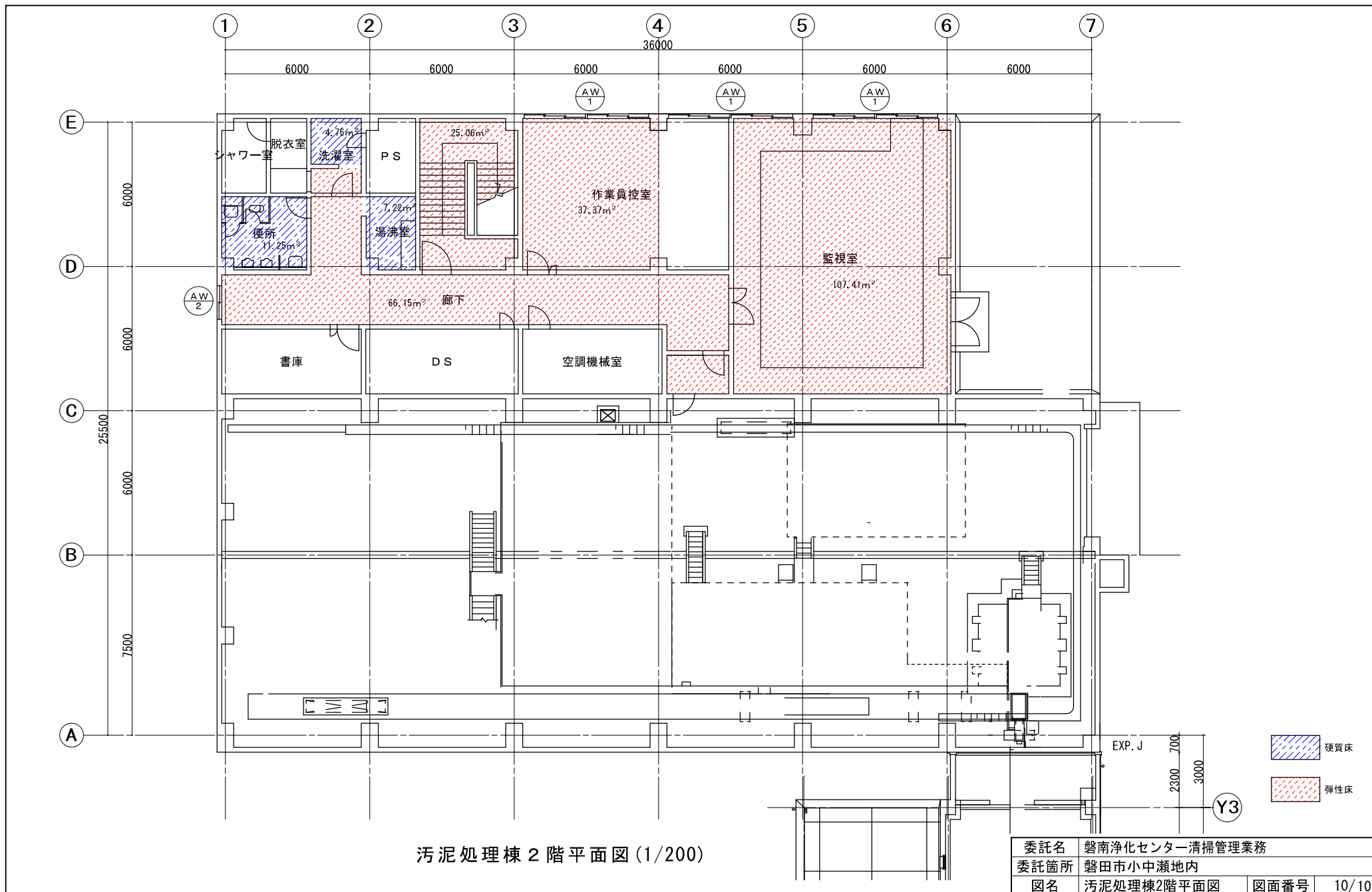


焼却管理棟 2階平面図 (1/200)

 弾性床

委託名	磐南浄化センター清掃管理業務		
委託箇所	磐田市小中瀬地内		
図名	焼却管理棟1階・2階平面図	図面番号	8/10





汚泥処理棟 2階平面図 (1/200)